

令和5年度 商店街実態調査
報告書

令和5年3月

横浜市経済局

目次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の実施概要.....	1
第2章 調査結果.....	2
(1) 商店街の形態.....	2
(2) 商店街の構成業種と不足業種.....	32
(3) 商店街の活動.....	45
(4) 会員の参加状況と悩み.....	56
(5) 空き店舗の状況.....	77
(6) 施設の所有と保全・維持管理.....	93
(7) 来街者の状況と外国人観光客への対応.....	104
(8) 商店街の景況感.....	117
第3章 まとめ.....	130
(1) 商店街の形態.....	130
(2) 商店街の構成業種と不足業種.....	130
(3) 商店街の活動.....	131
(4) 会員の参加状況と悩み.....	131
(5) 空き店舗の状況.....	132
(6) 施設の所有と保全・維持管理.....	133
(7) 来街者の状況と外国人観光客への対応.....	133
(8) 商店街の景況感.....	134
参考資料.....	135
資料1. 調査票.....	135
資料2. 単純集計表.....	145

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

少子高齢社会が進展し、地域におけるコミュニティの重要性が増している現在において、身近な買い物場である商店街は、地域住民の交流の場を提供する「地域コミュニティの担い手」としての役割への期待が大きくなってきている。本調査は、市内の商店街団体の組織や活動の状況、空き店舗の状況や抱えている課題等を定期的に把握し、今後の商店街振興施策の基礎資料とするものである。

2. 調査の実施概要

(1) 調査対象 市内 307 商店街

(2) 調査方法 郵送(配付・回収)によるアンケート方式

(3) 調査期間 令和5年 10 月～11 月

(4) 調査票配付数・回収数 調査票配付数 307 有効回収数 241 有効回収率 78.5%

(5) 調査結果の見方

- ① 図表表中のnは該当設問での回答者数を表す。
- ② 百分比はnを100%として算出し、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで示している。このため、百分比の合計が100%に満たない場合や、上回る場合等がある。
- ③ 本調査の分析に際し、平成 30 年度、令和 2 年度に実施した「商店街実態調査」と比較が可能なものに関し、経年比較を行っている。本文中『平成 30 年度』『令和 2 年度』と表記のあるものについては、この調査を示している。
- ④ 複数回答の質問のグラフは基本的に令和 5 年度調査の全対象者の降順(大きい順)で表記している。
- ⑤ 回答が 10 以下のものに関しては参考値とし、原則コメントは省略している。

第2章 調査結果

(1) 商店街の形態

商店街の区構成比

区	件数	割合
青葉区	16	6.6%
旭区	7	2.9%
泉区	7	2.9%
磯子区	13	5.4%
神奈川区	20	8.3%
金沢区	15	6.2%
港南区	4	1.7%
港北区	22	9.1%
栄区	3	1.2%
瀬谷区	7	2.9%
都筑区	8	3.3%
鶴見区	24	10.0%
戸塚区	11	4.6%
中区	41	17.0%
西区	18	7.5%
保土ヶ谷区	16	6.6%
緑区	5	2.1%
南区	4	1.7%
合計	241	100.0%

図表 2- 1 商店街の区構成比

回答のあった商店街の区構成比は上記の通り、中区が全体の17.0%を占めトップ、次いで鶴見区の10.0%、港北区の9.1%となっている。

問1 貴商店街のタイプは次の5つのうち、いずれに該当しますか。(○は1つだけ)
 全体 (n=241)



近隣型商店街：主に近隣住民が徒歩、自転車で来街して日常の買い物をする商店街

地域型商店街：鉄道駅に近接し、主に区内の住民が徒歩、自転車、バス等で来街して日常の買い物をする商店街

広域型商店街：鉄道駅に近接し、百貨店、量販店等を含む大型店があり、主に電車や自動車による区内外からの来街者が多い商店街

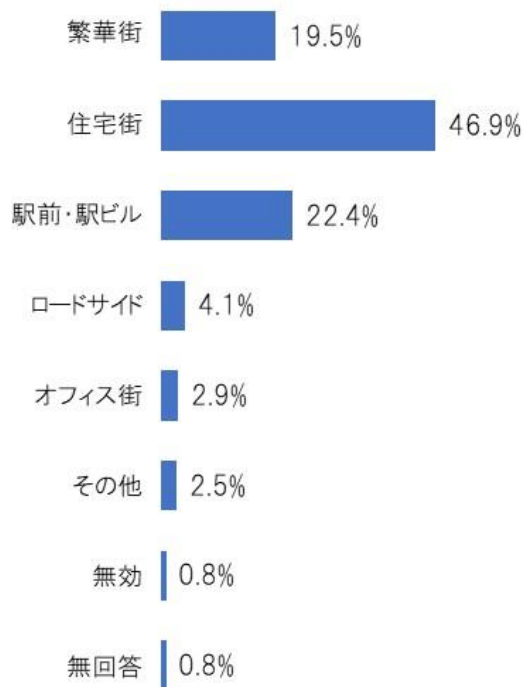
超広域型商店街：鉄道駅に近接し、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、市外も含む遠距離からの来街者が多い商店街

その他の商業エリア等：上記1～4にあてはまらない商業エリア、複数の要素を持つ商業エリア等

図表 2- 2 商店街タイプ

商店街のタイプについて全体で見ると、「近隣型商店街」が49.0%を占めトップ、次いで「地域型商店街」の32.0%となっており、これら2タイプで全体の約8割を占める。

問1-2 貴商店街がある商業立地環境についてお答えください。(○は1つだけ)
 全体 (n=241)



図表 2- 3 立地環境

商店街の立地環境について全体で見ると、「住宅街」が 46.9%を占めトップ、次いで「駅前・駅ビル」の 22.4%、「繁華街」の 19.5%となっている。

【その他の内容(抜粋)】

団地の商店街
住宅街に近接するショッピングストリート
市場内
飲食店街
産業貿易センタービル内
側道側
都筑区全域

図表 2- 4 立地環境その他の内容

問1-3 貴商店街に来街してほしいターゲット層についてお聞きます。多い順に 1～3 位の番号を欄に記入してください。全体 (n=241)

	1位	2位	3位
学生・若者	4.6%	9.1%	14.1%
主婦・主夫	36.9%	15.4%	6.6%
夫婦・カップル	7.1%	26.1%	10.8%
親と子(2世代)	20.7%	14.5%	21.6%
会社員	6.6%	4.1%	7.9%
高齢者	8.3%	14.1%	14.9%
観光客(国内)	4.1%	2.9%	4.6%
観光客(海外)	0.4%	1.2%	3.7%
その他	0.4%	0.8%	0.8%
わからない	2.9%		2.5%
無回答	7.9%	11.6%	12.4%

図表 2- 5 来街してほしいターゲット層

来街してほしいターゲット層 1 位について全体で見ると、「主婦・主夫」が 36.9%を占めトップ、「親と子(2世代)」が 20.7%で続く。次にターゲット層 2 位について全体で見ると、「夫婦・カップル」が 26.1%を占めトップ、「主婦・主夫」(15.4%)、「親と子(2世代)」(14.5%)がほぼ同率で続く。最後にターゲット層 3 位について全体で見ると、「親と子(2世代)」が 21.6%を占めトップ、「高齢者」(14.9%)、「学生・若者」(14.1%)がほぼ同率で続く。総じて、ターゲット層の中心は「主婦・主夫」、「親と子(2世代)」、「夫婦・カップル」となっている。

ターゲット層 1 位 立地する区別

立地する区別	全体 (n=241)	青葉区 (n=16)	旭区 (n=7)	泉区 (n=7)	磯子区 (n=13)	神奈川区 (n=20)	金沢区 (n=15)
学生・若者	4.6%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	13.3%
主婦・主夫	36.9%	37.5%	14.3%	57.1%	46.2%	45.0%	20.0%
夫婦・カップル	7.1%	18.8%	0.0%	14.3%	7.7%	0.0%	6.7%
親と子(2世代)	20.7%	25.0%	42.9%	0.0%	7.7%	20.0%	33.3%
会社員	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
高齢者	8.3%	6.3%	28.6%	0.0%	0.0%	10.0%	13.3%
観光客(国内)	4.1%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
観光客(海外)	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	2.9%	0.0%	0.0%	14.3%	7.7%	0.0%	0.0%
無回答	7.9%	0.0%	14.3%	14.3%	30.8%	10.0%	13.3%

立地する区別	全体 (n=241)	港南区 (n=4)	港北区 (n=22)	栄区 (n=3)	瀬谷区 (n=7)	都筑区 (n=8)	鶴見区 (n=24)
学生・若者	4.6%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	36.9%	50.0%	54.5%	66.7%	28.6%	25.0%	54.2%
夫婦・カップル	7.1%	0.0%	9.1%	0.0%	14.3%	25.0%	0.0%
親と子(2世代)	20.7%	50.0%	9.1%	0.0%	14.3%	37.5%	33.3%
会社員	6.6%	0.0%	4.5%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
高齢者	8.3%	0.0%	4.5%	0.0%	28.6%	12.5%	0.0%
観光客(国内)	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
観光客(海外)	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	2.9%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	4.2%
無回答	7.9%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%

立地する区別	全体 (n=241)	戸塚区 (n=11)	中区 (n=41)	西区 (n=18)	保土ヶ谷区 (n=16)	緑区 (n=5)	南区 (n=4)
学生・若者	4.6%	9.1%	2.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	36.9%	18.2%	24.4%	27.8%	43.8%	40.0%	25.0%
夫婦・カップル	7.1%	0.0%	9.8%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
親と子(2世代)	20.7%	36.4%	12.2%	16.7%	25.0%	20.0%	0.0%
会社員	6.6%	9.1%	19.5%	11.1%	0.0%	20.0%	0.0%
高齢者	8.3%	0.0%	4.9%	16.7%	18.8%	0.0%	25.0%
観光客(国内)	4.1%	0.0%	19.5%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
観光客(海外)	0.4%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.4%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	2.9%	9.1%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
無回答	7.9%	18.2%	0.0%	11.1%	0.0%	20.0%	25.0%

1位の項目

図表 2-6 来街してほしいターゲット層 1 位 立地する区別

ターゲット層 1 位について立地する区別で見ると、鶴見区、港北区では「主婦・主夫」が半数以上を占める。一方で、中区では、「主婦・主夫」は 24.4%にとどまり、会社員、観光客(国内)がそれぞれ 19.5%を占め、ターゲット層がより分散している。

ターゲット層 1 位 立地環境別

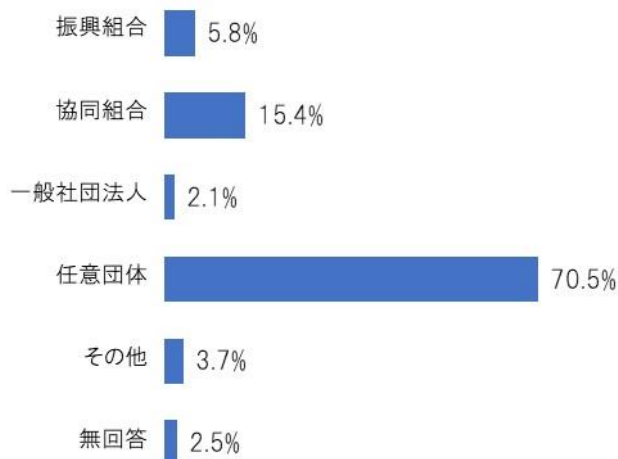
立地環境別	全体 (n=241)	繁華街 (n=47)	住宅街 (n=113)	駅前・駅ビル (n=54)	ロードサイド (n=10)	オフィス街 (n=7)	その他 (n=6)
学生・若者	4.6%	14.9%	0.9%	3.7%	10.0%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	36.9%	34.0%	45.1%	29.6%	60.0%	0.0%	0.0%
夫婦・カップル	7.1%	2.1%	4.4%	14.8%	0.0%	14.3%	33.3%
親と子(2世代)	20.7%	10.6%	22.1%	29.6%	20.0%	14.3%	16.7%
会社員	6.6%	10.6%	1.8%	9.3%	0.0%	42.9%	16.7%
高齢者	8.3%	2.1%	12.4%	5.6%	10.0%	0.0%	16.7%
観光客(国内)	4.1%	17.0%	0.9%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
観光客(海外)	0.4%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
わからない	2.9%	2.1%	4.4%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
無回答	7.9%	4.3%	8.0%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%

 1位の項目

図表 2- 7 来街してほしいターゲット層 1 位 立地環境別

ターゲット層 1 位について、立地環境別で「主婦・主夫」が占める割合を見ると、住宅街に立地する商店街では 45.1%、繁華街に立地する商店街では 34.0%を占め、他のターゲット層を上回っている。一方で、駅前・駅ビルに立地する商店街では、「親と子(2世代)」が「主婦・主夫」と同率でトップとなっている。

問2 貴商店街の組織形態は次の5つのうち、いずれに該当しますか。(○は1つだけ) 全体 (n=241)

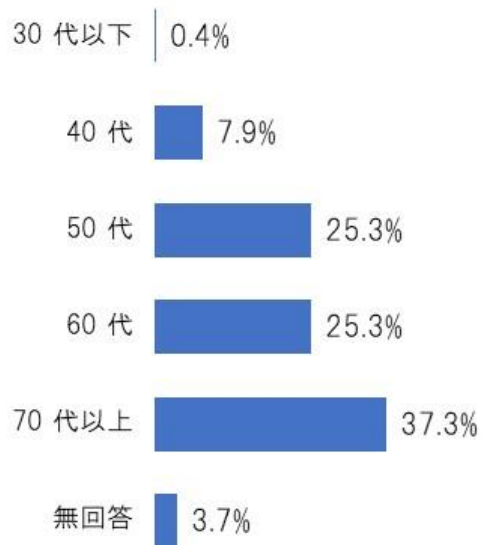


図表 2- 8 組織形態

商店街の組織形態について全体で見ると、「任意団体」が 70.5%と突出しているのに対して、「協同組合」、「振興組合」は 1 割前後にとどまる。

問3_A 貴商店街における現在の代表者の年齢(A)及び在籍年数(B)についてお答えください。
(○はそれぞれ1つだけ)。

代表者の年齢 全体 (n=241)



図表 2- 9 代表者の年齢

商店街代表者の年齢について全体で見ると、「70代以上」が37.3%を占め、「50代」、「60代」はいずれも25.3%となっており、60代以上が6割超となっている。

問3_B 貴商店街における現在の代表者の年齢(A)及び在籍年数(B)についてお答えください。
(〇はそれぞれ1つだけ)。

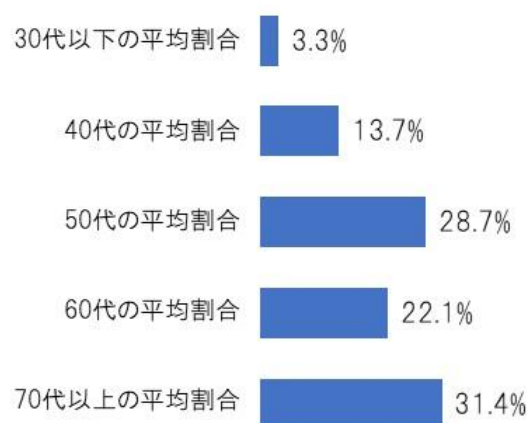
在籍年数 全体 (n=241)



図表 2- 10 在籍年数

商店街代表者の在籍年数について全体で見ると、「15年以上」が33.2%を占める一方、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」もそれぞれ約2割を占めており、代表者の在籍年数が比較的長い15年以上の商店街と1年～10年の商店街に分かれている。

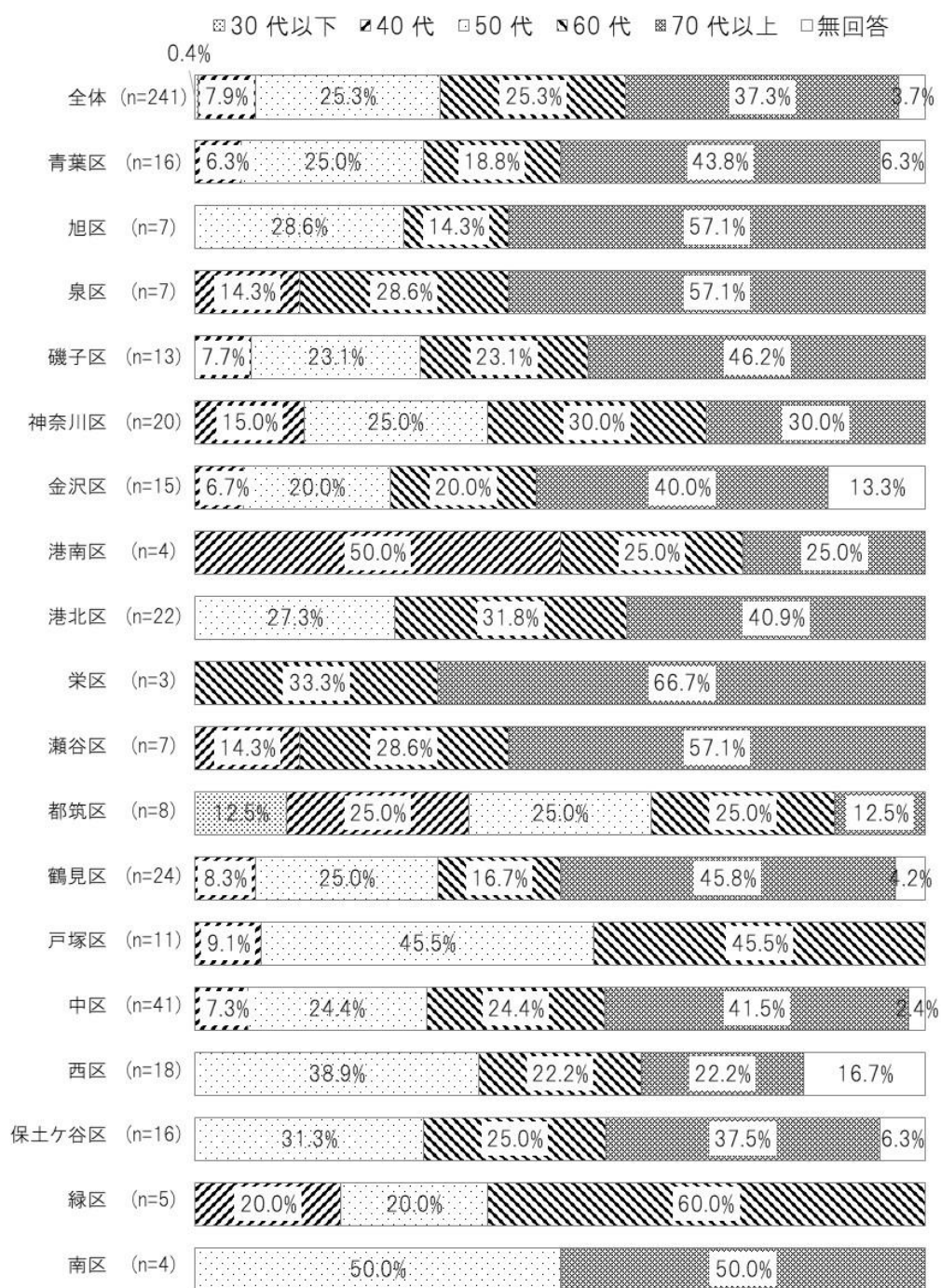
問3_C 役員の年齢構成(C)についてご記入ください。 全体 (n=241)



図表 2- 11 役員の年齢構成

役員の年齢構成について全体で見ると、「70代以上の平均割合」が31.4%、「60代の平均割合」が22.1%を占め、60代以上の平均割合が過半数となっている。

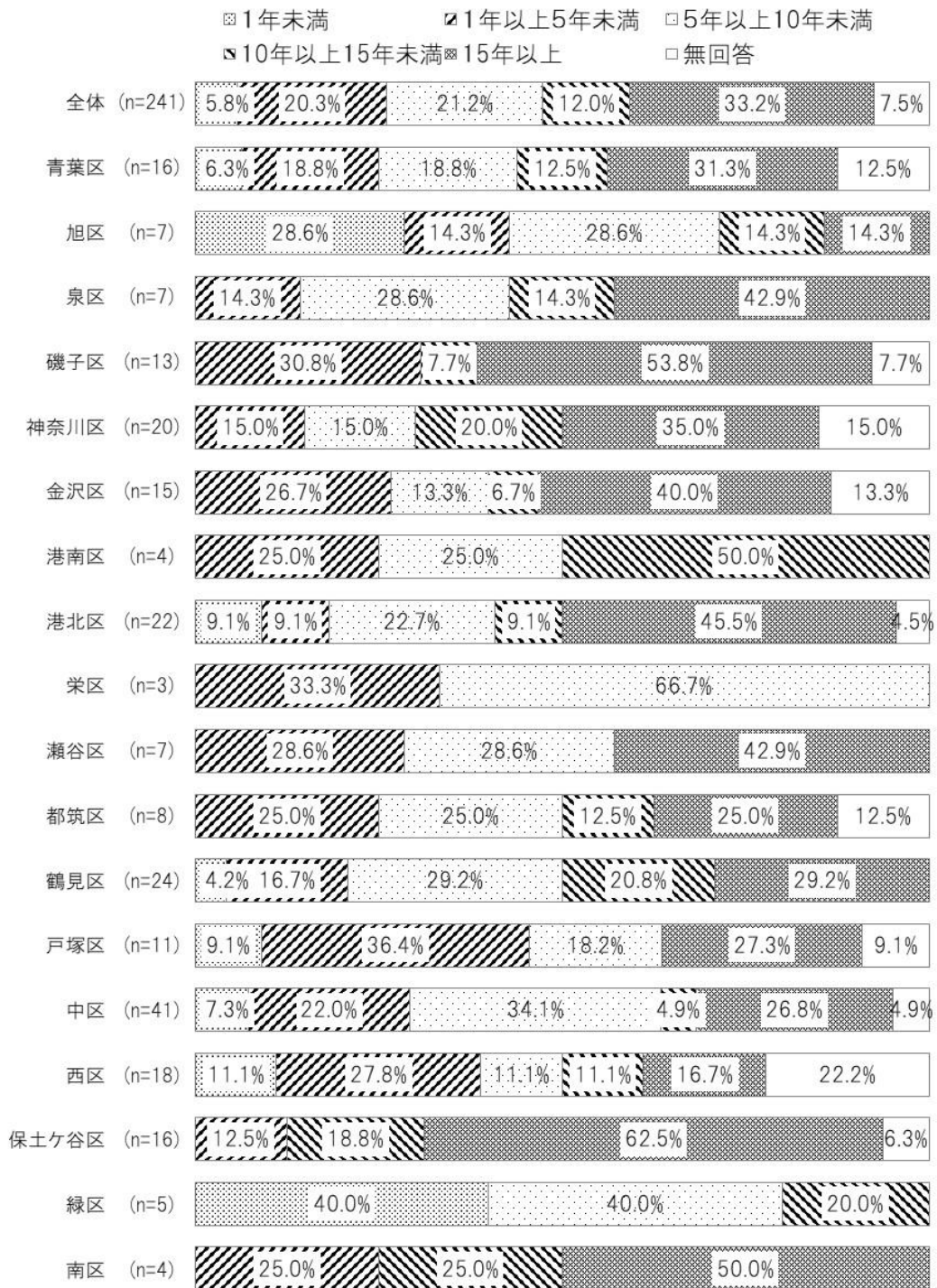
代表者の年齢 立地する区別



図表 2- 12 代表者の年齢 立地する区別

代表者の年齢について立地する区別で見ると、磯子区は70代以上の占める割合が46.2%、鶴見区は45.8%で戸塚区、西区、神奈川区等と比べると高い。戸塚区は70代以上の代表者は居らず、50代と60代で約9割を占める。神奈川区は70代以上の占める割合が30.0%と低い上、40代の割合が15.0%と高い。港北区、西区、保土ヶ谷区では40代以下の代表者は居らず、西区では50代が38.9%、港北区では60代の占める割合が31.8%と他の多くの区よりも高い。

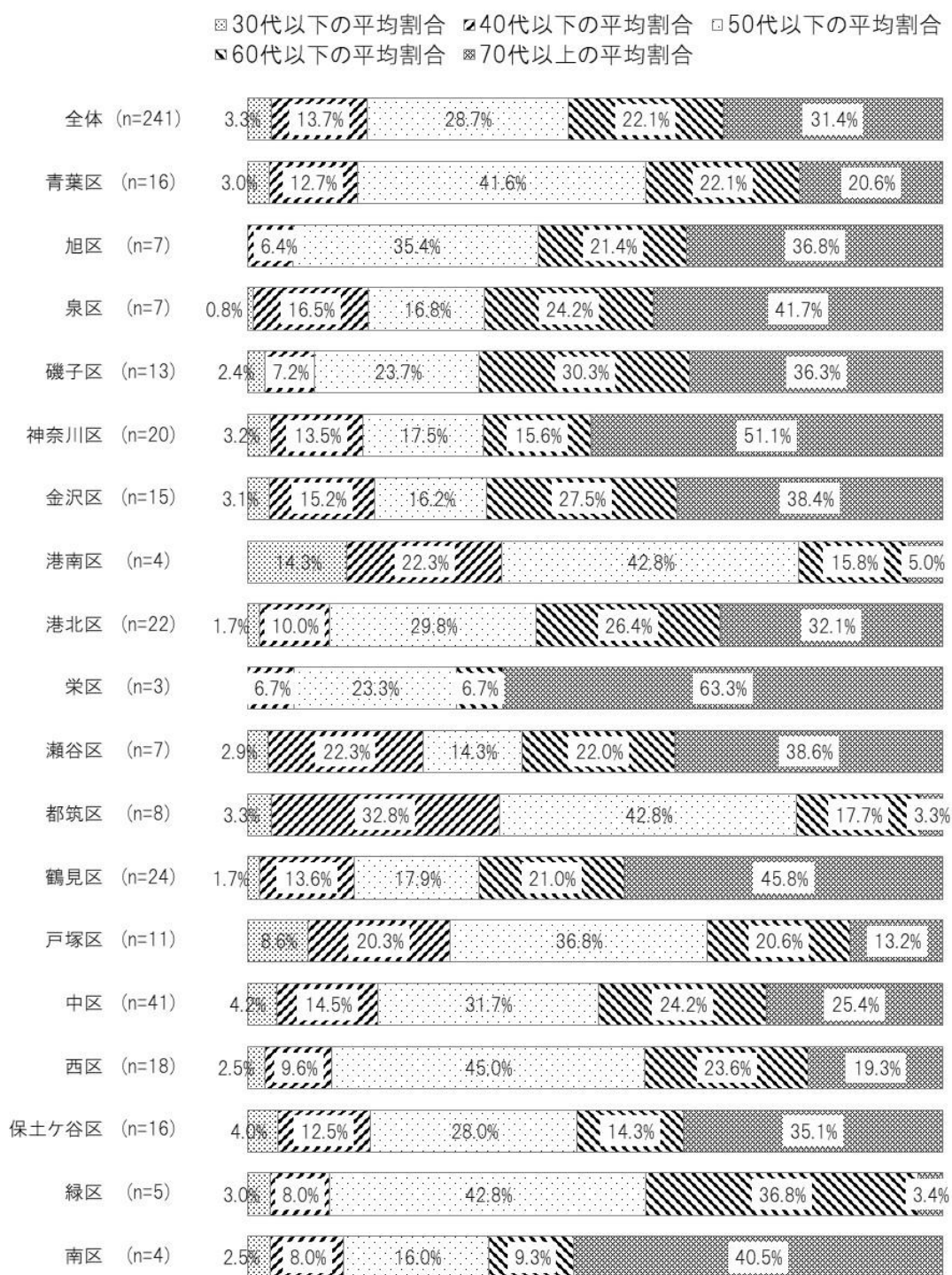
在籍年数 立地する区別



図表 2- 13 在籍年数 立地する区別

在籍年数について立地する区別で見ると、戸塚区では「1年以上5年未満」が36.4%、中区、鶴見区では「5年以上10年未満」が3割前後と高いのに対して、保土ヶ谷区では「15年以上」が62.5%、港北区では45.5%と高くなっている。磯子区でも「15年以上」が53.8%と高いが、「1年以上5年未満」も30.8%を占める。

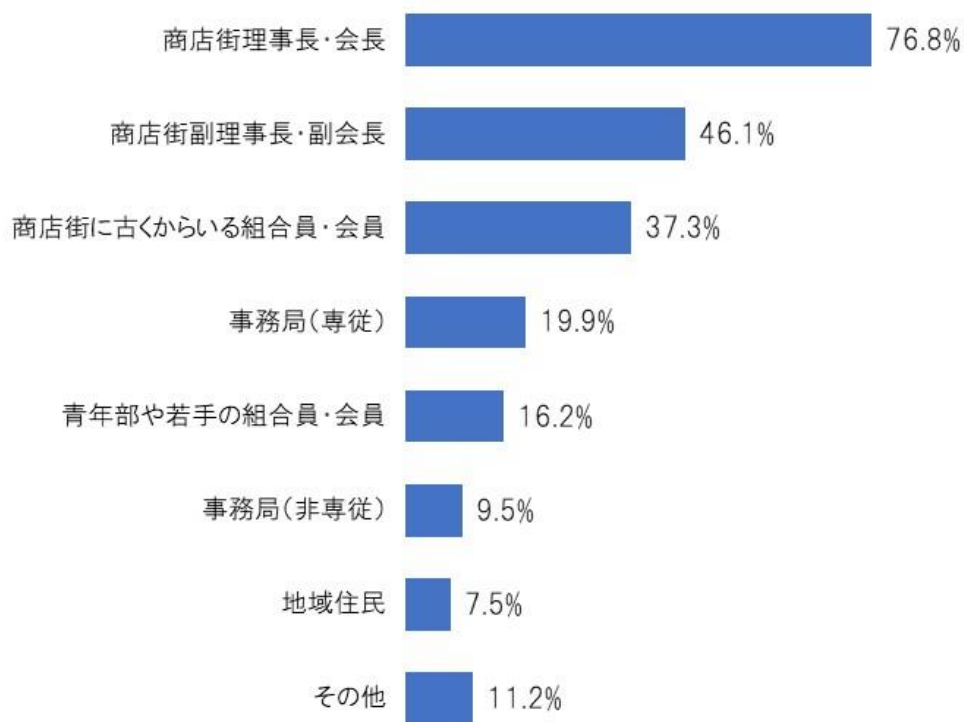
役員の年齢構成 立地する区別



図表 2- 14 役員の年齢構成 立地する区別

役員の年齢構成について立地する区別で見ると、神奈川区、鶴見区では70歳以上の平均割合が半数前後と高く、60代以上が6割超となっているのに対して、戸塚区、西区、青葉区、中区では70歳以上が1割台～2割台と低く、30～50代が過半数を占めている。

問4 商店街活動(イベント実施や事務作業)を担っているのは誰ですか。
(あてはまるもの全てに○) 全体 (n=241)



図表 2- 15 商店街活動の担当

商店街活動の担当について全体で見ると、「商店街理事長・会長」が 76.8%を占め、突出しているほか、「商店街副理事長・副会長」が 46.1%、「商店街に古くからいる組合員・会員」が 37.3%と活動の中心となっている。一方で、「青年部や若手の組合員・会員」は 16.2%にとどまっている。

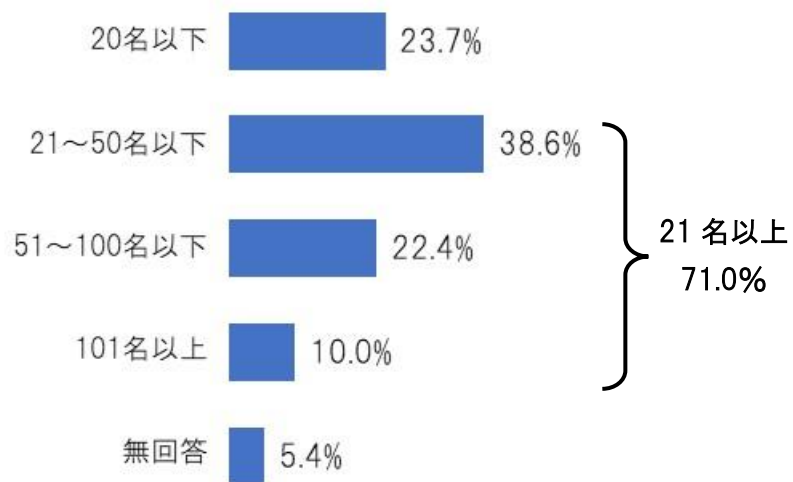
【その他の内容(抜粋)】

役員／商店街役員／自治会の役員	担当委員会
理事／商店会理事	テナント会(店舗)、事務局(管理事務所)
理事・相談役	隣接商店会・協同で実施する
新しい組合員／現在の組合員	事務作業：事務員
賛助会員	イベント活性化事業：連合会役員、事務局長
商店街に店を出している店主もしくは従業員	会長不在の為代理
営業担当	アルバイト
販促担当	ボランティア
施設運営管理会社社員	活動ナシ／イベントをしていない
商店連合会と一緒に連合の事務局専従	

図表 2- 16 商店街活動の担当

問 5 貴商店街の会員数は何名ですか。(会員総数) 全体 (n=241)

会員総数=正会員+準・賛助会員+その他



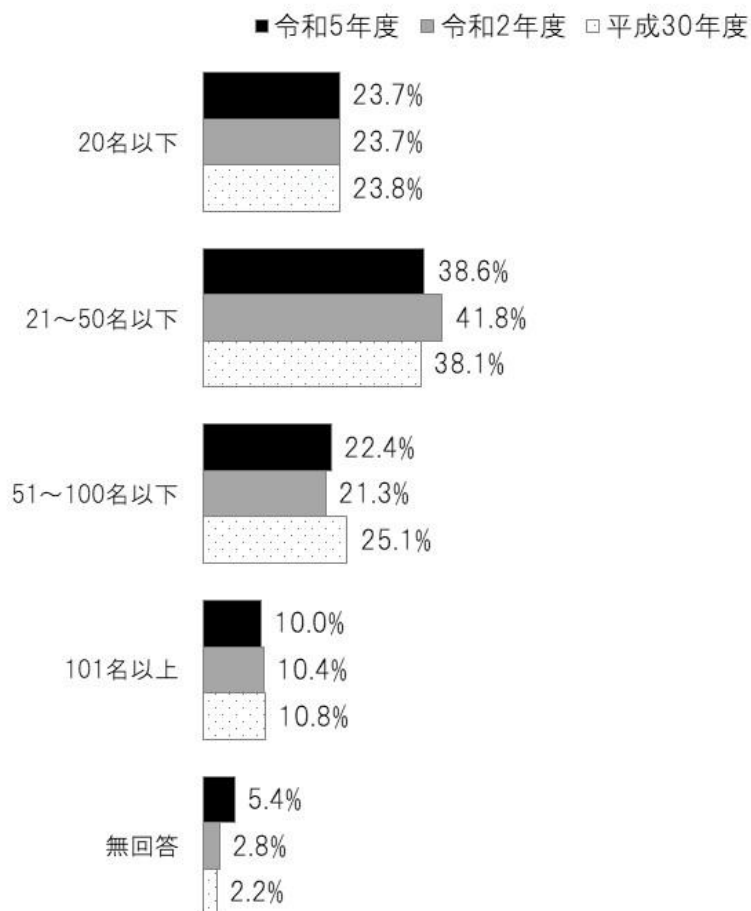
会員総数	正会員	準・賛助会員	その他
12,861名	11,710名	989名	162名

図表 2- 17 会員総数

会員総数について全体で見ると、「21~50名以下」が38.6%を占め、「21名以上」が71.0%を占める。

会員総数 経年比較

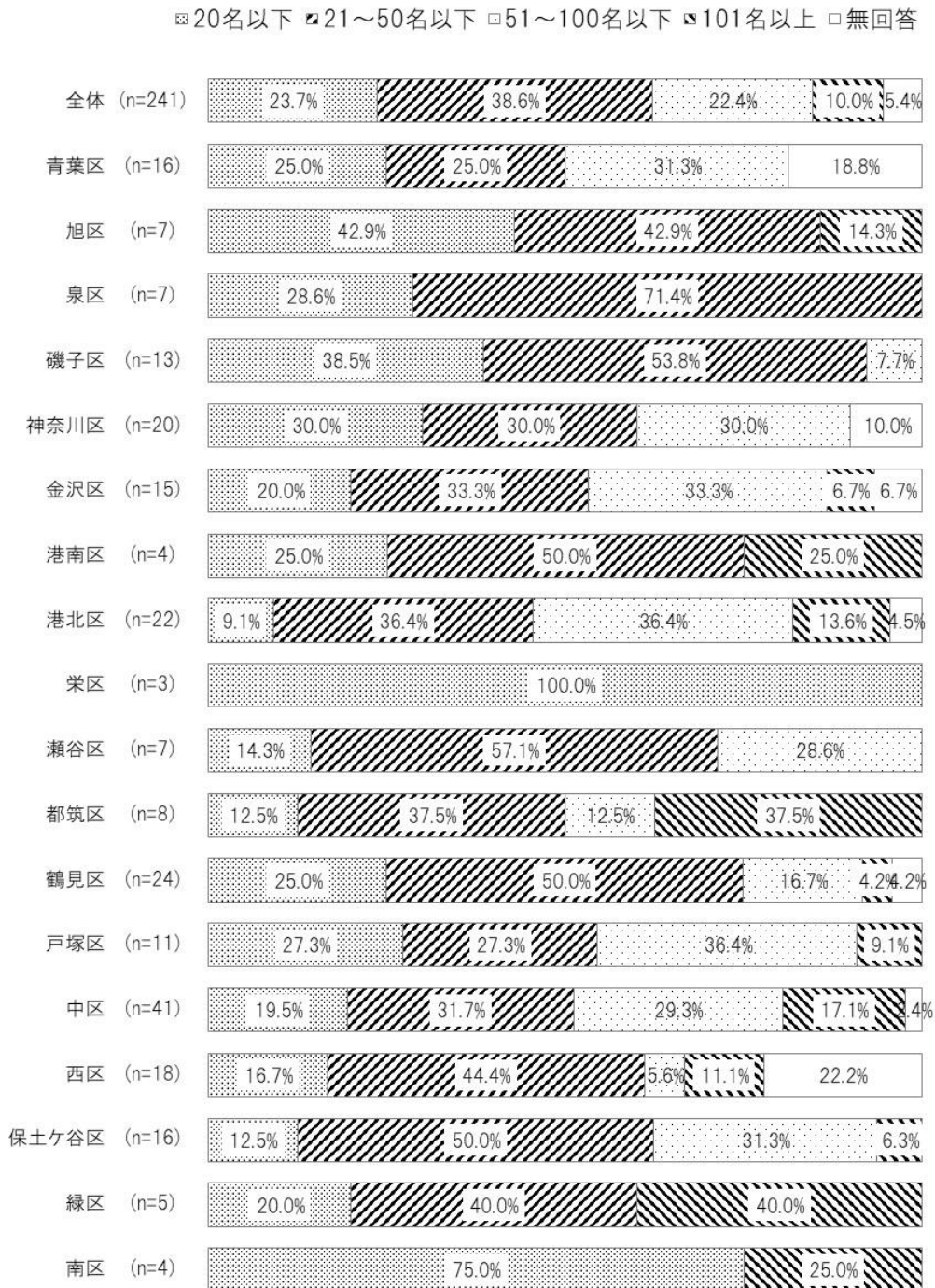
全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249) 平成30年度 (n=231)



図表 2- 18 会員総数 経年比較

会員総数について経年で見ると、「21～50名以下」が令和2年度から3.2ポイント低下しているものの、全体的に大きな変化は見られない。

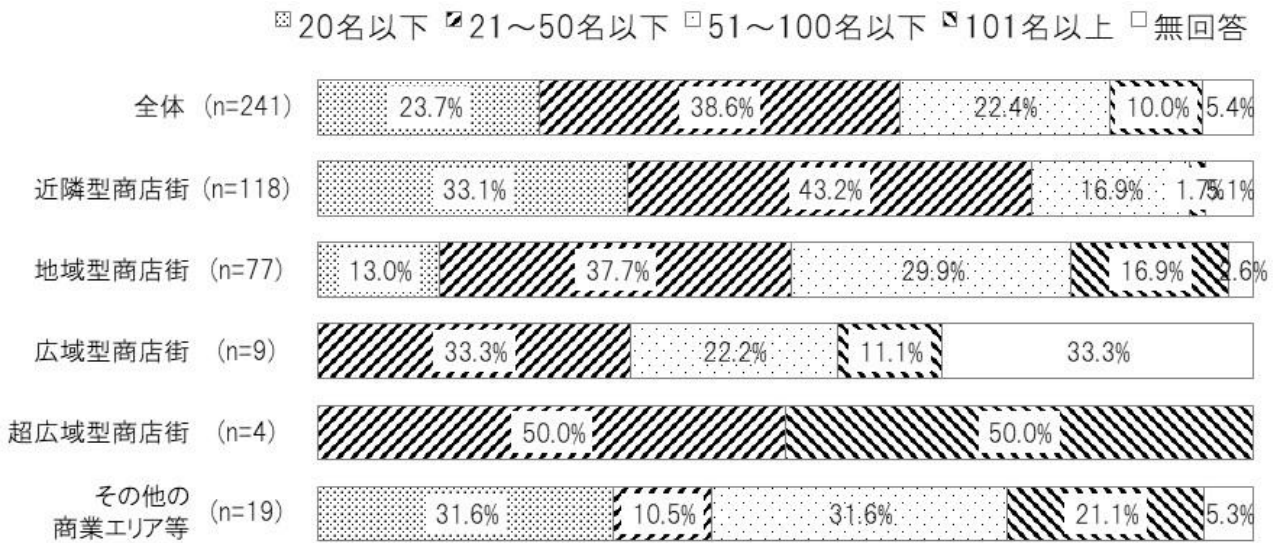
会員総数 立地する区別



図表 2- 19 会員総数 立地する区別

会員総数について立地する区別で見ると、中区は「101名以上」が17.1%を占め、青葉区、磯子区、神奈川区、鶴見区、保土ヶ谷区等より会員数が大規模な商店街が多い。一方、磯子区では「50名以下」が92.3%、鶴見区では75.0%、保土ヶ谷区では62.5%を占め、より会員数が小～中規模の商店街が中心となっている。

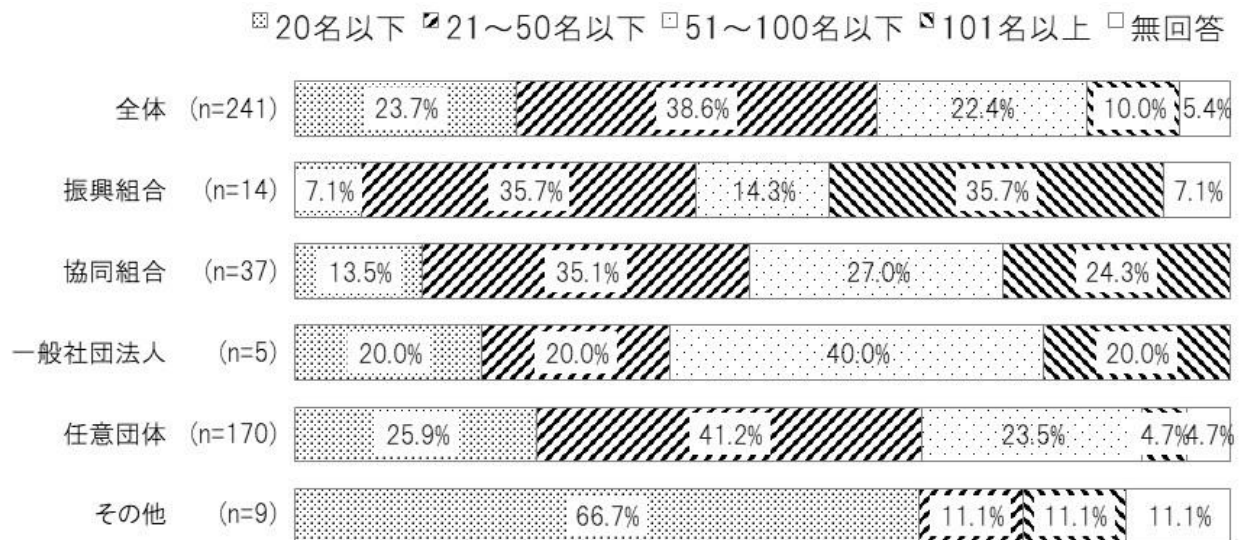
会員総数 商店街タイプ別



図表 2- 20 会員総数 商店街タイプ別

会員総数について商店街タイプ別で見ると、近隣型商店街では「20 名以下」が 33.1%を占めるのに対して、地域型商店街では 13.0%となっている。

会員総数 組織形態別



図表 2- 21 会員総数 組織形態別

会員総数について組織形態別で見ると、振興組合、協同組合といった法人は「101 名以上」が 3 割前後を占めるのに対して、任意団体は「50 名以下」が 67.1%を占め、「101 名以上」は 4.7%にとどまる。

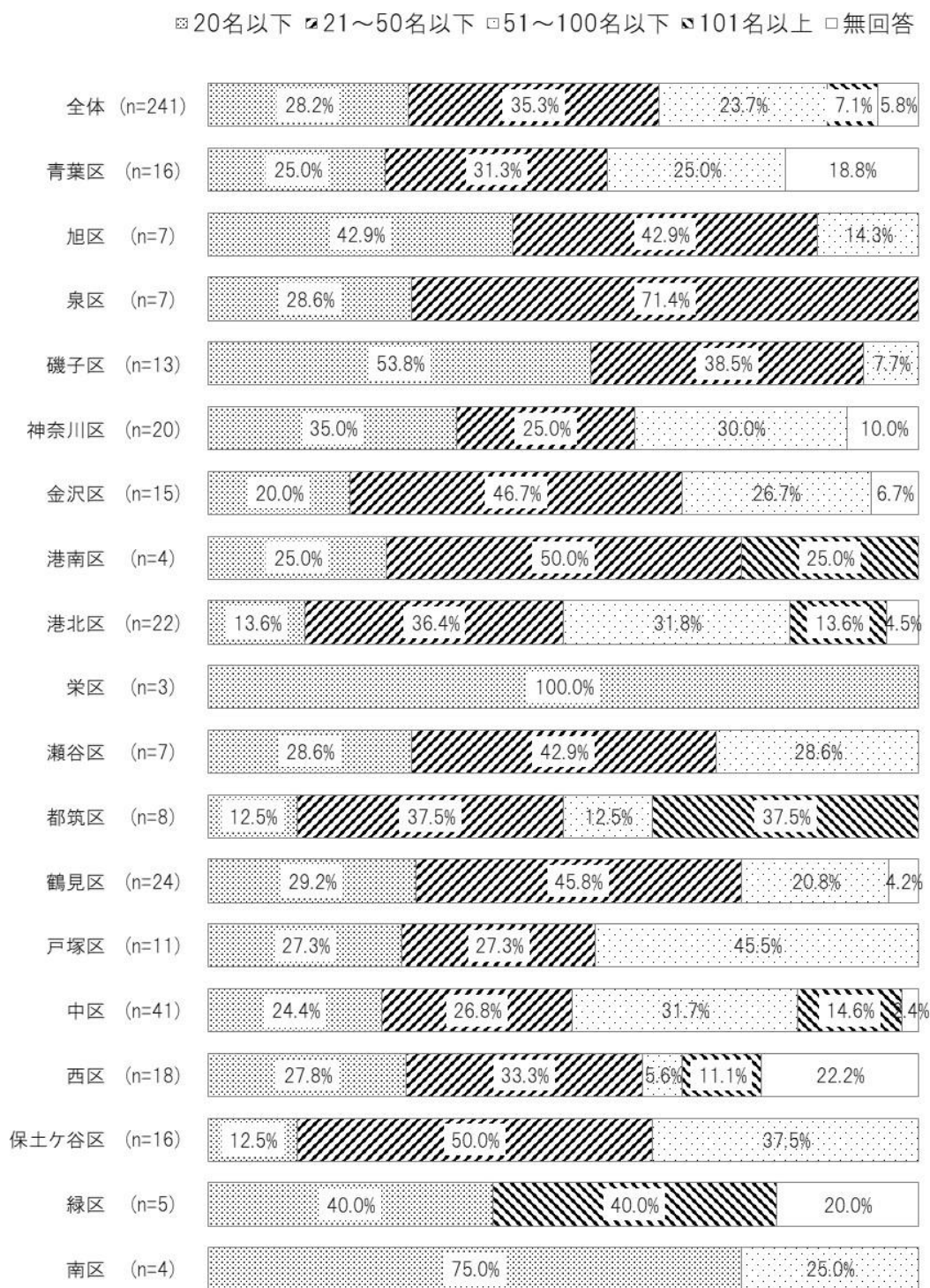
問 5 貴商店街の会員数は何名ですか。(正会員) 全体 (n=241)



図表 2- 22 正会員数

正会員数について全体で見ると、「21~50名以下」が35.3%を占め、「50名以下」で見ると63.5%を占める。

正会員数 立地する区別



図表 2- 23 正会員数 立地する区別

正会員数について立地する区別で見ると、中区、港北区では「101名以上」が14%前後を占める。一方、磯子区、神奈川区、鶴見区では「101名以上」は無く、「50名以下」が磯子区では92.3%、神奈川区では60.0%、鶴見区では75.0%を占める。

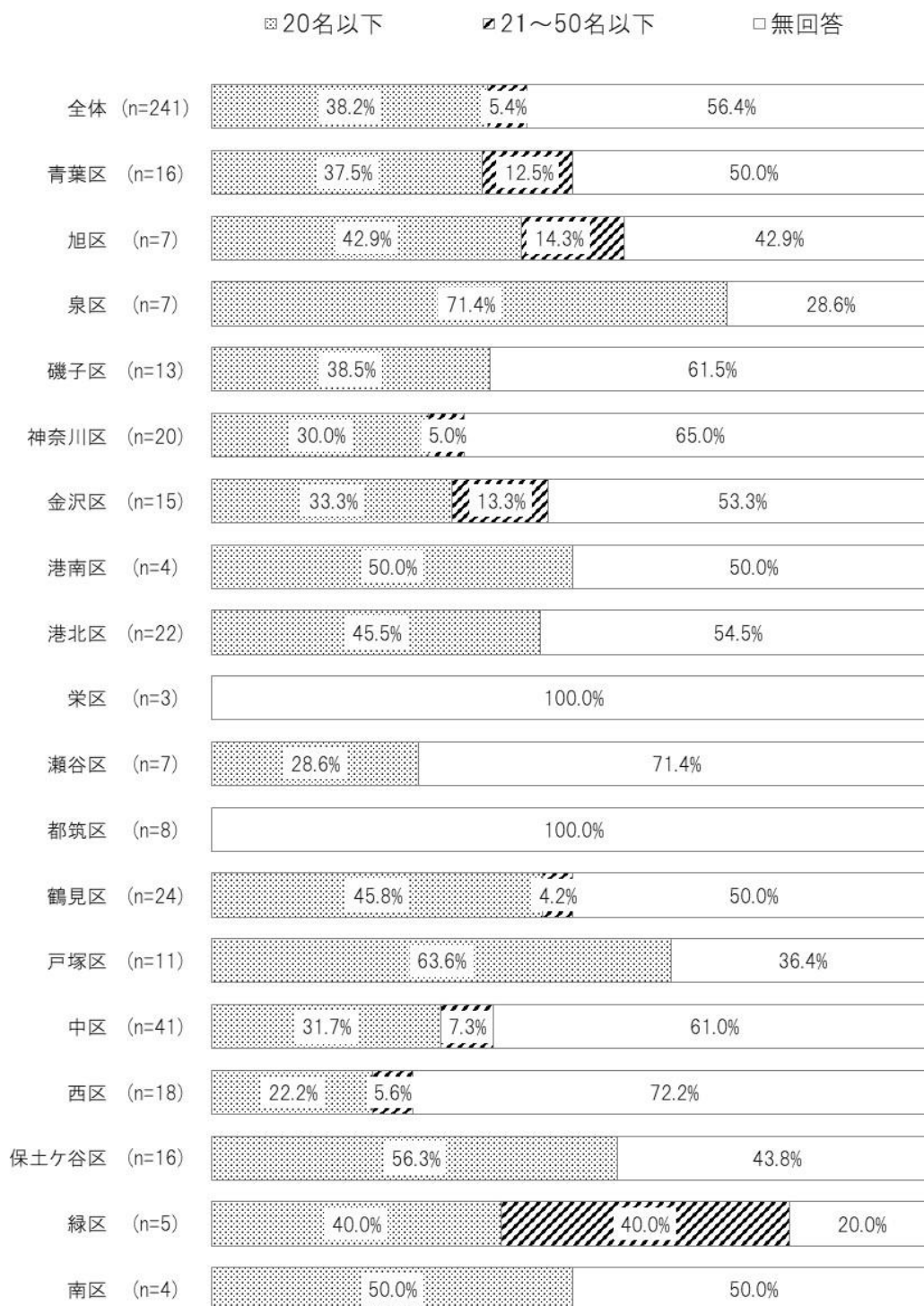
問 5 貴商店街の会員数は何名ですか。(準・賛助会員) 全体 (n=241)



図表 2- 24 準・賛助会員数

準・賛助会員数について全体で見ると、「20 名以下」が 38.2%を占める。

準・賛助会員数 立地する区別



図表 2- 25 準・賛助会員数 立地する区別

準・賛助会員数について立地する区別で見ると、戸塚区では「20 名以下」が 63.6%、保土ヶ谷区では 56.3%を占める。

問 5 貴商店街の会員数は何名ですか。(その他) 全体 (n=241)

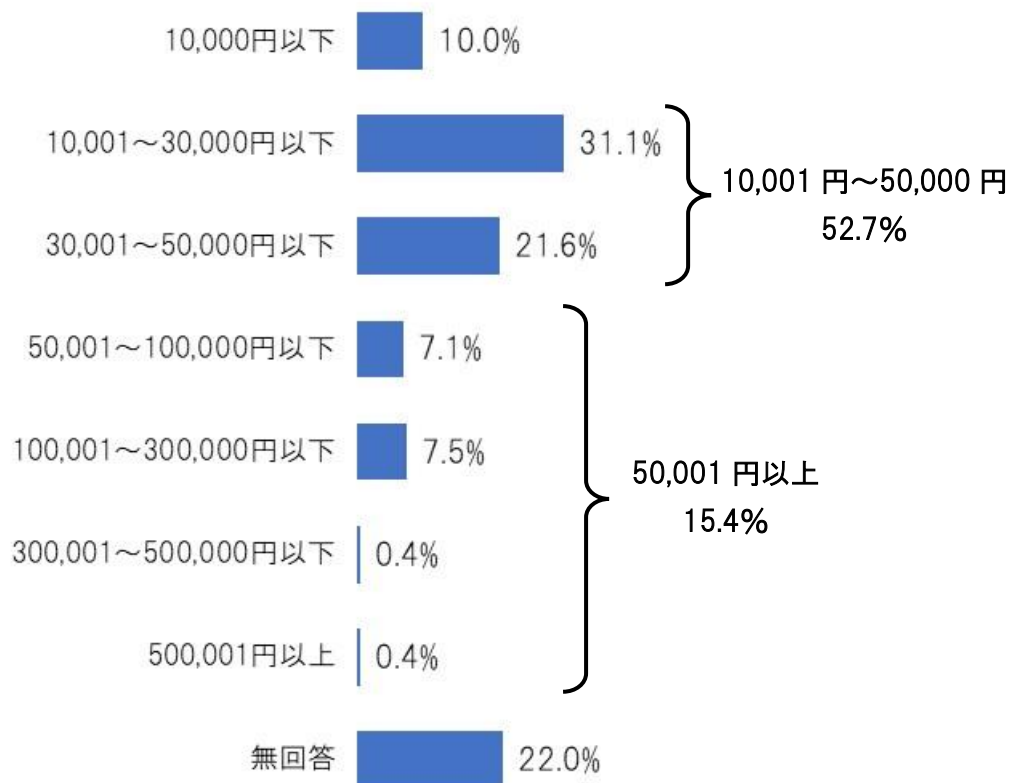


図表 2- 26 その他会員数

その他会員数について全体で見ると、ほとんどが「無回答」となっている。

問 5 また、会費について(年会費もしくは月会費)1店舗当たりの平均金額を教えてください。
 全体 (n=241)

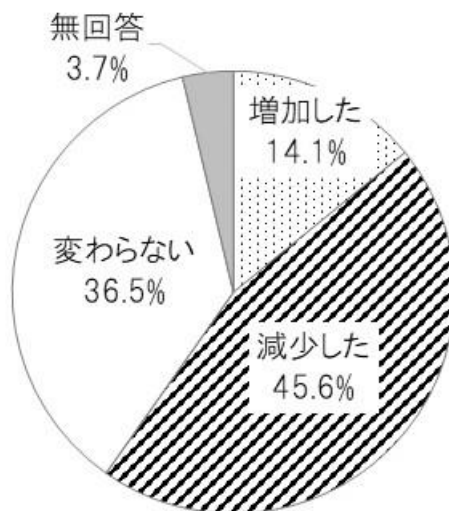
会費平均(年換算・全商店街) ¥49,305



図表 2- 27 会費

会費について全体で見ると、「10,001～30,000円以下」が31.1%を占め、「10,001円～50,000円」で見ると52.7%を占める。「50,001円以上」が15.4%を占めることから、平均は49,305円となっている。

問 5-2 3年前と比べて、商店街への加盟率に変化がありましたか。(〇は1つだけ)
 全体 (n=241)

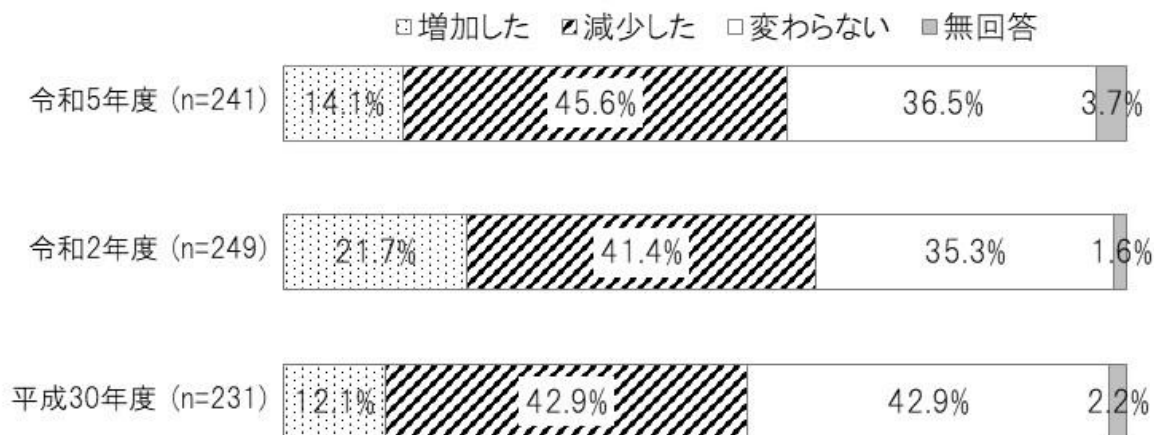


図表 2- 28 加盟率の変化

加盟率の変化について全体で見ると、「減少した」が 45.6%を占め、「増加した」の 14.1%を大幅に上回っている。

加盟率の変化 経年比較

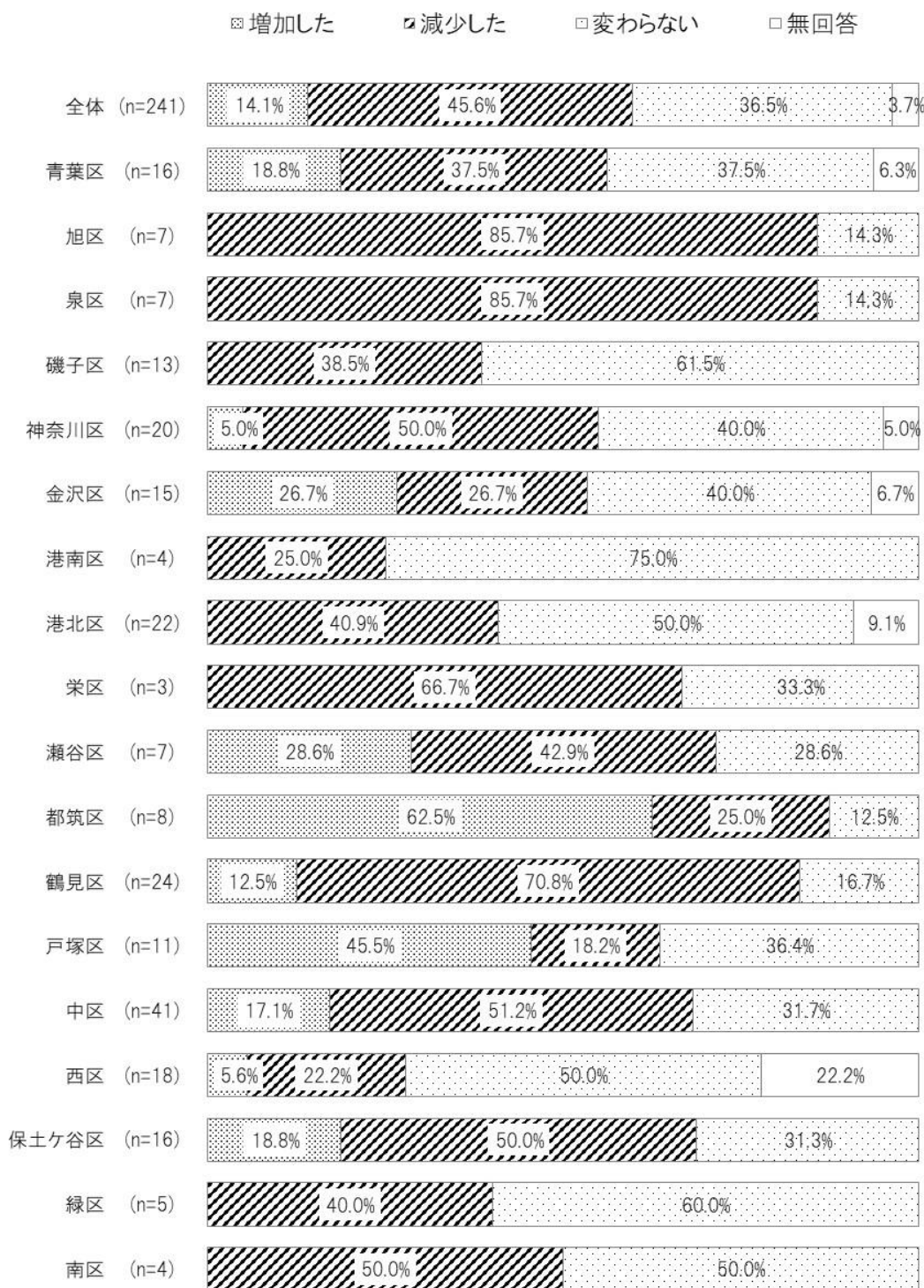
全対象者 令和 5 年度 (n=241) 令和 2 年度 (n=249) 平成 30 年度 (n=231)



図表 2- 29 加盟率の変化 経年比較

加盟率の変化について経年で見ると、令和 2 年度に「増加した」が平成 30 年度から 9.6 ポイント上昇したものの、今回、令和 2 年度から 7.6 ポイント低下している。反対に「減少した」は令和 2 年度から 4.2 ポイント上昇している。

加盟率の変化 立地する区別



図表 2- 30 加盟率の変化 立地する区別

加盟率の変化について立地する区別で見ると、戸塚区では「増加した」が45.5%、金沢区、青葉区、保土ヶ谷区、中区では2割前後を占める。一方で、鶴見区では「減少した」が70.8%を占め、ほとんどの区を上回っている。

問 5-3 貴商店街の区域内で、貴商店街に加盟していない店舗数をご記入ください。(非加盟店舗総数) 全体 (n=241)

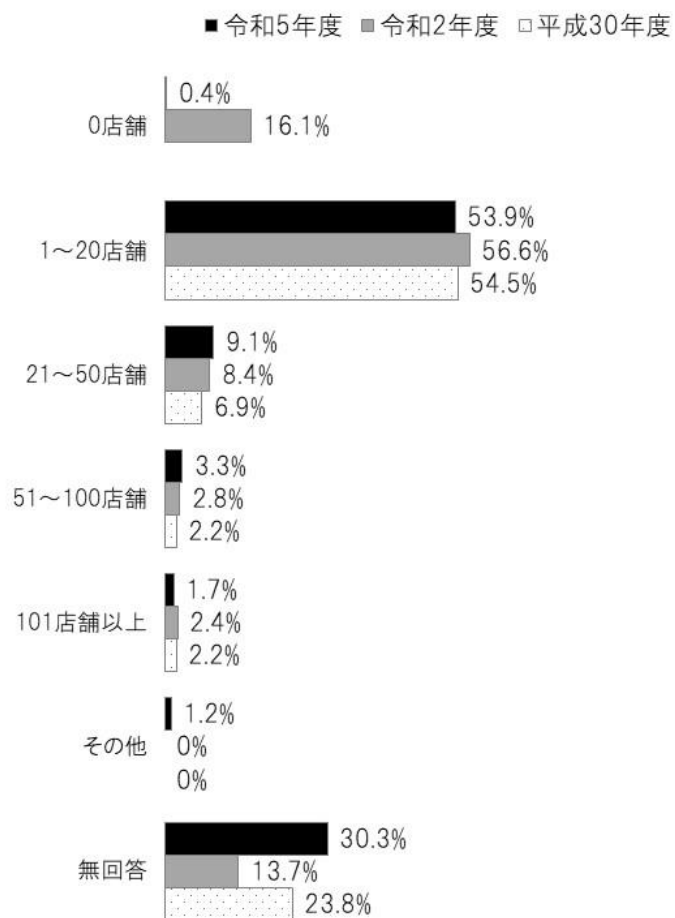


図表 2- 31 非加盟店舗総数

非加盟店舗総数について全体で見ると、「1~20 店舗」が 53.9%と過半数を占める。

非加盟店舗総数 経年比較

全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249) 平成30年度 (n=231)

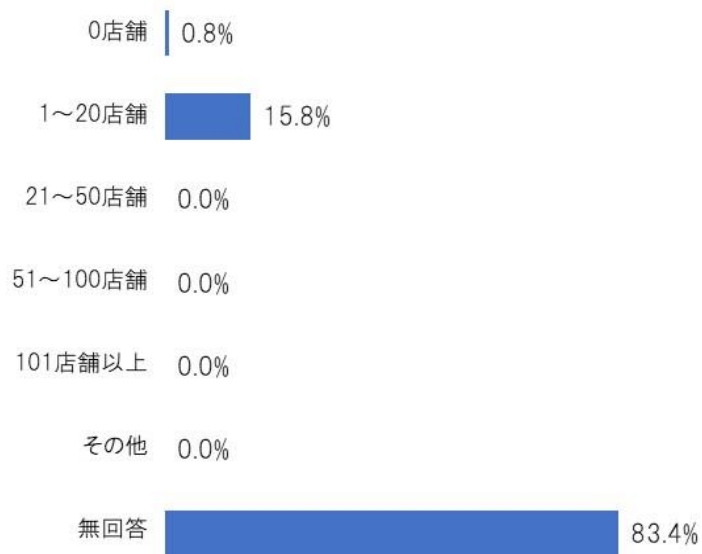


※選択肢「0 店舗」は令和 2 年度から追加

図表 2- 32 非加盟店舗総数 経年

非加盟店舗総数を経年で見ると、全体的に大きな変化は見られない。

問 5-3 貴商店街の区域内で、貴商店街に加盟していない店舗数をご記入ください。
 (大型店) 全体 (n=241)



図表 2- 33 非加盟店舗数 大型店

大型店の非加盟店舗数を全体で見ると、「1～20 店舗」が 15.8%を占める。

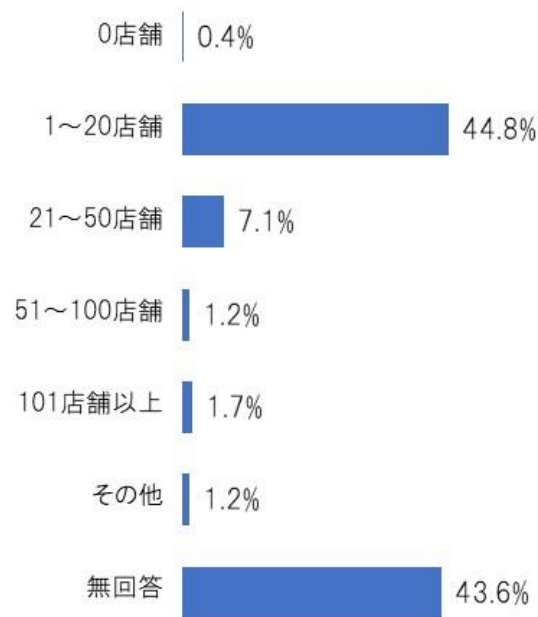
問 5-3 貴商店街の区域内で、貴商店街に加盟していない店舗数をご記入ください。
 (チェーン店) 全体 (n=241)



図表 2- 34 非加盟店舗数 チェーン店

チェーン店の非加盟店舗数を全体で見ると、「1～20 店舗」が 37.3%を占める。

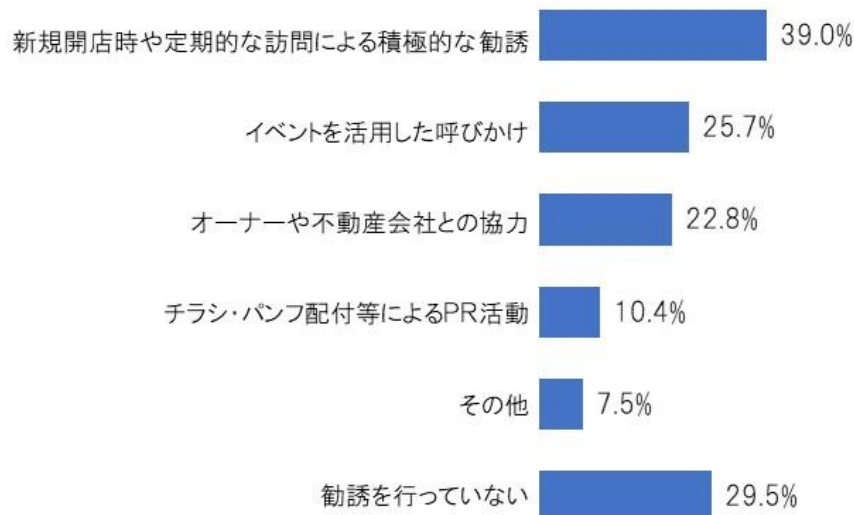
問 5-3 貴商店街の区域内で、貴商店街に加盟していない店舗数をご記入ください。
(その他) 全体 (n=241)



図表 2- 35 非加盟店舗数 その他

その他店舗の非加盟店舗数を全体で見ると、「1~20 店舗」が 44.8%を占める。

問 6 貴商店街ではどのような加盟勧誘活動を行っていますか。(あてはまるもの全てに○)
全体 (n=241)



図表 2- 36 加盟勧誘活動

加盟勧誘活動について全体で見ると、「新規開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘」が 39.0%でトップ、「イベントを活用した呼びかけ」(25.7%)、「オーナーや不動産会社との協力」(22.8%)が 2 割台で続く。

【その他の内容(抜粋)】

新規開店時に勧誘／開店の際、お声がけ／新規開店時に訪問
理事からの声掛け／理事による勧誘活動／役員が手当てして勧誘
店舗に立ち寄ったついでに
入居にあたり商店街加盟が条件／入居の条件／
加盟店が出店時の条件／契約時に自動的に入会
まちづくり協議等
今後して行く必要がある

図表 2- 37 加盟勧誘活動 その他の内容

加盟勧誘活動 会員数別

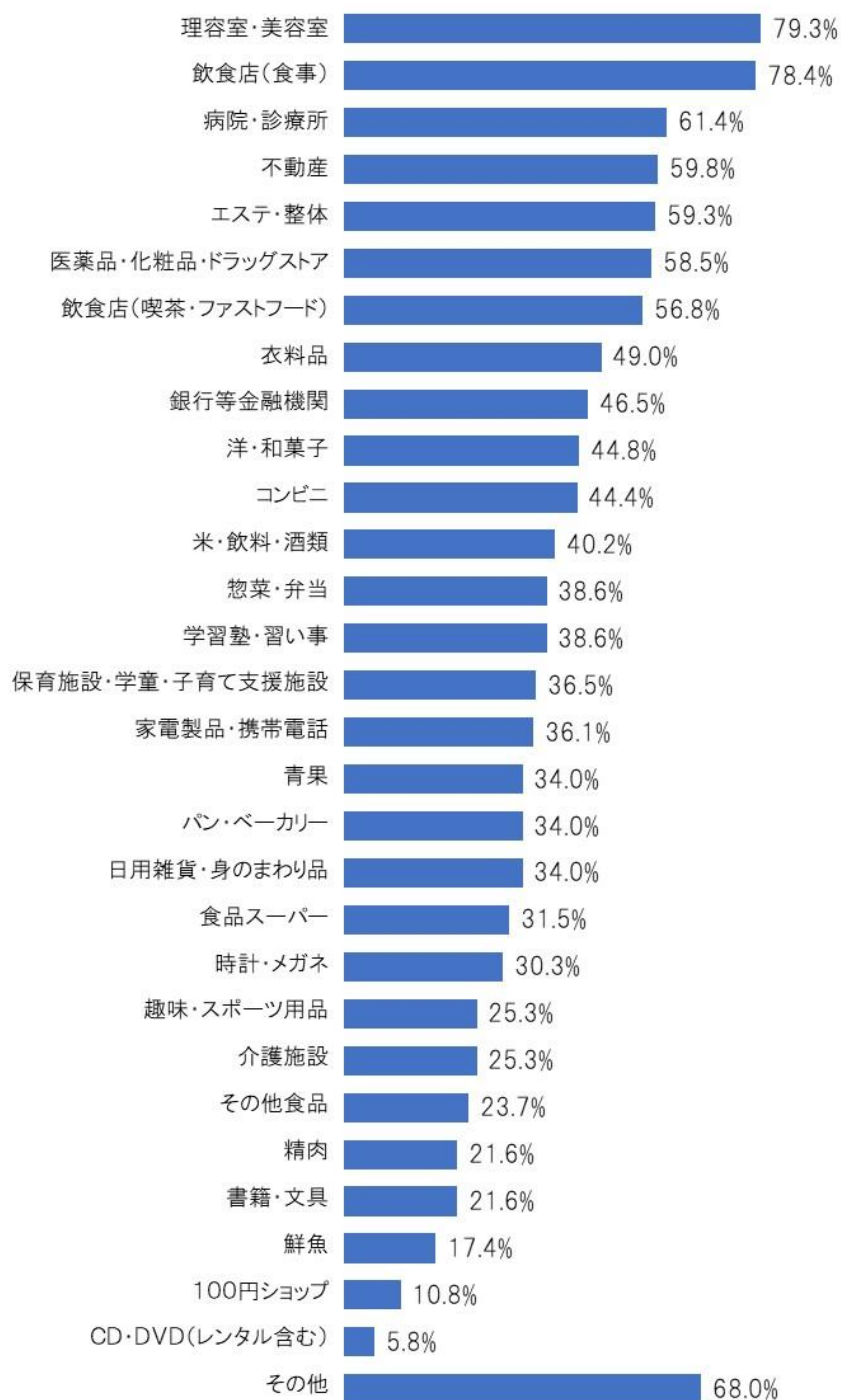
会員数別	全体 (n=241)	20名以下 (n=68)	21～50名以下 (n=85)	51～100名以下 (n=57)	101名以上 (n=17)
新規開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘	39.0%	28.1%	29.0%	61.1%	70.8%
イベントを活用した呼びかけ	25.7%	8.8%	25.8%	44.4%	29.2%
チラシ・パンフ配付等によるPR活動	22.8%	1.8%	22.6%	37.0%	50.0%
オーナーや不動産会社との協力	10.4%	7.0%	9.7%	14.8%	16.7%
その他	7.5%	5.3%	7.5%	9.3%	8.3%
勧誘を行っていない	29.5%	49.1%	32.3%	11.1%	12.5%

図表 2- 38 加盟勧誘活動 会員数別

加盟勧誘活動について会員数別で見ると、51～100名以下、101名以上では「新規開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘」が6～7割を占めるのに対して、20名以下、21～50名以下では3割に満たない。一方で、「勧誘を行っていない」を見ると、20名以下は49.1%、21～50名以下は32.3%を占めている。

(2) 商店街の構成業種と不足業種

問 7 現在、貴商店街区域を構成する店舗の数を業種・業態毎にご記入ください。
 (当該業種・業態店舗を有する商店街数) 全体 (n=241)

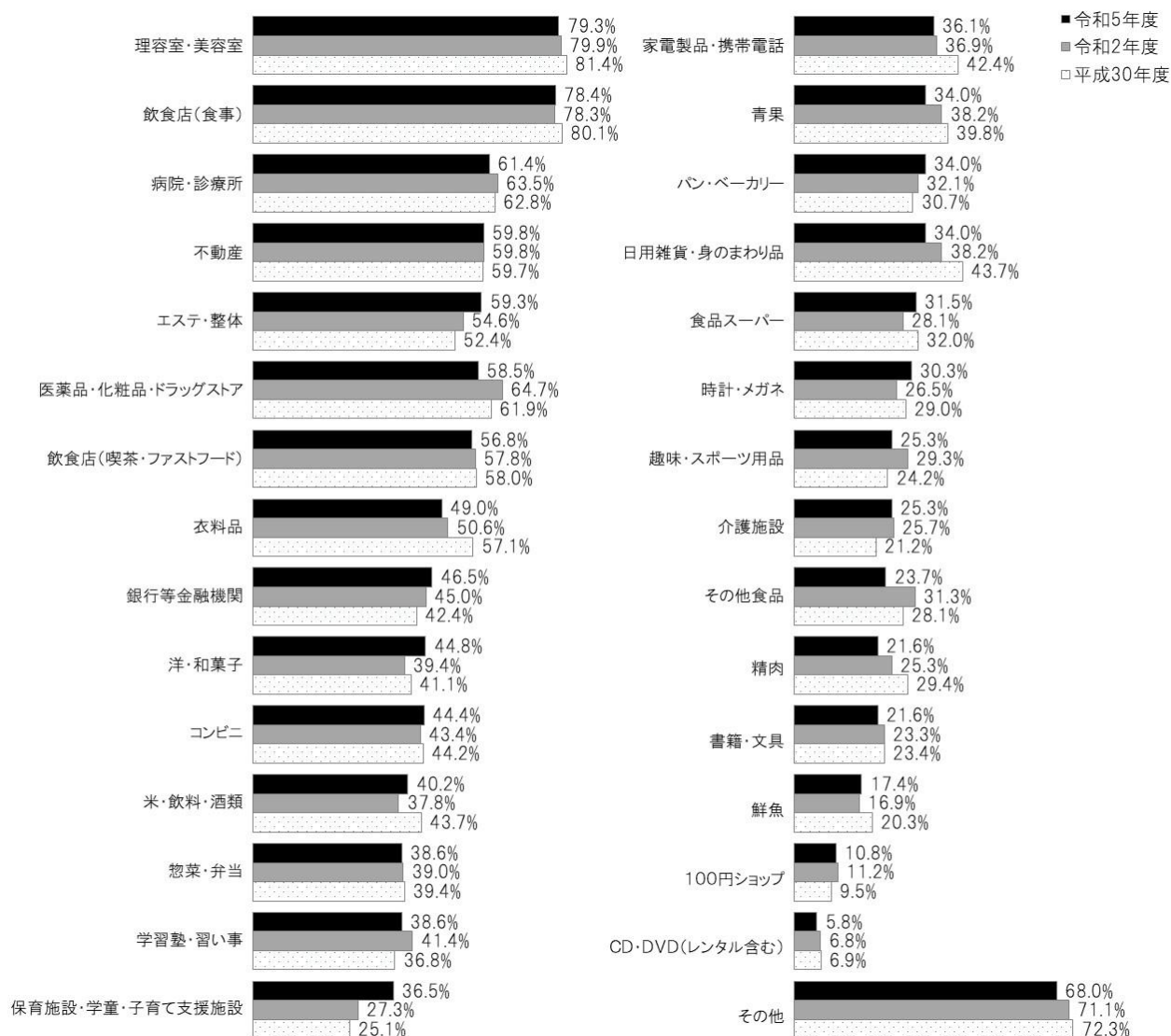


図表 2- 39 商店街構成店舗 当該業種・業態店舗を有する商店街数

商店街の構成業種について、各業種を有する商店街数を全体で見ると、「理容室・美容室」を有する商店街は 79.3%、「飲食店(食事)」は 78.4%を占め、約 8 割の商店街がいずれかを有する。

商店街構成店舗 当該業種・業態店舗を有する商店街数 経年比較

全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249) 平成30年度 (n=231)



図表 2- 40 商店街構成店舗 当該業種・業態店舗を有する商店街数 経年

商店街の構成業種について、各業種を有する商店街数を経年で見ると、「理容室・美容室」、「飲食店(食事)」には大きな変化は見られない。平成30年度以降上昇が大きい業種は「保育施設・学童・子育て支援施設」(11.4ポイント上昇)、「エステ・整体」(6.9ポイント上昇)である。一方、平成30年度以降、低下が大きい業種は「日用雑貨・身のまわり品」(9.7ポイント低下)、「衣料品」(8.1ポイント低下)、「精肉」(7.8ポイント低下)である。

問7 現在、貴商店街区域を構成する店舗の数を業種・業態毎にご記入ください。
 (当該業種・業態店舗数) 店舗総数 (n=11,763)



図表 2- 41 商店街構成店舗 当該業種・業態店舗数

商店街の構成業種について、各業種の店舗数を全体で見ると、飲食店(食事)が23.4%を占め、突出している。

問 8 現在、貴商店街区域に不足していると感じている業種・業態は何ですか。
 上記問 7 の中から選び、()内に番号をご記入ください。(3つまで選択) 全体 (n=241)

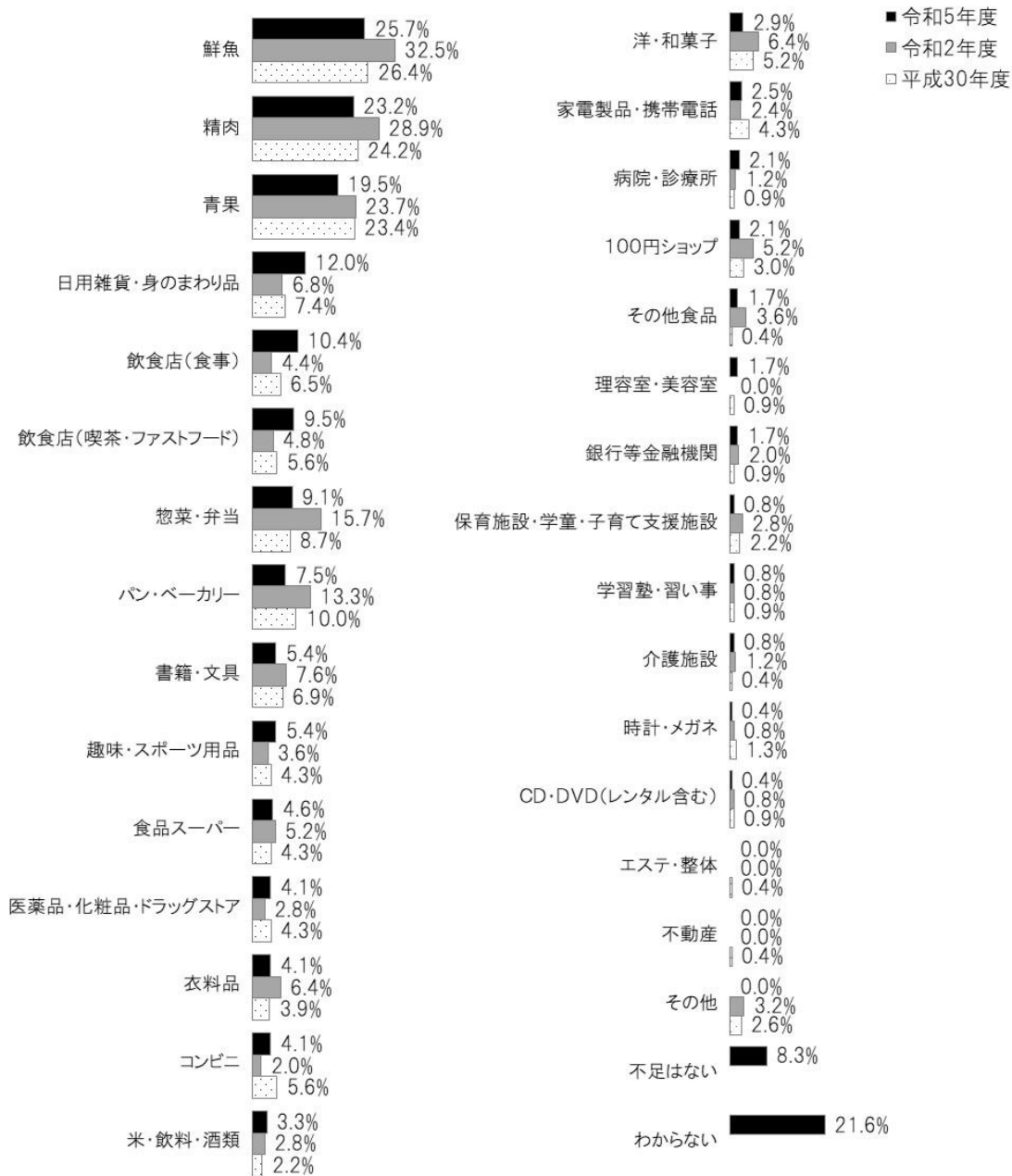


図表 2- 42 不足していると感じている業種・業態

不足していると感じている業種・業態を全体で見ると、「鮮魚」(25.7%)、「精肉」(23.2%)、「青果」(19.5%)が 2 割前後で上位となっている。

不足していると感じている業種・業態 経年比較

全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249) 平成30年度 (n=231)




図表 2- 43 不足していると感じている業種・業態 経年比較

不足していると感じている業種・業態について、令和2年度からの変化を見ると、「鮮魚」(6.8ポイント低下)、「精肉」(5.7ポイント低下)、「惣菜・弁当」(6.6ポイント低下)、「パン・ベーカリー」(5.8ポイント低下)は6ポイント前後の低下となっている。一方で、「飲食店(食事)」(6.0ポイント上昇)、「日用雑貨・身のまわり品」(5.2ポイント上昇)、「飲食店(喫茶・ファストフード)」(4.7ポイント上昇)は約5~6ポイントの上昇となっている。

不足していると感じている業種・業態 立地する区別 (1)

立地する区別	全体 (n=241)	青葉区 (n=16)	旭区 (n=7)	泉区 (n=7)	磯子区 (n=13)	神奈川区 (n=20)	金沢区 (n=15)
鮮魚	25.7%	37.5%	42.9%	14.3%	23.1%	15.0%	33.3%
精肉	23.2%	12.5%	42.9%	42.9%	7.7%	20.0%	26.7%
青果	19.5%	12.5%	28.6%	28.6%	23.1%	20.0%	33.3%
日用雑貨・身のまわり品	12.0%	25.0%	28.6%	28.6%	7.7%	10.0%	6.7%
飲食店(食事)	10.4%	18.8%	14.3%	14.3%	15.4%	10.0%	0.0%
飲食店(喫茶・ファストフード)	9.5%	18.8%	14.3%	0.0%	23.1%	10.0%	6.7%
惣菜・弁当	9.1%	6.3%	14.3%	0.0%	23.1%	20.0%	0.0%
パン・ベーカリー	7.5%	18.8%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	13.3%
書籍・文具	5.4%	12.5%	14.3%	0.0%	0.0%	5.0%	6.7%
趣味・スポーツ用品	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	5.0%	6.7%
食品スーパー	4.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	6.7%
医薬品・化粧品・ドラッグストア	4.1%	6.3%	0.0%	14.3%	15.4%	10.0%	0.0%
衣料品	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	15.0%	0.0%
コンビニ	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
米・飲料・酒類	3.3%	6.3%	0.0%	14.3%	15.4%	0.0%	6.7%
洋・和菓子	2.9%	6.3%	14.3%	0.0%	7.7%	5.0%	0.0%
家電製品・携帯電話	2.5%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%
病院・診療所	2.1%	6.3%	14.3%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
100円ショップ	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他食品	1.7%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理容室・美容室	1.7%	0.0%	14.3%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
銀行等金融機関	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%
保育施設・学童・子育て支援施設	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
学習塾・習い事	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護施設	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
時計・メガネ	0.4%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
CD・DVD(レンタル含む)	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
エステ・整体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不足はない	8.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	20.0%
わからない	21.6%	6.3%	0.0%	28.6%	15.4%	15.0%	13.3%

 1位の項目

図表 2- 44 不足していると感じている業種・業態 立地する区別 (1)

不足していると感じている業種・業態 立地する区別 (2)

立地する区別	全体 (n=241)	港南区 (n=4)	港北区 (n=22)	栄区 (n=3)	瀬谷区 (n=7)	都筑区 (n=8)	鶴見区 (n=24)
鮮魚	25.7%	0.0%	27.3%	0.0%	28.6%	25.0%	41.7%
精肉	23.2%	25.0%	18.2%	33.3%	14.3%	25.0%	37.5%
青果	19.5%	25.0%	13.6%	0.0%	14.3%	25.0%	25.0%
日用雑貨・身のまわり品	12.0%	25.0%	4.5%	33.3%	0.0%	0.0%	20.8%
飲食店(食事)	10.4%	0.0%	13.6%	0.0%	14.3%	0.0%	20.8%
飲食店(喫茶・ファストフード)	9.5%	50.0%	9.1%	0.0%	0.0%	12.5%	16.7%
惣菜・弁当	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
パン・ベーカリー	7.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
書籍・文具	5.4%	0.0%	9.1%	33.3%	0.0%	0.0%	4.2%
趣味・スポーツ用品	5.4%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
食品スーパー	4.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	12.5%	8.3%
医薬品・化粧品・ドラッグストア	4.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
衣料品	4.1%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	12.5%	4.2%
コンビニ	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
米・飲料・酒類	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	4.2%
洋・和菓子	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
家電製品・携帯電話	2.5%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院・診療所	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
100円ショップ	2.1%	0.0%	4.5%	33.3%	0.0%	12.5%	4.2%
その他食品	1.7%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理容室・美容室	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
銀行等金融機関	1.7%	25.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保育施設・学童・子育て支援施設	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学習塾・習い事	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護施設	0.8%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
時計・メガネ	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
CD・DVD(レンタル含む)	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
エステ・整体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不足はない	8.3%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	37.5%	4.2%
わからない	21.6%	25.0%	27.3%	33.3%	57.1%	12.5%	12.5%

 1位の項目

図表 2- 45 不足していると感じている業種・業態 立地する区別 (2)

不足していると感じている業種・業態 立地する区別 (3)

立地する区別	全体 (n=241)	戸塚区 (n=11)	中区 (n=41)	西区 (n=18)	保土ヶ谷区 (n=16)	緑区 (n=5)	南区 (n=4)
鮮魚	25.7%	18.2%	12.2%	11.1%	50.0%	60.0%	25.0%
精肉	23.2%	18.2%	9.8%	16.7%	50.0%	40.0%	50.0%
青果	19.5%	9.1%	12.2%	5.6%	37.5%	20.0%	50.0%
日用雑貨・身のまわり品	12.0%	9.1%	7.3%	11.1%	18.8%	0.0%	0.0%
飲食店(食事)	10.4%	9.1%	4.9%	5.6%	12.5%	20.0%	0.0%
飲食店(喫茶・ファストフード)	9.5%	0.0%	2.4%	11.1%	6.3%	0.0%	0.0%
惣菜・弁当	9.1%	9.1%	4.9%	16.7%	12.5%	0.0%	0.0%
パン・ベーカリー	7.5%	18.2%	7.3%	11.1%	18.8%	0.0%	0.0%
書籍・文具	5.4%	0.0%	0.0%	11.1%	6.3%	20.0%	0.0%
趣味・スポーツ用品	5.4%	0.0%	4.9%	11.1%	12.5%	0.0%	0.0%
食品スーパー	4.6%	9.1%	2.4%	0.0%	6.3%	20.0%	0.0%
医薬品・化粧品・ドラッグストア	4.1%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
衣料品	4.1%	0.0%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
コンビニ	4.1%	18.2%	12.2%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
米・飲料・酒類	3.3%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
洋・和菓子	2.9%	0.0%	2.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
家電製品・携帯電話	2.5%	0.0%	0.0%	5.6%	6.3%	0.0%	0.0%
病院・診療所	2.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100円ショップ	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
その他食品	1.7%	0.0%	2.4%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
理容室・美容室	1.7%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	20.0%	0.0%
銀行等金融機関	1.7%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保育施設・学童・子育て支援施設	0.8%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学習塾・習い事	0.8%	9.1%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護施設	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
時計・メガネ	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
CD・DVD(レンタル含む)	0.4%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
エステ・整体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不足はない	8.3%	0.0%	14.6%	11.1%	0.0%	20.0%	0.0%
わからない	21.6%	36.4%	41.5%	22.2%	0.0%	0.0%	25.0%

 1位の項目

図表 2- 46 不足していると感じている業種・業態 立地する区別 (3)

不足していると感じている業種・業態について、立地する区別で見ると、「鮮魚」は保土ヶ谷区(50.0%)、鶴見区(41.7%)、青葉区(37.5%)等で、「精肉」は保土ヶ谷区(50.0%)、鶴見区(37.5%)等で、「青果」は保土ヶ谷区(37.5%)、金沢区(33.3%)等で高い。

不足していると感じている業種・業態 商店街タイプ別

商店街タイプ別	全体 (n=241)	近隣型商店街 (n=118)	地域型商店街 (n=77)	広域型商店街 (n=9)	超広域型商店街 (n=4)	その他の 商業エリア等 (n=19)
鮮魚	25.7%	30.5%	29.9%	0.0%	0.0%	5.3%
精肉	23.2%	33.9%	19.5%	0.0%	0.0%	5.3%
青果	19.5%	26.3%	15.6%	0.0%	0.0%	5.3%
日用雑貨・身のまわり品	12.0%	13.6%	13.0%	11.1%	0.0%	5.3%
飲食店(食事)	10.4%	11.9%	11.7%	0.0%	0.0%	10.5%
飲食店(喫茶・ファストフード)	9.5%	11.9%	6.5%	11.1%	0.0%	10.5%
惣菜・弁当	9.1%	10.2%	9.1%	0.0%	0.0%	5.3%
パン・ベーカリー	7.5%	9.3%	5.2%	0.0%	0.0%	10.5%
書籍・文具	5.4%	4.2%	10.4%	0.0%	0.0%	0.0%
趣味・スポーツ用品	5.4%	4.2%	3.9%	33.3%	0.0%	5.3%
食品スーパー	4.6%	5.9%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%
医薬品・化粧品・ドラッグストア	4.1%	5.1%	3.9%	0.0%	0.0%	5.3%
衣料品	4.1%	4.2%	3.9%	11.1%	0.0%	0.0%
コンビニ	4.1%	2.5%	3.9%	11.1%	0.0%	5.3%
米・飲料・酒類	3.3%	5.1%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
洋・和菓子	2.9%	2.5%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%
家電製品・携帯電話	2.5%	2.5%	2.6%	11.1%	0.0%	0.0%
病院・診療所	2.1%	3.4%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
100円ショップ	2.1%	2.5%	1.3%	0.0%	0.0%	5.3%
その他食品	1.7%	0.8%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%
理容室・美容室	1.7%	1.7%	1.3%	11.1%	0.0%	0.0%
銀行等金融機関	1.7%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
保育施設・学童・子育て支援施設	0.8%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	5.3%
学習塾・習い事	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
介護施設	0.8%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
時計・メガネ	0.4%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
CD・DVD(レンタル含む)	0.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
エステ・整体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不足はない	8.3%	2.5%	10.4%	33.3%	50.0%	21.1%
わからない	21.6%	17.8%	19.5%	33.3%	25.0%	36.8%

1位の項目

図表 2- 47 不足していると感じている業種・業態 商店街タイプ別

不足していると感じている業種・業態について、商店街タイプ別で見ると、近隣型商店街では「精肉」が33.9%、「鮮魚」が30.5%、「青果」が26.3%といずれも3割前後となっている。地域型商店街は「不足はない」が10.4%を占め、各業種・業態に対して近隣型商店街ほどの不足を感じていない。

不足していると感じている業種・業態 立地環境別

立地環境別	全体 (n=241)	繁華街 (n=47)	住宅街 (n=113)	駅前・駅ビル (n=54)	ロードサイド (n=10)	オフィス街 (n=7)	その他 (n=6)
鮮魚	25.7%	12.8%	29.2%	35.2%	20.0%	0.0%	16.7%
精肉	23.2%	17.0%	29.2%	18.5%	20.0%	0.0%	33.3%
青果	19.5%	12.8%	23.0%	20.4%	10.0%	0.0%	16.7%
日用雑貨・身のまわり品	12.0%	10.6%	15.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
飲食店(食事)	10.4%	2.1%	12.4%	14.8%	10.0%	0.0%	16.7%
飲食店(喫茶・ファストフード)	9.5%	2.1%	9.7%	14.8%	20.0%	0.0%	16.7%
惣菜・弁当	9.1%	4.3%	8.8%	11.1%	20.0%	0.0%	16.7%
パン・ベーカリー	7.5%	4.3%	9.7%	5.6%	10.0%	0.0%	16.7%
書籍・文具	5.4%	6.4%	4.4%	7.4%	10.0%	0.0%	0.0%
趣味・スポーツ用品	5.4%	6.4%	2.7%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食品スーパー	4.6%	2.1%	6.2%	3.7%	10.0%	0.0%	0.0%
医薬品・化粧品・ドラッグストア	4.1%	4.3%	5.3%	1.9%	10.0%	0.0%	0.0%
衣料品	4.1%	4.3%	3.5%	3.7%	20.0%	0.0%	0.0%
コンビニ	4.1%	4.3%	2.7%	5.6%	10.0%	0.0%	16.7%
米・飲料・酒類	3.3%	0.0%	6.2%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
洋・和菓子	2.9%	2.1%	2.7%	3.7%	0.0%	0.0%	16.7%
家電製品・携帯電話	2.5%	2.1%	2.7%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
病院・診療所	2.1%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100円ショップ	2.1%	4.3%	1.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
その他食品	1.7%	0.0%	1.8%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
理容室・美容室	1.7%	0.0%	1.8%	1.9%	0.0%	0.0%	16.7%
銀行等金融機関	1.7%	2.1%	1.8%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
保育施設・学童・子育て支援施設	0.8%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
学習塾・習い事	0.8%	0.0%	0.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
介護施設	0.8%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
時計・メガネ	0.4%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
CD・DVD(レンタル含む)	0.4%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
エステ・整体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不足はない	8.3%	17.0%	2.7%	11.1%	0.0%	14.3%	33.3%
わからない	21.6%	36.2%	16.8%	14.8%	30.0%	57.1%	0.0%

1位の項目

図表 2- 48 不足していると感じている業種・業態 立地環境別

不足していると感じている業種・業態について、立地環境別で見ると、駅前・駅ビルでは「鮮魚」が 35.2%と高く、住宅街では「鮮魚」、「精肉」ともに 29.2%と高くなっている。

不足していると感じている業種・業態 会員数別

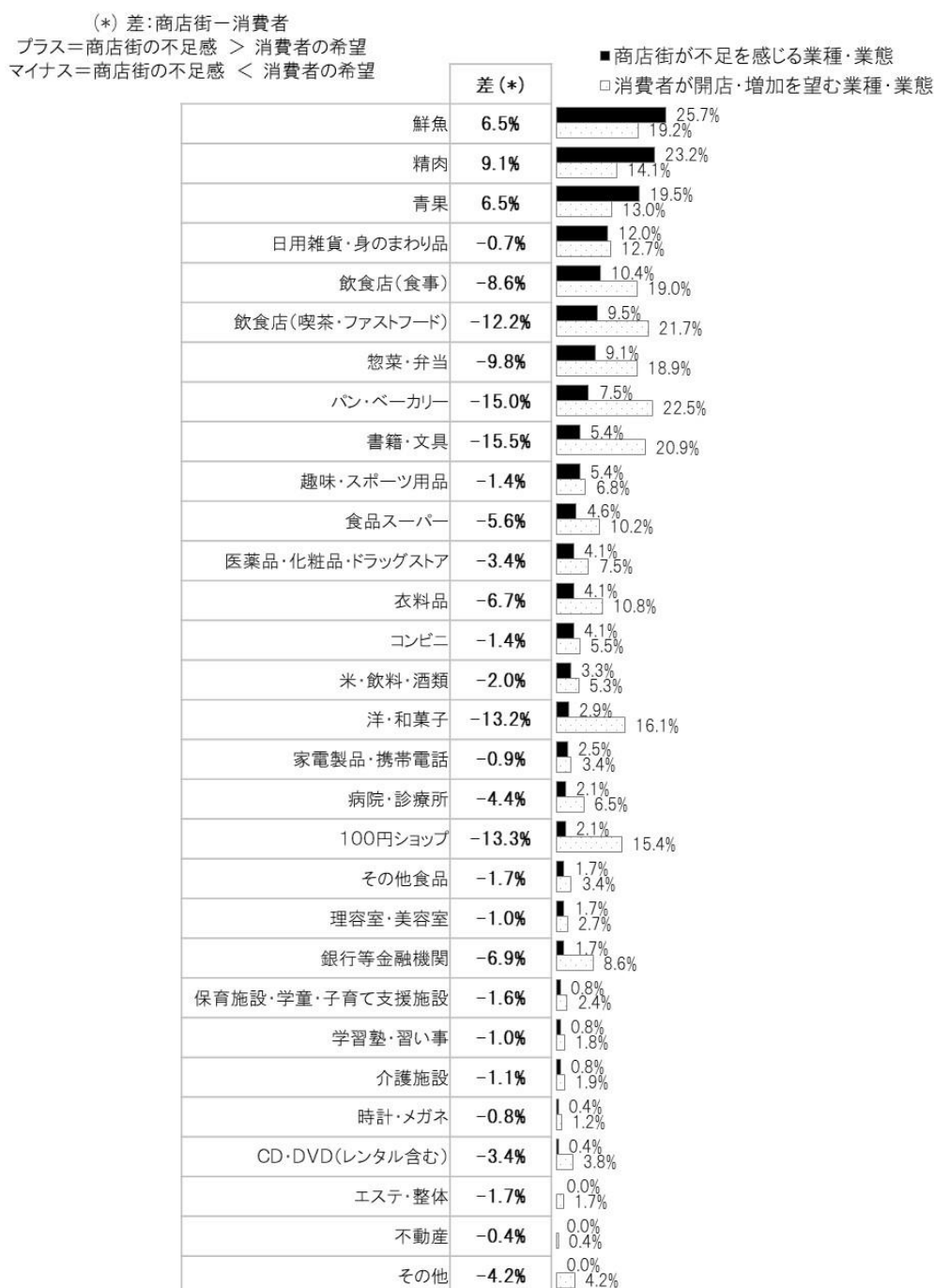
会員数別	全体 (n=241)	20名以下 (n=68)	21~50名以下 (n=85)	51~100名以下 (n=57)	101名以上 (n=17)
鮮魚	25.7%	19.3%	29.0%	29.6%	25.0%
精肉	23.2%	29.8%	22.6%	24.1%	20.8%
青果	19.5%	21.1%	19.4%	20.4%	20.8%
日用雑貨・身のまわり品	12.0%	12.3%	15.1%	9.3%	8.3%
飲食店(食事)	10.4%	8.8%	15.1%	7.4%	4.2%
飲食店(喫茶・ファストフード)	9.5%	1.8%	14.0%	11.1%	8.3%
惣菜・弁当	9.1%	5.3%	10.8%	13.0%	4.2%
パン・ベーカリー	7.5%	8.8%	6.5%	7.4%	4.2%
書籍・文具	5.4%	5.3%	4.3%	5.6%	12.5%
趣味・スポーツ用品	5.4%	1.8%	6.5%	7.4%	4.2%
食品スーパー	4.6%	5.3%	1.1%	7.4%	8.3%
医薬品・化粧品・ドラッグストア	4.1%	5.3%	5.4%	1.9%	4.2%
衣料品	4.1%	1.8%	4.3%	5.6%	8.3%
コンビニ	4.1%	3.5%	3.2%	3.7%	4.2%
米・飲料・酒類	3.3%	7.0%	3.2%	0.0%	0.0%
洋・和菓子	2.9%	3.5%	3.2%	3.7%	0.0%
家電製品・携帯電話	2.5%	3.5%	1.1%	3.7%	0.0%
病院・診療所	2.1%	7.0%	0.0%	1.9%	0.0%
100円ショップ	2.1%	1.8%	1.1%	3.7%	4.2%
その他食品	1.7%	0.0%	2.2%	1.9%	0.0%
理容室・美容室	1.7%	3.5%	1.1%	1.9%	0.0%
銀行等金融機関	1.7%	1.8%	2.2%	1.9%	0.0%
保育施設・学童・子育て支援施設	0.8%	0.0%	1.1%	0.0%	4.2%
学習塾・習い事	0.8%	1.8%	0.0%	1.9%	0.0%
介護施設	0.8%	0.0%	1.1%	0.0%	4.2%
時計・メガネ	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
CD・DVD(レンタル含む)	0.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
エステ・整体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不足はない	8.3%	3.5%	5.4%	11.1%	25.0%
わからない	21.6%	28.1%	23.7%	18.5%	8.3%

図表 2- 49 不足していると感じている業種・業態 会員数別

不足していると感じている業種・業態について、会員数別で見ると、21~50名以下、51~100名以下では「鮮魚」が29%台、20名以下では「精肉」が29%台と高くなっている。

商店街の不足を感じるものと消費者が開店・増加を望むものの比較

消費者購買行動意識調査 問11 商店街に開店して欲しい、もっと増えて欲しいお店は何ですか。(あてはまるもの全てに○) 月1回以上商店街を利用する人(n=1,357)



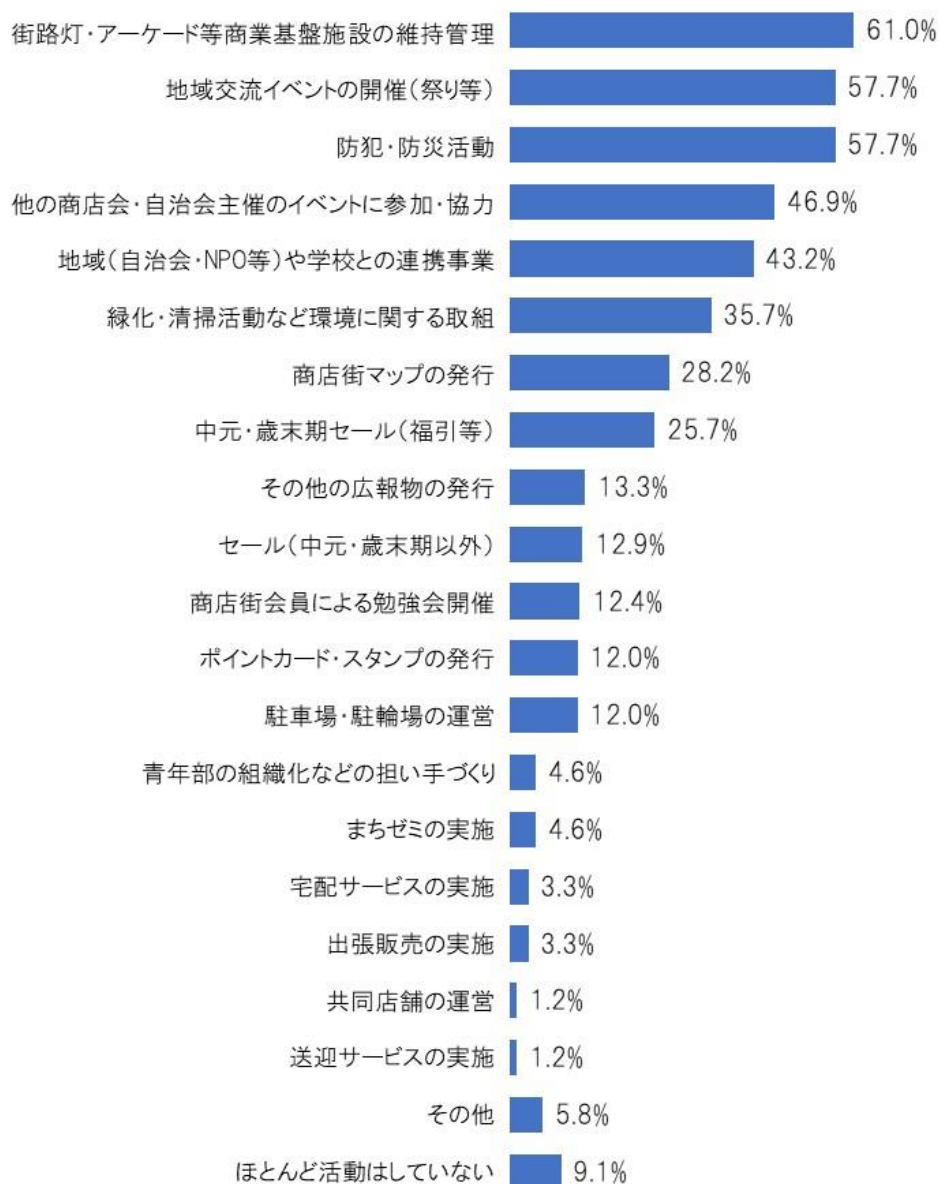
図表 2- 50 商店街の不足を感じるものと消費者が開店・増加を望むものの比較

全体的に消費者の方が各業種・業態について開店・増加をより強く望んでおり、商店街が消費者を上回るのは、商店街が不足を感じている上位の業種である「鮮魚」、「精肉」、「青果」のみとなっている。商店街はこれら3業種について、特に不足を感じているものの、消費者の開店・増加への希望はそれほど強くない

い。一方、消費者が開店・増加を望む店舗として上位となっている「パン・ベーカリー」、「飲食店(喫茶・ファストフード)」、「書籍・文具」では、商店街と消費者の差が「パン・ベーカリー」では-15.0%、「飲食店(喫茶・ファストフード)」では-12.2%、「書籍・文具」では-15.5%と大きくなっている。

(3) 商店街の活動

問 9 貴商店街の活動内容はどのようなものですか。(あてはまるもの全てに○)
全体 (n=241)



図表 2- 51 商店街の活動内容

商店街の活動内容について全体で見ると、「街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理」が 61.0% でトップ、「地域交流イベントの開催(祭り等)」、「防犯・防災活動」が 57.7% で続く。

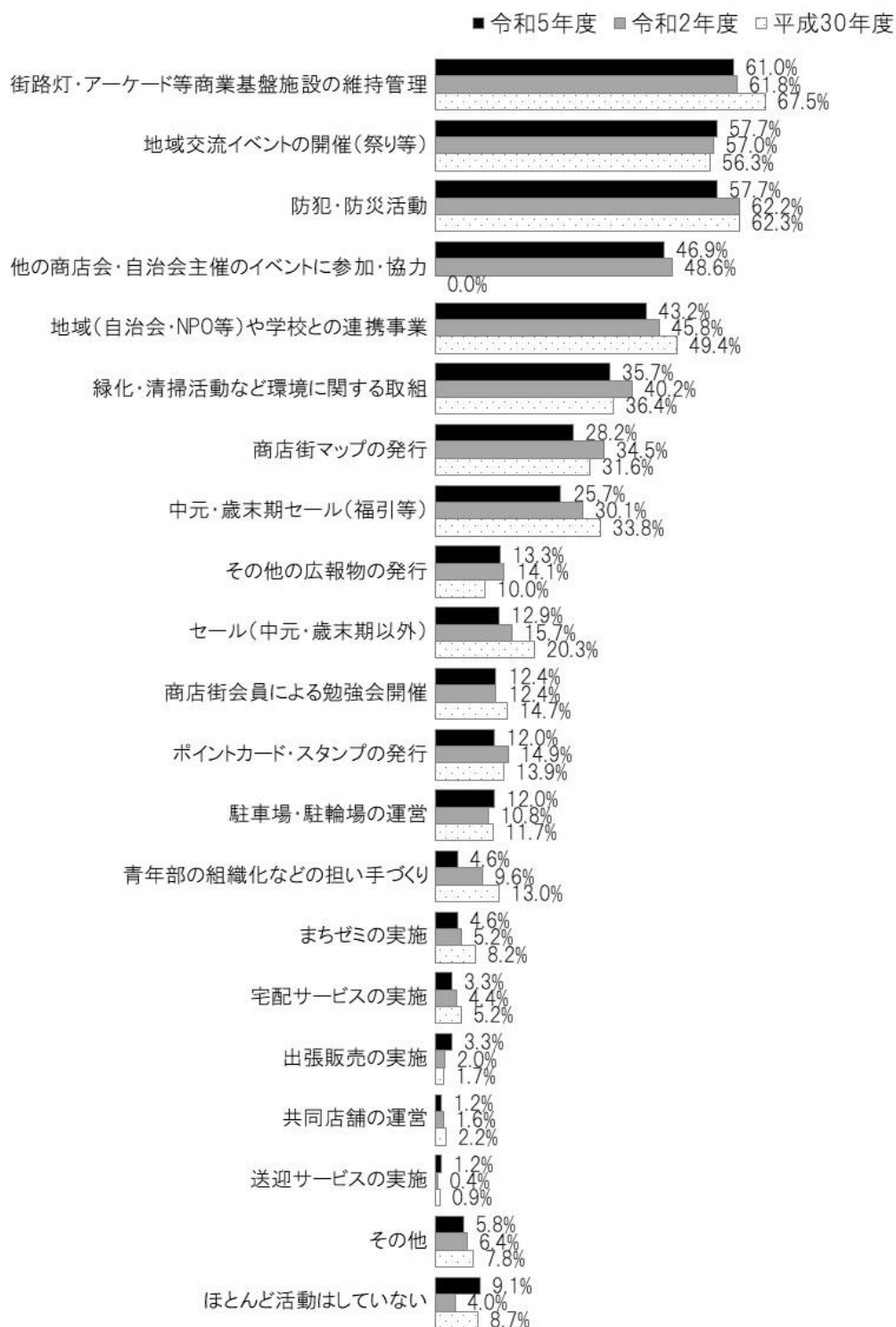
【その他の内容(抜粋)】

イベント運営(ゴルフ会など)
飲食系イベント・商品券
花壇美化運動
組合の維持管理
四季折々の装飾
事業系ごみ袋の共同購買
箱根駅伝キャンペーン
プレミアム付商品券発行
防犯カメラの運用
毎月1回のイベント
まつり、イルミネーション実施、清掃活動
未病改善健康フェスタ

図表 2- 52 商店街の活動内容 その他の内容

活動内容 経年比較

全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249) 平成30年度 (n=231)



図表 2- 53 活動内容 経年比較

商店街の活動内容について経年で見ると、「防犯・防災活動」は令和2年度から4.5ポイントの低下が見られるものの、「街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理」、「地域交流イベントの開催(祭り等)」

に大きな変化は見られない。一方で、平成 30 年度以降の変化を見ると、「青年部の組織化などの担い手づくり」はこの 5 年間で 8.4 ポイント低下しているほか、「中元・歳末期セール(福引等)」は 8.1 ポイントの低下、「セール(中元・歳末期以外)」は 7.4 ポイントの低下となっている。

活動内容 会員数別

会員数別	全体 (n=241)	20名以下 (n=68)	21~50名以下 (n=85)	51~100名以下 (n=57)	101名以上 (n=17)
街路灯・アーケード等 商業基盤施設の維持管理	61.0%	47.4%	58.1%	77.8%	62.5%
地域交流イベントの開催(祭り等)	57.7%	45.6%	55.9%	79.6%	62.5%
防犯・防災活動	57.7%	43.9%	49.5%	74.1%	79.2%
他の商店会・自治会主催の イベントに参加・協力	46.9%	38.6%	47.3%	53.7%	54.2%
地域(自治会・NPO等)や学校 との連携事業	43.2%	31.6%	33.3%	63.0%	79.2%
緑化・清掃活動など 環境に関する取組	35.7%	19.3%	23.7%	57.4%	79.2%
商店街マップの発行	28.2%	14.0%	25.8%	40.7%	50.0%
中元・歳末期セール(福引等)	25.7%	26.3%	20.4%	29.6%	41.7%
その他の広報物の発行	13.3%	5.3%	9.7%	22.2%	33.3%
セール(中元・歳末期以外)	12.9%	8.8%	10.8%	11.1%	33.3%
商店街会員による勉強会開催	12.4%	7.0%	4.3%	24.1%	37.5%
ポイントカード・スタンプの発行	12.0%	8.8%	8.6%	13.0%	29.2%
駐車場・駐輪場の運営	12.0%	1.8%	10.8%	11.1%	37.5%
青年部の組織化などの 担い手づくり	4.6%	0.0%	2.2%	7.4%	20.8%
まちゼミの実施	4.6%	3.5%	2.2%	5.6%	16.7%
宅配サービスの実施	3.3%	5.3%	2.2%	0.0%	8.3%
出張販売の実施	3.3%	1.8%	4.3%	5.6%	0.0%
共同店舗の運営	1.2%	0.0%	1.1%	1.9%	4.2%
送迎サービスの実施	1.2%	1.8%	1.1%	1.9%	0.0%
その他	5.8%	0.0%	7.5%	7.4%	12.5%
ほとんど活動はしていない	9.1%	21.1%	9.7%	1.9%	0.0%

1位の項目

図表 2- 54 活動内容 会員数別

商店街の活動内容について会員数別で見ると、会員数が多くなるにつれ様々な活動を行う傾向がある。20 名以下を見ると、「街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理」、「地域交流イベントの開催(祭り等)」、「防犯・防災活動」、いずれも半数に満たないのに対して、21~50 名以下では半数前後、51~100 名以下では 7 割超となっている。

問 9-2 貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動を上記問 9 の中から選び、()内に番号をご記入ください。(3つまで選択) 全体 (n=241)

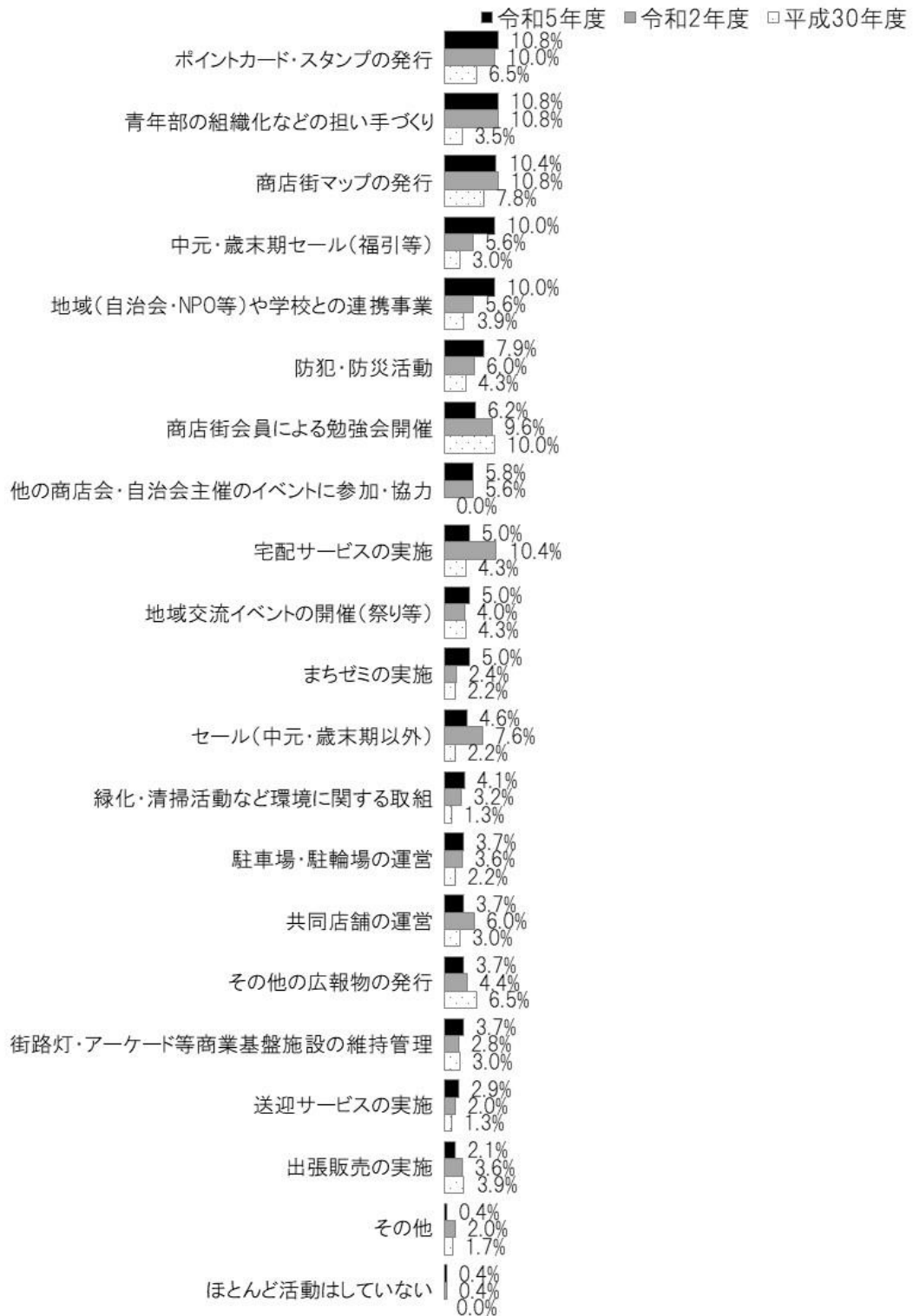


図表 2- 55 今後取り組みたいと考えている活動

今後取り組みたいと考えている活動について全体で見ると、突出して高いものはなく、トップの「ポイントカード・スタンプの発行」、「青年部の組織化などの担い手づくり」でも 10.8%にとどまる。

今後取り組みたいと考えている活動 経年比較

全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249) 平成30年度 (n=231)



図表 2- 56 活動内容 経年比較

今後取り組みたいと考えている活動について令和2年度からの変化を見ると、「宅配サービスの実施」

は 5.4 ポイントの低下が見られるものの、「中元・歳末期セール(福引等)」、「地域(自治会・NPO 等)や学校との連携事業」は 4.4 ポイントの上昇が見られる。

今後取り組みたいと考えている活動 立地する区別 (1)


立地する区別	全体 (n=241)	青葉区 (n=16)	旭区 (n=7)	泉区 (n=7)	磯子区 (n=13)	神奈川区 (n=20)	金沢区 (n=15)
ポイントカード・スタンプの発行	10.8%	6.3%	0.0%	0.0%	15.4%	5.0%	13.3%
青年部の組織化などの 担い手づくり	10.8%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	20.0%
商店街マップの発行	10.4%	18.8%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	26.7%
中元・歳末期セール(福引等)	10.0%	18.8%	0.0%	14.3%	23.1%	5.0%	6.7%
地域(自治会・NPO等)や学校 との連携事業	10.0%	0.0%	0.0%	28.6%	15.4%	5.0%	6.7%
防犯・防災活動	7.9%	6.3%	28.6%	14.3%	7.7%	10.0%	0.0%
商店街会員による勉強会開催	6.2%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%
他の商店会・自治会主催の イベントに参加・協力	5.8%	6.3%	14.3%	28.6%	0.0%	5.0%	6.7%
宅配サービスの実施	5.0%	0.0%	14.3%	0.0%	15.4%	5.0%	0.0%
地域交流イベントの開催(祭り等)	5.0%	12.5%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
まちゼミの実施	5.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
セール(中元・歳末期以外)	4.6%	6.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	6.7%
緑化・清掃活動など 環境に関する取組	4.1%	6.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	13.3%
駐車場・駐輪場の運営	3.7%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	6.7%
共同店舗の運営	3.7%	0.0%	0.0%	14.3%	15.4%	0.0%	0.0%
その他の広報物の発行	3.7%	6.3%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	6.7%
街路灯・アーケード等 商業基盤施設の維持管理	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
送迎サービスの実施	2.9%	0.0%	14.3%	0.0%	7.7%	5.0%	6.7%
出張販売の実施	2.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
ほとんど活動はしていない	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

 1位の項目

図表 2-57 今後取り組みたいと考えている活動 立地する区別 (1)

今後取り組みたいと考えている活動 立地する区別 (2)

立地する区別	全体 (n=241)	港南区 (n=4)	港北区 (n=22)	栄区 (n=3)	瀬谷区 (n=7)	都筑区 (n=8)	鶴見区 (n=24)
ポイントカード・スタンプの発行	10.8%	0.0%	9.1%	0.0%	14.3%	25.0%	8.3%
青年部の組織化などの 担い手づくり	10.8%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	12.5%	16.7%
商店街マップの発行	10.4%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	12.5%	8.3%
中元・歳末期セール(福引等)	10.0%	25.0%	13.6%	0.0%	28.6%	12.5%	4.2%
地域(自治会・NPO等)や学校 との連携事業	10.0%	25.0%	4.5%	0.0%	14.3%	12.5%	25.0%
防犯・防災活動	7.9%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
商店街会員による勉強会開催	6.2%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	12.5%	12.5%
他の商店会・自治会主催の イベントに参加・協力	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	8.3%
宅配サービスの実施	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	4.2%
地域交流イベントの開催(祭り等)	5.0%	25.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
まちゼミの実施	5.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
セール(中元・歳末期以外)	4.6%	25.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
緑化・清掃活動など 環境に関する取組	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場・駐輪場の運営	3.7%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	12.5%	4.2%
共同店舗の運営	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の広報物の発行	3.7%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
街路灯・アーケード等 商業基盤施設の維持管理	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
送迎サービスの実施	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
出張販売の実施	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ほとんど活動はしていない	0.4%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

 1位の項目

図表 2-58 今後取り組みたいと考えている活動 立地する区別 (2)

今後取り組みたいと考えている活動 立地する区別 (3)

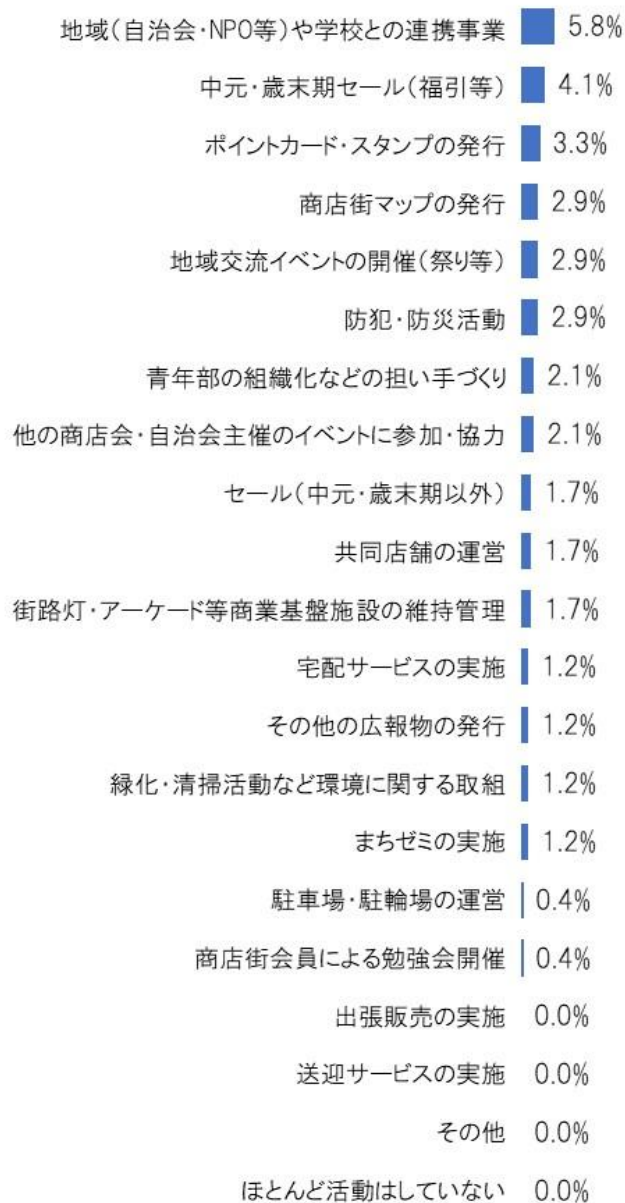
立地する区別	全体 (n=241)	戸塚区 (n=11)	中区 (n=41)	西区 (n=18)	保土ヶ谷区 (n=16)	緑区 (n=5)	南区 (n=4)
ポイントカード・スタンプの発行	10.8%	9.1%	24.4%	5.6%	0.0%	20.0%	0.0%
青年部の組織化などの 担い手づくり	10.8%	0.0%	7.3%	5.6%	25.0%	0.0%	0.0%
商店街マップの発行	10.4%	45.5%	17.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
中元・歳末期セール(福引等)	10.0%	0.0%	7.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
地域(自治会・NPO等)や学校 との連携事業	10.0%	18.2%	4.9%	5.6%	18.8%	0.0%	0.0%
防犯・防災活動	7.9%	9.1%	12.2%	5.6%	0.0%	40.0%	0.0%
商店街会員による勉強会開催	6.2%	0.0%	0.0%	5.6%	18.8%	20.0%	0.0%
他の商店会・自治会主催の イベントに参加・協力	5.8%	9.1%	0.0%	5.6%	12.5%	0.0%	25.0%
宅配サービスの実施	5.0%	0.0%	0.0%	11.1%	18.8%	0.0%	25.0%
地域交流イベントの開催(祭り等)	5.0%	0.0%	7.3%	5.6%	0.0%	20.0%	0.0%
まちゼミの実施	5.0%	18.2%	2.4%	0.0%	12.5%	40.0%	0.0%
セール(中元・歳末期以外)	4.6%	0.0%	0.0%	16.7%	12.5%	20.0%	0.0%
緑化・清掃活動など 環境に関する取組	4.1%	9.1%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場・駐輪場の運営	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
共同店舗の運営	3.7%	0.0%	4.9%	0.0%	12.5%	20.0%	25.0%
その他の広報物の発行	3.7%	0.0%	2.4%	5.6%	0.0%	40.0%	0.0%
街路灯・アーケード等 商業基盤施設の維持管理	3.7%	0.0%	12.2%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%
送迎サービスの実施	2.9%	0.0%	2.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
出張販売の実施	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ほとんど活動はしていない	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

 1位の項目

図表 2- 59 今後取り組みたいと考えている活動 立地する区別 (3)

今後取り組みたいと考えている活動について立地する区別で見ると、中区では「ポイントカード・スタンプの発行」が24.4%と高くなっている。「青年部の組織化などの担い手づくり」については、青葉区、保土ヶ谷区で25.0%を占める。「商店街マップの発行」については、戸塚区で45.5%、金沢区で26.7%を占める。鶴見区では「地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業」が25.0%、磯子区、西区では「中元・歳末期セール(福引等)」が2割超と高くなっている。

問 9-2 また、その活動の検討状況について○をつけてください。(検討) 全体 (n=241)



図表 2- 60 検討中の活動

検討中の活動について全体で見ると、突出して高いものはなくトップの「地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業」でも 5.8%にとどまる。

問 9-2 また、その活動の検討状況について○をつけてください。(未検討) 全体 (n=241)

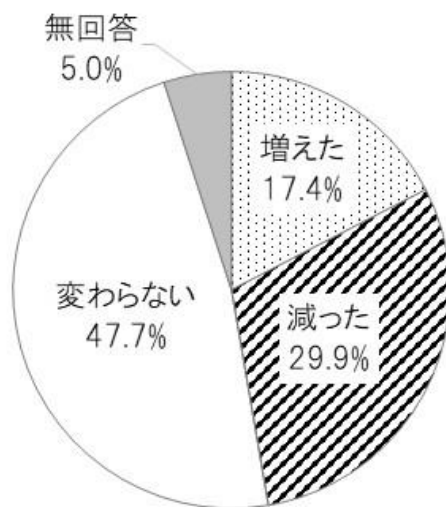


図表 2- 61 未検討の活動

未検討の活動についても突出して高いものはなくトップの「青年部の組織化などの担い手づくり」でも 8.7%にとどまる。

(4) 会員の参加状況と悩み

問 10 最近 3 年で、商店街活動に積極的に参加する会員は増えましたか。(○は1つだけ)
全体 (n=241)



図表 2- 62 積極的に参加する会員の状況

積極的に参加する会員の状況について全体で見ると、「変わらない」が 47.7%と半数近くを占めるものの、「減った」(29.9%)が「増えた」(17.4%)を上回っている。

積極的に参加する会員の増減～要因や具体的状況(自由回答)

増えた	声掛け、コミュニケーション(合計6件)
	積極的な声掛けとPR
	コミュニケーションに力を入れるようにした
	役員だけでなく、一般の役員さんに向けた情報発信と協力依頼
	イベントの実施(合計6件)
	街ゼミ、イベント等、商店街以外の参加者の増加
	年に3～4回のイベントを行っているので、少しずつ手伝う人が増えた
	特にイベントや大型店(イオン)などが再度開店して、街が賑わって来たことも大きいと思う
	今後のイベント、清掃等に協力する会員が増えた
	新規出店、店舗数の増加(合計6件)
	新規テナント参加により活性化した
	新規加入店舗の方々が比較的協力的
	新しい店舗がふえたため
	若い経営者の参加(合計5件)
	若い経営者が会員として参加してくれた
	若い飲食店オーナーが増えた。飲食をメインとしたイベントを考えている
	SNS担当を若い方をお願いしたところ、同世代同士で繋がりが出来て、一緒に活動してもらえるようになった
	体制変更、意識変化(合計4件)
	役員編成をして意見交換が円滑になった
	役員改選、規約改正、定期理事会・パトロール・商店会便りの発行・街頭放送復活
	商品券(合計2件)
	今回商品券を発行した成果、認知度が上がったように思う
	プレミアム商品券発行事業への協力店舗
	その他(合計6件)
	隣接商店会の協力が少しずつ得られるようになってきた
	コロナでイベントやってない消毒液を配ったりして、逆に結びつきが出来た。その後イベントの支援などで、以前より協力的になった。
	賛助会員の取込み、地域サポーター(ボランティア)の協力、福祉作業所との連携など
	WEBに強い方が広報活動に力を入れてくれる
	活動のある場所に人は寄ってくる
	新型コロナの際に横浜市からの補助金を活用し、会員にマスク、消毒液、ハンドディスペンサーの無料配布、会費3か月分の返金、補助金を活用したエコバック配布キャンペーンなどの活動により、退会の空席をうめることができ、意識が高まりました。
減った	高齢化(合計20件)
	高齢によりやめてしまった。亡くなった方もいる
	会員の高齢化
	店主高齢者が増えた
	経営者の高齢化
	後継者不足/人材不足(合計7件)
	後継者不足
	役員の成り手がいない
	各店の人員不足
	閉店(合計7件)
	会員数が閉店により減った為
	店舗数の減少により、会員が商店街活動に参加しない
	会員数減15店舗→10店舗
	コロナの影響(合計3件)
	コロナの影響で、飲食の機会が減った
	チェーン店の増加(合計3件)
	チェーン店などが多くなかなか手伝い等に積極的に参加しない
	意識の低下(合計3件)
	若年層の働き手が営業時間外の商店街活動を無償で続ける事に拒否感が強い
	元気と意欲が感じられない
	その他(合計6件)
	ボランティアに対する限界
	ワンオペ店舗が多い為
	介護施設に変わった
	主に飲食店があり、他町からの出勤で意見がまとまらない
	活性化条例が機能していない
	40代の後継者に気持する

図表 2- 63 積極的に参加する会員の増減～要因や具体的状況(1)

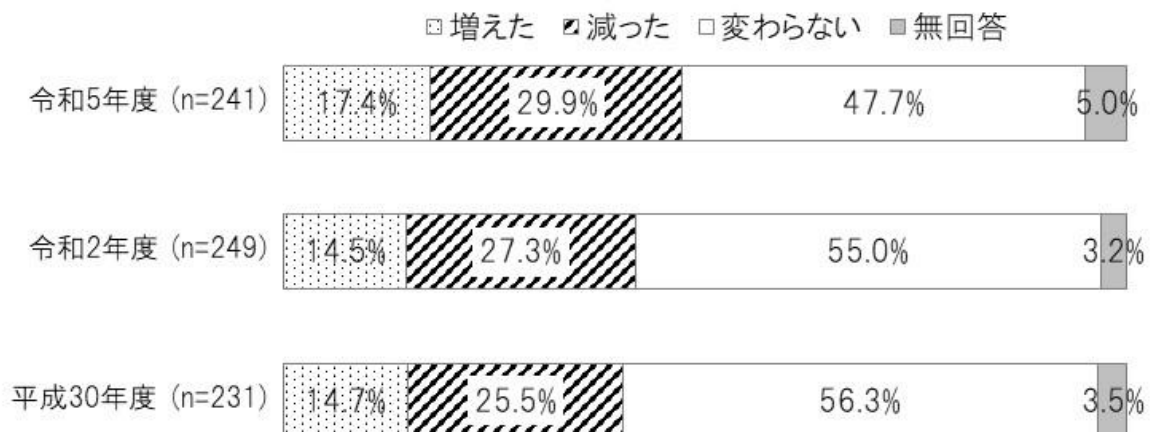
変わらない	会員数／役員数／参加者が変わらない(合計14件)
	店舗や会員に変化がないため
	商店街活動を担っている主力は昔から当地で商売している店舗である状況に変わりがないため
	イベント準備や撤収作業に参加している店舗(会員)がいつも同じであることが多いため
	以前より活動に参加する会員の方はいつも決まった方がほとんどで新規に参加する方がほとんどいない状況
	出席する人が変わらないので
	役員のみが活動している(役員は数年変わっていない)
	高齢を理由に参加を辞退する会員がいる一方で、新たに参加してくれるようになった会員もいる
	店舗増減が同数、興味は示すが声をかけても反応がない
	世代交代ができていない
	コロナの影響(合計6件)
	コロナにより行事が一時的にストップしていたが、昨年よりようやく再開した、という時点なので、従来の人にはまず声を掛けてという段階
	コロナによりイベントを開催できなかった為
	コロナのため活動を自粛していました
	コロナ禍で止まっている状態
	人材不足(合計4件)
	各店舗のスタッフ不足の為、イベント参加まで至らない
	人件費の高騰のため、最小限の人数で、店舗運営しているため商店街の活動、イベント参加したくてもむずかしい状況
	高齢化(合計3件)
	経営者の高齢化、退会者の増加
	全ての店舗が後継者がいないこと。店主の高齢化。
	業種・業態(合計2件)
	業態において、商店街活動に効果を求めている状況である(医療系、介護系店舗)
	交代・入れ替わりがある(合計2件)
	世代交代ができていない
	その他(合計5件)
	加盟店は協力的
	参加して頂ける商店街はほぼ
	協力・非協力の人員がはっきりしている
	イベントがなくなったので
会員の巻き込みが足りていない	

図表 2- 64 積極的に参加する会員の増減～要因や具体的状況(2)

増加の要因としては、声掛けやイベントの他、若い経営者の参加が多く見られる。一方で、店主・経営者の高齢化が減少の主要な要因となっている。変わらない要因としては、会員数や参加者に変化が無いことが大きい。

積極的に参加する会員の状況 経年比較

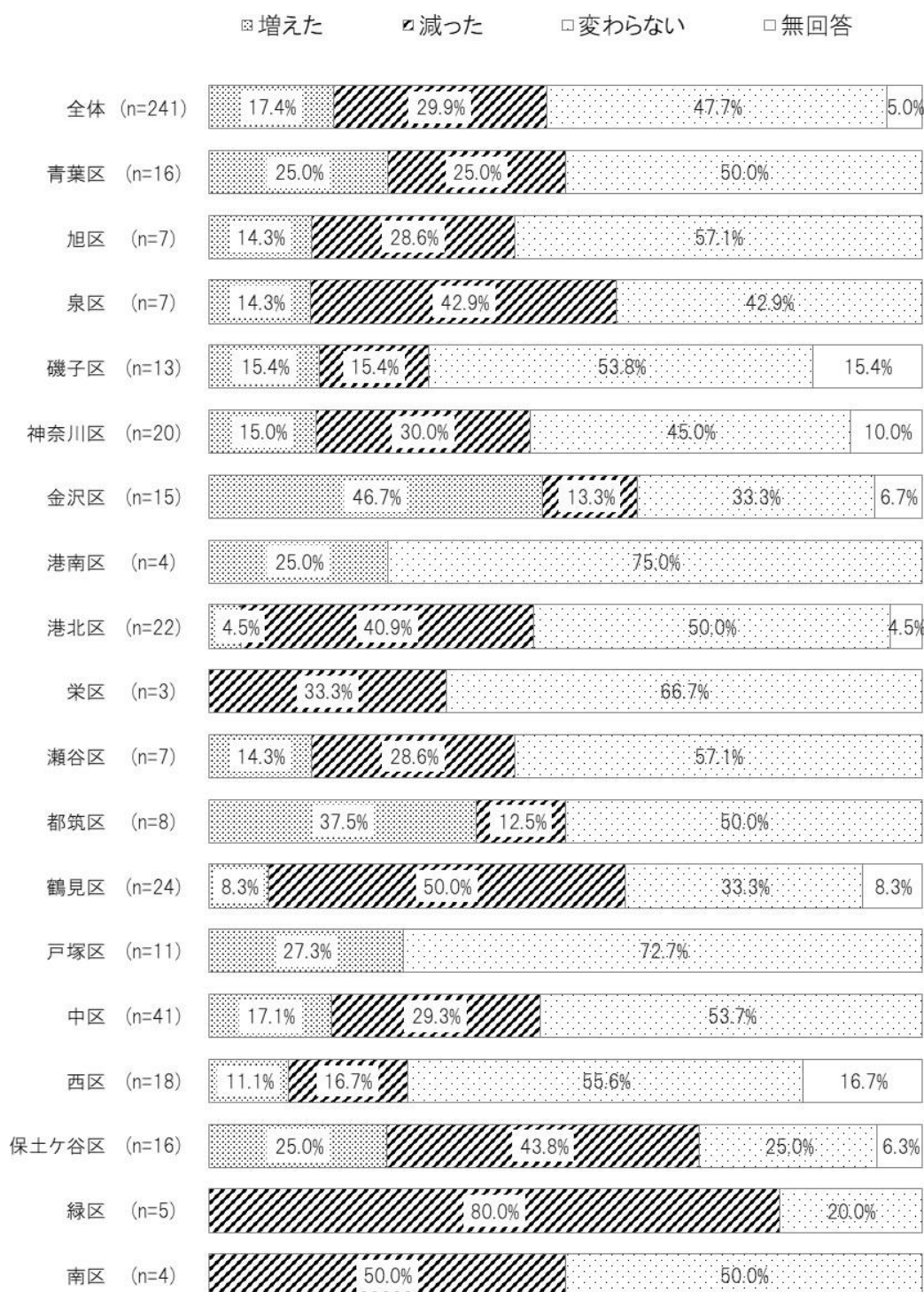
全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249) 平成30年度 (n=231)



図表 2- 65 積極的に参加する会員の状況 経年比較

積極的に参加する会員の状況について平成30年度からの変化を見ると、「増えた」はこの5年間で2.7ポイント上昇しているものの、「減った」の上昇は4.4ポイントと大きく、結果として積極的に参加する会員は減っている。

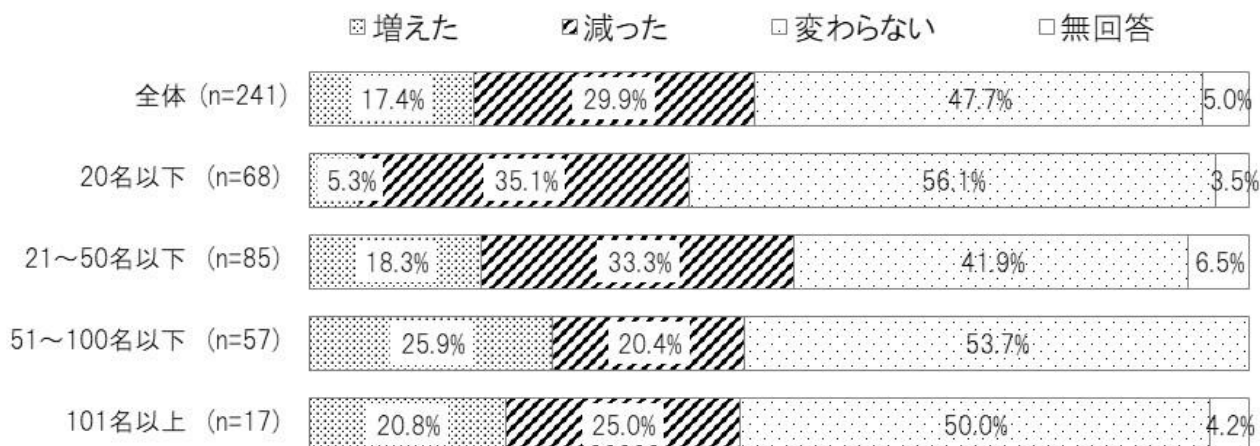
積極的に参加する会員の状況 立地する区別



図表 2- 66 積極的に参加する会員の状況 立地する区別

積極的に参加する会員の状況について立地する区別で見ると、金沢区では「増えた」が46.7%を占め「減った」の13.3%を上回っている。一方で、鶴見区、港北区では「増えた」が1割未満にとどまる中で、「減った」が4～5割を占め、積極的に参加する会員の減少が大きい。

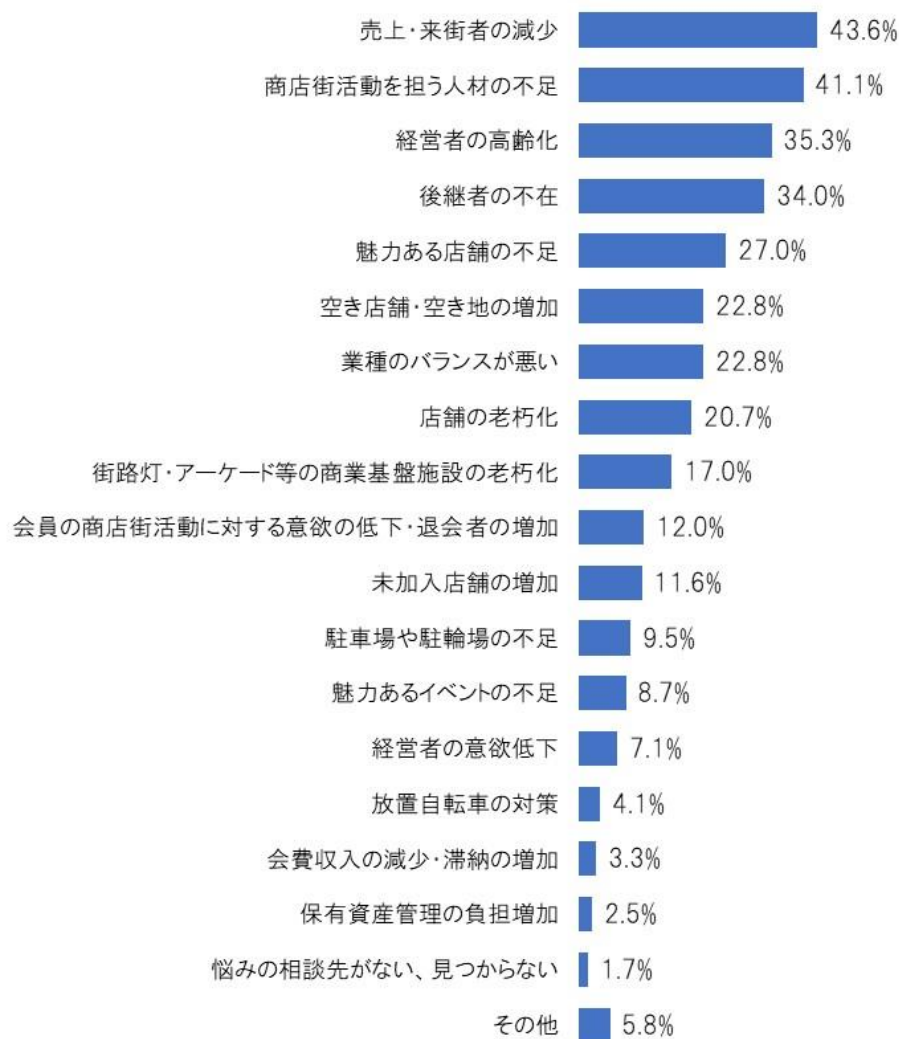
積極的に参加する会員の状況 会員数別



図表 2- 67 積極的に参加する会員の状況 会員数別

積極的に参加する会員の状況について会員数別で見ると、会員数が少なくなるにつれ、積極的に参加する会員の減少幅が拡大する傾向がある。51～100名以下では「増えた」(25.9%)が「減った」(20.4%)を上回るのに対して、21～50名以下では減少幅(減った-増えた)が15.0ポイント、20名以下では29.8ポイントとなっている。

問 11 現在、貴商店街ではどのような悩みがありますか。(〇は3つまで) 全体 (n=241)



図表 2- 68 現在の悩み

現在の悩みについて全体で見ると、「売上・来街者の減少」が43.6%でトップ。次いで、「商店街活動を担う人材の不足」(41.1%)、「経営者の高齢化」(35.3%)、「後継者の不在」(34.0%)となっている。

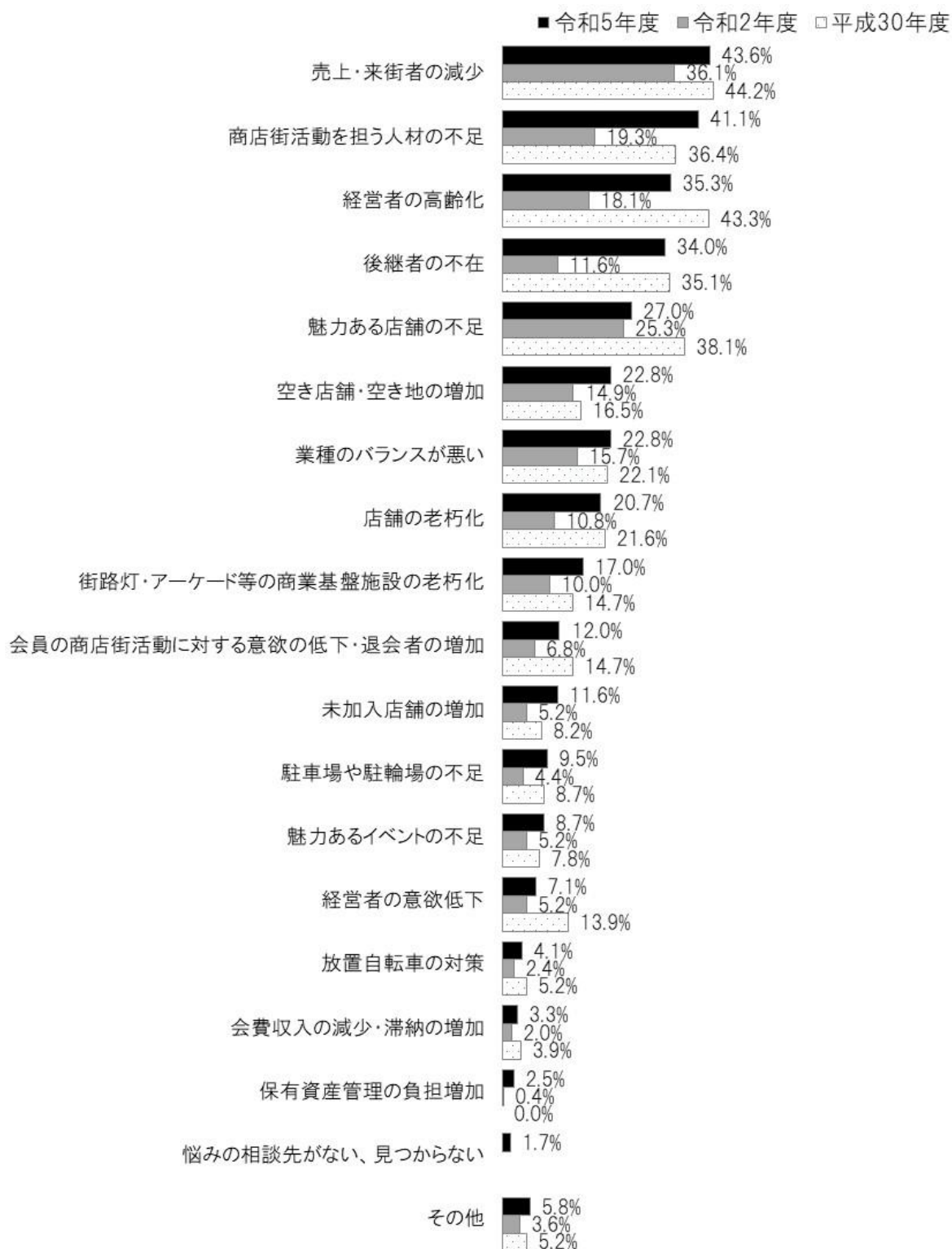
【その他の内容(抜粋)】

イベントの慢性的な赤字	組織の縮小・組合と本通り会の別会計となる。
固定費の増加	飲食店の積極参加
個人商店の減少	やる気がない、誰も手伝わない
物販店の消失	自転車の走行
会員の老朽化	美化運動
街のインフラの再整備(歩道、車道、植栽)	特にありません
商店会の分裂	

図表 2- 69 現在の悩み その他の内容

現在の悩み 経年比較

全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249) 平成30年度 (n=231)




図表 2-70 現在の悩み 経年比較

現在の悩みについて平成30年度からの変化を見ると、「魅力ある店舗の不足」(11.1ポイント低下)、

「経営者の高齢化」(8.0ポイント低下)、「経営者の意欲低下」(6.8ポイント低下)には低下が見られ、この5年間で悩みが弱まっている。一方で、「空き店舗・空き地の増加」(6.3ポイント上昇)、「商店街活動を担う人材の不足」(4.7ポイント上昇)には上昇が見られ、悩みが強まっている。

現在の悩み 立地する区別 (1)


立地する区別	全体 (n=241)	青葉区 (n=16)	旭区 (n=7)	泉区 (n=7)	磯子区 (n=13)	神奈川区 (n=20)	金沢区 (n=15)
売上・来街者の減少	43.6%	12.5%	71.4%	57.1%	69.2%	50.0%	60.0%
商店街活動を担う人材の不足	41.1%	56.3%	0.0%	42.9%	46.2%	35.0%	46.7%
経営者の高齢化	35.3%	25.0%	71.4%	71.4%	53.8%	30.0%	26.7%
後継者の不在	34.0%	25.0%	42.9%	57.1%	53.8%	20.0%	40.0%
魅力ある店舗の不足	27.0%	25.0%	57.1%	28.6%	38.5%	40.0%	26.7%
空き店舗・空き地の増加	22.8%	0.0%	28.6%	14.3%	46.2%	30.0%	13.3%
業種のバランスが悪い	22.8%	25.0%	0.0%	42.9%	23.1%	20.0%	46.7%
店舗の老朽化	20.7%	6.3%	28.6%	28.6%	46.2%	15.0%	20.0%
街路灯・アーケード等の 商業基盤施設の老朽化	17.0%	12.5%	0.0%	14.3%	30.8%	15.0%	20.0%
会員の商店街活動に対する 意欲の低下・退会者の増加	12.0%	6.3%	0.0%	14.3%	23.1%	10.0%	33.3%
未加入店舗の増加	11.6%	12.5%	0.0%	14.3%	23.1%	10.0%	6.7%
駐車場や駐輪場の不足	9.5%	18.8%	14.3%	14.3%	15.4%	5.0%	26.7%
魅力あるイベントの不足	8.7%	18.8%	0.0%	14.3%	30.8%	5.0%	6.7%
経営者の意欲低下	7.1%	12.5%	0.0%	28.6%	15.4%	5.0%	6.7%
放置自転車の対策	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	6.7%
会費収入の減少・滞納の増加	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	5.0%	6.7%
保有資産管理の負担増加	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	5.0%	0.0%
悩みの相談先がない、 見つからない	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	10.0%	0.0%
その他	5.8%	6.3%	0.0%	0.0%	7.7%	5.0%	13.3%

 1位の項目

図表 2- 71 現在の悩み 立地する区別 (1)

現在の悩み 立地する区別 (2)

立地する区別	全体 (n=241)	港南区 (n=4)	港北区 (n=22)	栄区 (n=3)	瀬谷区 (n=7)	都筑区 (n=8)	鶴見区 (n=24)
売上・来街者の減少	43.6%	25.0%	31.8%	33.3%	42.9%	25.0%	45.8%
商店街活動を担う人材の不足	41.1%	25.0%	50.0%	33.3%	42.9%	62.5%	41.7%
経営者の高齢化	35.3%	0.0%	36.4%	33.3%	42.9%	0.0%	58.3%
後継者の不在	34.0%	0.0%	45.5%	33.3%	42.9%	12.5%	33.3%
魅力ある店舗の不足	27.0%	50.0%	27.3%	0.0%	0.0%	12.5%	29.2%
空き店舗・空き地の増加	22.8%	75.0%	13.6%	33.3%	28.6%	12.5%	16.7%
業種のバランスが悪い	22.8%	50.0%	27.3%	0.0%	28.6%	50.0%	20.8%
店舗の老朽化	20.7%	0.0%	18.2%	100.0%	14.3%	0.0%	12.5%
街路灯・アーケード等の 商業基盤施設の老朽化	17.0%	25.0%	27.3%	0.0%	14.3%	12.5%	4.2%
会員の商店街活動に対する 意欲の低下・退会者の増加	12.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	20.8%
未加入店舗の増加	11.6%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	12.5%
駐車場や駐輪場の不足	9.5%	25.0%	4.5%	33.3%	0.0%	37.5%	4.2%
魅力あるイベントの不足	8.7%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経営者の意欲低下	7.1%	0.0%	9.1%	0.0%	28.6%	0.0%	4.2%
放置自転車の対策	4.1%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
会費収入の減少・滞納の増加	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保有資産管理の負担増加	2.5%	25.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
悩みの相談先がない、 見つからない	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	5.8%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	37.5%	8.3%

 1位の項目

図表 2- 72 現在の悩み 立地する区別 (2)

現在の悩み 立地する区別 (3)

立地する区別	全体 (n=241)	戸塚区 (n=11)	中区 (n=41)	西区 (n=18)	保土ヶ谷区 (n=16)	緑区 (n=5)	南区 (n=4)
売上・来街者の減少	43.6%	9.1%	48.8%	38.9%	56.3%	60.0%	25.0%
商店街活動を担う人材の不足	41.1%	45.5%	34.1%	38.9%	31.3%	60.0%	50.0%
経営者の高齢化	35.3%	9.1%	22.0%	38.9%	43.8%	40.0%	50.0%
後継者の不在	34.0%	27.3%	24.4%	38.9%	37.5%	60.0%	50.0%
魅力ある店舗の不足	27.0%	18.2%	14.6%	16.7%	37.5%	80.0%	25.0%
空き店舗・空き地の増加	22.8%	18.2%	24.4%	16.7%	31.3%	40.0%	50.0%
業種のバランスが悪い	22.8%	9.1%	14.6%	11.1%	25.0%	40.0%	0.0%
店舗の老朽化	20.7%	9.1%	29.3%	22.2%	12.5%	60.0%	0.0%
街路灯・アーケード等の 商業基盤施設の老朽化	17.0%	0.0%	12.2%	33.3%	31.3%	40.0%	0.0%
会員の商店街活動に対する 意欲の低下・退会者の増加	12.0%	0.0%	12.2%	11.1%	0.0%	40.0%	50.0%
未加入店舗の増加	11.6%	18.2%	17.1%	5.6%	6.3%	60.0%	25.0%
駐車場や駐輪場の不足	9.5%	18.2%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
魅力あるイベントの不足	8.7%	9.1%	4.9%	16.7%	12.5%	40.0%	0.0%
経営者の意欲低下	7.1%	9.1%	2.4%	0.0%	6.3%	20.0%	0.0%
放置自転車の対策	4.1%	0.0%	9.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
会費収入の減少・滞納の増加	3.3%	9.1%	4.9%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
保有資産管理の負担増加	2.5%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
悩みの相談先がない、 見つからない	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	5.8%	0.0%	4.9%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%


 1位の項目

図表 2-73 現在の悩み 立地する区別 (3)

現在の悩みについて立地する区別で見ると、磯子区、金沢区、保土ヶ谷区、神奈川区では「売上・来街者の減少」が半数以上と高い。また、青葉区、港北区では「商店街活動を担う人材の不足」が、鶴見区では「経営者の高齢化」が半数以上と高い。

現在の悩み 立地環境別

立地環境別	全体 (n=241)	繁華街 (n=47)	住宅街 (n=113)	駅前・駅ビル (n=54)	ロードサイド (n=10)	オフィス街 (n=7)	その他 (n=6)
売上・来街者の減少	43.6%	42.6%	48.7%	35.2%	30.0%	14.3%	83.3%
商店街活動を担う人材の不足	41.1%	44.7%	42.5%	35.2%	50.0%	28.6%	50.0%
経営者の高齢化	35.3%	14.9%	49.6%	29.6%	30.0%	14.3%	16.7%
後継者の不在	34.0%	34.0%	39.8%	33.3%	20.0%	0.0%	0.0%
魅力ある店舗の不足	27.0%	21.3%	28.3%	31.5%	30.0%	0.0%	16.7%
空き店舗・空き地の増加	22.8%	17.0%	24.8%	16.7%	20.0%	42.9%	50.0%
業種のバランスが悪い	22.8%	17.0%	20.4%	37.0%	20.0%	14.3%	16.7%
店舗の老朽化	20.7%	14.9%	25.7%	16.7%	10.0%	42.9%	0.0%
街路灯・アーケード等の 商業基盤施設の老朽化	17.0%	19.1%	16.8%	16.7%	10.0%	0.0%	33.3%
会員の商店街活動に対する 意欲の低下・退会者の増加	12.0%	12.8%	15.0%	3.7%	30.0%	14.3%	0.0%
未加入店舗の増加	11.6%	14.9%	12.4%	7.4%	20.0%	14.3%	0.0%
駐車場や駐輪場の不足	9.5%	4.3%	9.7%	14.8%	0.0%	0.0%	33.3%
魅力あるイベントの不足	8.7%	10.6%	7.1%	13.0%	10.0%	0.0%	0.0%
経営者の意欲低下	7.1%	4.3%	9.7%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%
放置自転車の対策	4.1%	12.8%	1.8%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
会費収入の減少・滞納の増加	3.3%	4.3%	3.5%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
保有資産管理の負担増加	2.5%	2.1%	2.7%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
悩みの相談先がない、 見つからない	1.7%	2.1%	1.8%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
その他	5.8%	4.3%	3.5%	9.3%	0.0%	28.6%	0.0%


 1位の項目

図表 2- 74 現在の悩み 立地環境別

現在の悩みについて立地環境別で見ると、住宅街では「経営者の高齢化」が49.6%と高く、駅前・駅ビルでは「業種のバランスが悪い」が37.0%と高くなっている。

現在の悩み 会員数別

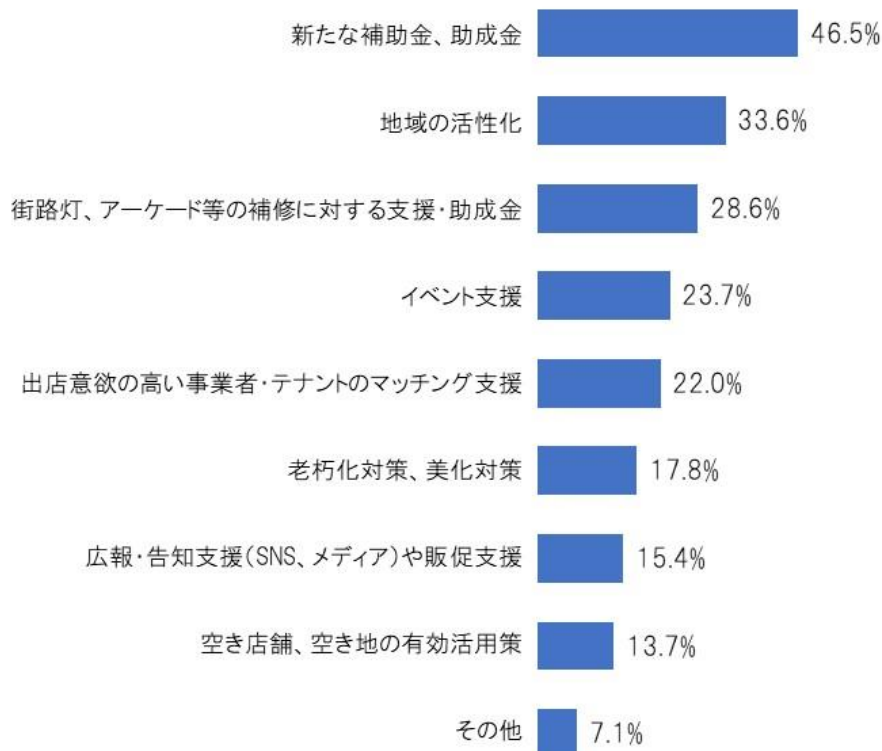
会員数別	全体 (n=241)	20名以下 (n=68)	21～50名以下 (n=85)	51～100名以下 (n=57)	101名以上 (n=17)
売上・来街者の減少	43.6%	59.6%	41.9%	38.9%	37.5%
商店街活動を担う人材の不足	41.1%	38.6%	47.3%	38.9%	37.5%
経営者の高齢化	35.3%	47.4%	33.3%	35.2%	20.8%
後継者の不在	34.0%	42.1%	39.8%	29.6%	16.7%
魅力ある店舗の不足	27.0%	26.3%	28.0%	27.8%	20.8%
空き店舗・空き地の増加	22.8%	22.8%	21.5%	25.9%	29.2%
業種のバランスが悪い	22.8%	14.0%	22.6%	25.9%	33.3%
店舗の老朽化	20.7%	21.1%	21.5%	25.9%	12.5%
街路灯・アーケード等の 商業基盤施設の老朽化	17.0%	10.5%	19.4%	14.8%	16.7%
会員の商店街活動に対する 意欲の低下・退会者の増加	12.0%	15.8%	12.9%	7.4%	12.5%
未加入店舗の増加	11.6%	10.5%	12.9%	9.3%	16.7%
駐車場や駐輪場の不足	9.5%	8.8%	8.6%	16.7%	4.2%
魅力あるイベントの不足	8.7%	1.8%	10.8%	11.1%	8.3%
経営者の意欲低下	7.1%	8.8%	7.5%	5.6%	4.2%
放置自転車の対策	4.1%	1.8%	4.3%	3.7%	12.5%
会費収入の減少・滞納の増加	3.3%	1.8%	2.2%	5.6%	8.3%
保有資産管理の負担増加	2.5%	1.8%	3.2%	1.9%	4.2%
悩みの相談先がない、 見つからない	1.7%	3.5%	1.1%	1.9%	0.0%
その他	5.8%	7.0%	3.2%	9.3%	8.3%

 1位の項目

図表 2-75 現在の悩み 会員数別

現在の悩みについて会員数別で見ると、20名以下は全体的に様々な悩みを持つ傾向がある。「売上・来街者の減少」が59.6%、「経営者の高齢化」が47.4%と半数前後を占めるほか、「後継者の不在」も42.1%を占める。

問 11-2 問 11 の悩み解決に向けて、充実してほしい支援策を教えてください。(〇は3つまで)
 全体 (n=241)



図表 2- 76 充実してほしい支援策

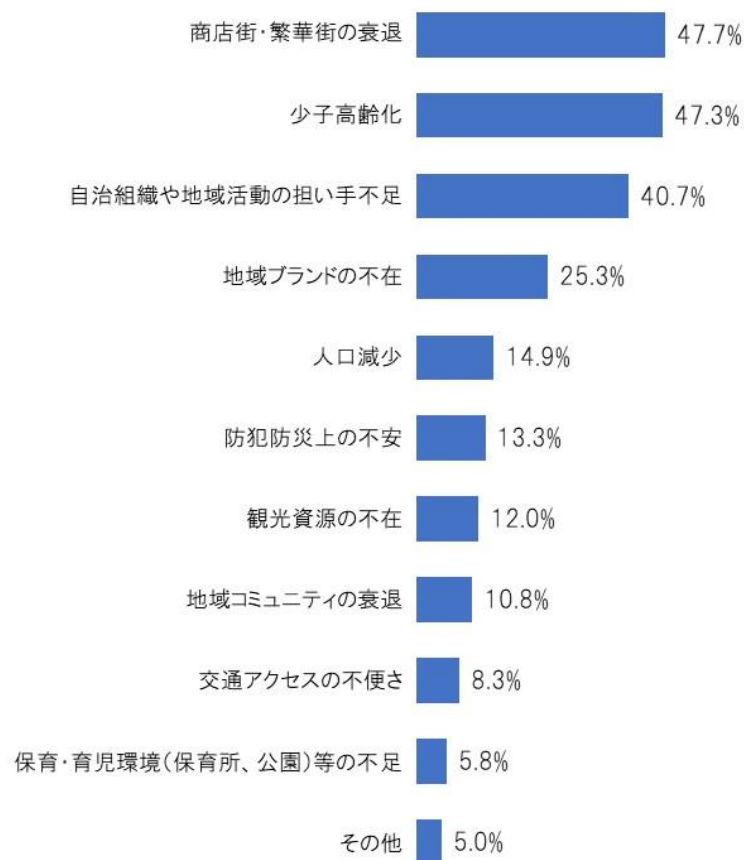
充実してほしい支援策について全体で見ると、「新たな補助金、助成金」が46.5%でトップ、「地域の活性化」(33.6%)、「街路灯、アーケード等の補修に対する支援・助成金」(28.6%)が3割前後で続く。

【その他の内容(抜粋)】

補助金・助成金の申請の簡略化、大型店への賛助会員加盟への強制化
小規模商店会の定額助成～連携時の補助率UP
駅ビル、テナントの受け皿
会員店舗を増やす支援
土地、ビルのオーナーに商店街の事を理解する様よく指示してほしい
人材マッチング
支援策必要なし
分かりません／考えつきません
特になし

図表 2- 77 充実してほしい支援策 その他の内容

問 12 貴商店街が所在する地域における課題は何ですか。(あてはまるもの全てに○)
全体 (n=241)



図表 2- 78 地域における課題

地域における課題について全体で見ると、「商店街・繁華街の衰退」(47.7%)、「少子高齢化」(47.3%)がほぼ同率で上位、「自治組織や地域活動の担い手不足」が 40.7%で続く。

【その他の内容(抜粋)】

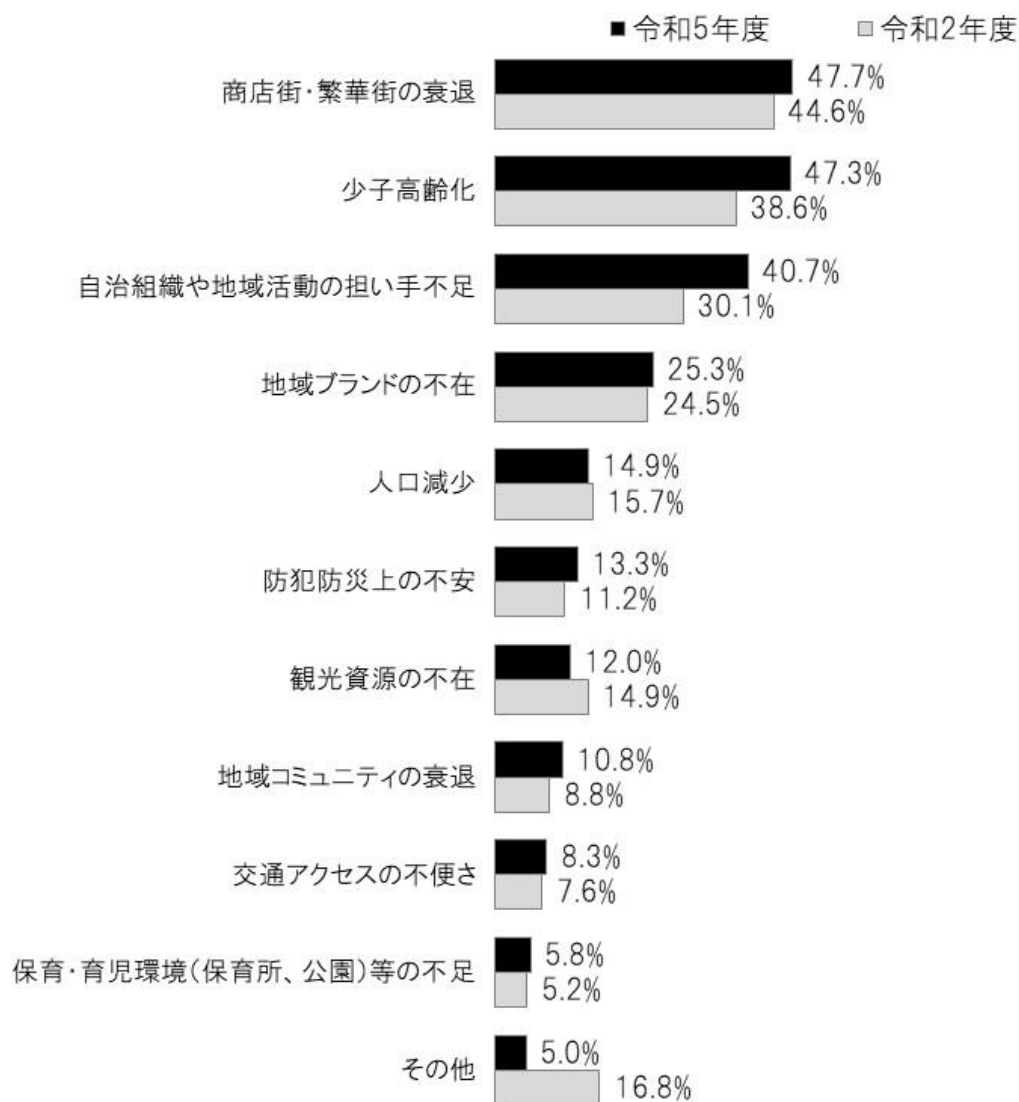
イベントの減少
バリアフリーになっている所が少なく、周辺移動が不便。
交通便は良いが、国道県道に挟まれ入りづらいビル
駅前高層ビルの建設
再整備による高層化で地域特性が失われる
大型ショッピングセンターの乱立
ルールを守らない店
物販店不足
飲食店化夜の街
土地、ビルのオーナーが金儲けに走ってしまい、飲食店、精製食品を締め出す。店舗を作らず、住宅だけにしたら、商店街はなり立たない。
商店街としての総合力を作り難い時代・業転の増加
駐車場が無い

図表 2- 79 地域における課題 その他の内容

地域における課題 経年比較

全対象者 令和 5 年度 (n=241) 令和 2 年度 (n=249)

※平成 30 年度は聴取していない



図表 2- 80 地域における課題 経年比較

地域における課題について令和 2 年度からの変化を見ると、「商店街・繁華街の衰退」は令和 2 年度から 3.1 ポイントの上昇であるのに対して、令和 2 年度に 3 割台であった「少子高齢化」は 8.7 ポイント、「自治組織や地域活動の担い手不足」は 10.6 ポイントとより大きく上昇し、令和 5 年度には 4 割台に達している。

地域における課題 立地する区別

立地する区別	全体 (n=241)	青葉区 (n=16)	旭区 (n=7)	泉区 (n=7)	磯子区 (n=13)	神奈川区 (n=20)	金沢区 (n=15)
商店街・繁華街の衰退	47.7%	18.8%	42.9%	28.6%	76.9%	70.0%	40.0%
少子高齢化	47.3%	50.0%	100.0%	57.1%	76.9%	50.0%	73.3%
自治組織や地域活動の担い手不足	40.7%	43.8%	28.6%	14.3%	30.8%	35.0%	26.7%
地域ブランドの不在	25.3%	37.5%	28.6%	42.9%	53.8%	10.0%	20.0%
人口減少	14.9%	18.8%	0.0%	42.9%	30.8%	10.0%	26.7%
防犯防災上の不安	13.3%	0.0%	14.3%	0.0%	30.8%	10.0%	20.0%
観光資源の不在	12.0%	18.8%	0.0%	14.3%	23.1%	10.0%	26.7%
地域コミュニティの衰退	10.8%	18.8%	14.3%	14.3%	15.4%	15.0%	6.7%
交通アクセスの不便さ	8.3%	6.3%	14.3%	0.0%	30.8%	5.0%	13.3%
保育・育児環境 (保育所、公園)等の不足	5.8%	6.3%	0.0%	14.3%	15.4%	5.0%	13.3%
その他	5.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%
立地する区別	全体 (n=241)	港南区 (n=4)	港北区 (n=22)	栄区 (n=3)	瀬谷区 (n=7)	都筑区 (n=8)	鶴見区 (n=24)
商店街・繁華街の衰退	47.7%	50.0%	45.5%	33.3%	57.1%	0.0%	66.7%
少子高齢化	47.3%	100.0%	40.9%	33.3%	71.4%	25.0%	50.0%
自治組織や地域活動の担い手不足	40.7%	75.0%	50.0%	33.3%	42.9%	37.5%	41.7%
地域ブランドの不在	25.3%	25.0%	31.8%	0.0%	28.6%	25.0%	20.8%
人口減少	14.9%	25.0%	0.0%	33.3%	28.6%	12.5%	12.5%
防犯防災上の不安	13.3%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
観光資源の不在	12.0%	0.0%	9.1%	0.0%	28.6%	12.5%	8.3%
地域コミュニティの衰退	10.8%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	12.5%	16.7%
交通アクセスの不便さ	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	8.3%
保育・育児環境 (保育所、公園)等の不足	5.8%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
その他	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
立地する区別	全体 (n=241)	戸塚区 (n=11)	中区 (n=41)	西区 (n=18)	保土ヶ谷区 (n=16)	緑区 (n=5)	南区 (n=4)
商店街・繁華街の衰退	47.7%	27.3%	41.5%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%
少子高齢化	47.3%	27.3%	39.0%	22.2%	18.8%	60.0%	50.0%
自治組織や地域活動の担い手不足	40.7%	54.5%	46.3%	33.3%	43.8%	40.0%	50.0%
地域ブランドの不在	25.3%	18.2%	22.0%	11.1%	37.5%	40.0%	0.0%
人口減少	14.9%	0.0%	12.2%	11.1%	12.5%	40.0%	25.0%
防犯防災上の不安	13.3%	0.0%	31.7%	22.2%	6.3%	0.0%	0.0%
観光資源の不在	12.0%	18.2%	12.2%	0.0%	6.3%	0.0%	25.0%
地域コミュニティの衰退	10.8%	18.2%	2.4%	5.6%	18.8%	40.0%	0.0%
交通アクセスの不便さ	8.3%	0.0%	12.2%	11.1%	6.3%	0.0%	0.0%
保育・育児環境 (保育所、公園)等の不足	5.8%	9.1%	4.9%	5.6%	0.0%	20.0%	0.0%
その他	5.0%	9.1%	9.8%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%

 1位の項目

図表 2- 81 地域における課題 立地する区別

地域における課題について立地する区別で見ると、磯子区、神奈川区、鶴見区では「商店街・繁華街の衰退」が約7～8割を占め、高くなっている。「少子高齢化」については、磯子区で76.9%、金沢区で73.3%、青葉区、鶴見区で半数を占める。「自治組織や地域活動の担い手不足」については、戸塚区で54.5%、港北区で半数、中区で46.3%を占め、高くなっている。

地域における課題 立地環境別

立地環境別	全体 (n=241)	繁華街 (n=47)	住宅街 (n=113)	駅前・駅ビル (n=54)	ロードサイド (n=10)	オフィス街 (n=7)	その他 (n=6)
商店街・繁華街の衰退	47.7%	38.3%	55.8%	38.9%	50.0%	42.9%	50.0%
少子高齢化	47.3%	34.0%	59.3%	38.9%	50.0%	14.3%	33.3%
自治組織や地域活動の担い手不足	40.7%	48.9%	41.6%	38.9%	10.0%	42.9%	33.3%
地域ブランドの不在	25.3%	23.4%	24.8%	33.3%	20.0%	14.3%	16.7%
人口減少	14.9%	10.6%	20.4%	9.3%	0.0%	14.3%	16.7%
防犯防災上の不安	13.3%	27.7%	7.1%	13.0%	0.0%	28.6%	33.3%
観光資源の不在	12.0%	10.6%	11.5%	16.7%	20.0%	0.0%	0.0%
地域コミュニティの衰退	10.8%	4.3%	13.3%	11.1%	10.0%	14.3%	16.7%
交通アクセスの不便さ	8.3%	0.0%	15.0%	1.9%	10.0%	14.3%	0.0%
保育・育児環境 (保育所、公園)等の不足	5.8%	6.4%	7.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	5.0%	6.4%	2.7%	9.3%	0.0%	0.0%	0.0%


 1位の項目

図表 2- 82 地域における課題 立地環境別

地域における課題について立地環境別で見ると、住宅街では「商店街・繁華街の衰退」と「少子高齢化」がいずれも約6割を占め、高くなっている。繁華街では「自治組織や地域活動の担い手不足」が48.9%を占め、高くなっている。

地域における課題 会員数別

会員数別	全体 (n=241)	20名以下 (n=68)	21～50名以下 (n=85)	51～100名以下 (n=57)	101名以上 (n=17)
商店街・繁華街の衰退	47.7%	57.9%	49.5%	44.4%	33.3%
少子高齢化	47.3%	54.4%	46.2%	46.3%	41.7%
自治組織や地域活動の 担い手不足	40.7%	40.4%	39.8%	46.3%	41.7%
地域ブランドの不在	25.3%	19.3%	32.3%	24.1%	20.8%
人口減少	14.9%	24.6%	10.8%	14.8%	12.5%
防犯防災上の不安	13.3%	7.0%	14.0%	20.4%	16.7%
観光資源の不在	12.0%	10.5%	10.8%	16.7%	12.5%
地域コミュニティの衰退	10.8%	10.5%	9.7%	16.7%	0.0%
交通アクセスの不便さ	8.3%	12.3%	8.6%	5.6%	4.2%
保育・育児環境 (保育所、公園)等の不足	5.8%	5.3%	6.5%	7.4%	4.2%
その他	5.0%	3.5%	5.4%	7.4%	4.2%

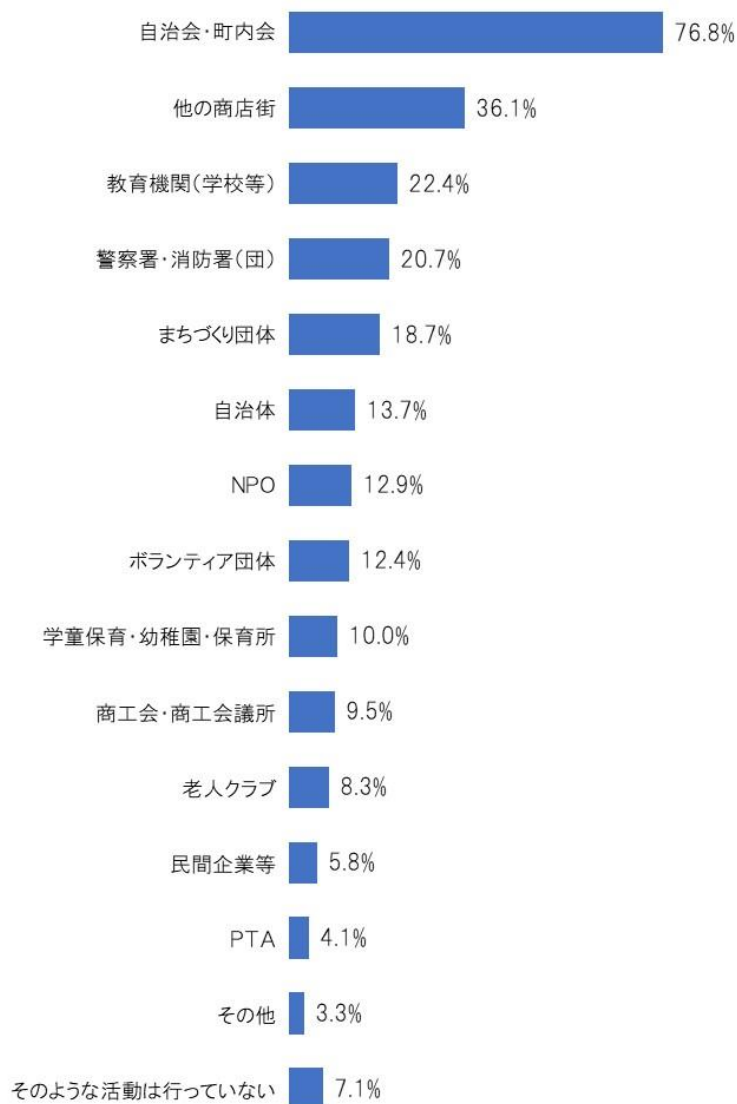
 1位の項目

図表 2- 83 地域における課題 会員数別

地域における課題について会員数別で見ると、会員数が少なくなるにつれ、「商店街・繁華街の衰退」、「少子高齢化」が高まる傾向がある。20名以下は「商店街・繁華街の衰退」、「少子高齢化」がいずれも5割台であるのに対して、21～50名以下、51～100名以下では4割台にとどまる。一方で、「自治組織や地域活動の担い手不足」については、51～100名以下で46.3%を占め、高くなっている。

問 13 連携して活動を行っている地域活動※団体等は以下のどれに該当しますか。(あてはまるもの全てに○) 全体 (n=241)

※地域活動とは…主として市内の一定の地域を基礎として当該地域の市民が主体的に行う自治会・町内会活動、社会福祉活動、青少年健全育成活動、防災・防犯活動その他の良好な地域社会の維持及び形成に資する活動をいう。



図表 2- 84 連携して活動を行っている地域活動団体等

連携して活動を行っている地域活動団体等について全体で見ると、「自治会・町内会」が 76.8%を占め、突出している。

【その他の内容(抜粋)】

- コミュニティ放送局／福祉施設／区の商店街連合会／動物園／ケアプラザ、地区センター／地域子育て世代住民

連携して活動を行っている地域活動団体 会員数別

会員数別	全体 (n=241)	20名以下 (n=68)	21～50名以下 (n=85)	51～100名以下 (n=57)	101名以上 (n=17)
自治会・町内会	76.8%	78.9%	73.1%	83.3%	87.5%
他の商店街	36.1%	24.6%	35.5%	42.6%	54.2%
教育機関(学校等)	22.4%	15.8%	15.1%	37.0%	37.5%
警察署・消防署(団)	20.7%	5.3%	15.1%	29.6%	58.3%
まちづくり団体	18.7%	10.5%	14.0%	37.0%	16.7%
自治体	13.7%	5.3%	16.1%	13.0%	33.3%
NPO	12.9%	8.8%	7.5%	27.8%	16.7%
ボランティア団体	12.4%	8.8%	10.8%	18.5%	20.8%
学童保育・幼稚園・保育所	10.0%	5.3%	5.4%	22.2%	16.7%
商工会・商工会議所	9.5%	0.0%	10.8%	7.4%	25.0%
老人クラブ	8.3%	5.3%	7.5%	14.8%	8.3%
民間企業等	5.8%	3.5%	6.5%	3.7%	16.7%
PTA	4.1%	1.8%	4.3%	5.6%	8.3%
その他	3.3%	0.0%	5.4%	1.9%	4.2%
そのような活動は行っていない	7.1%	14.0%	5.4%	5.6%	0.0%

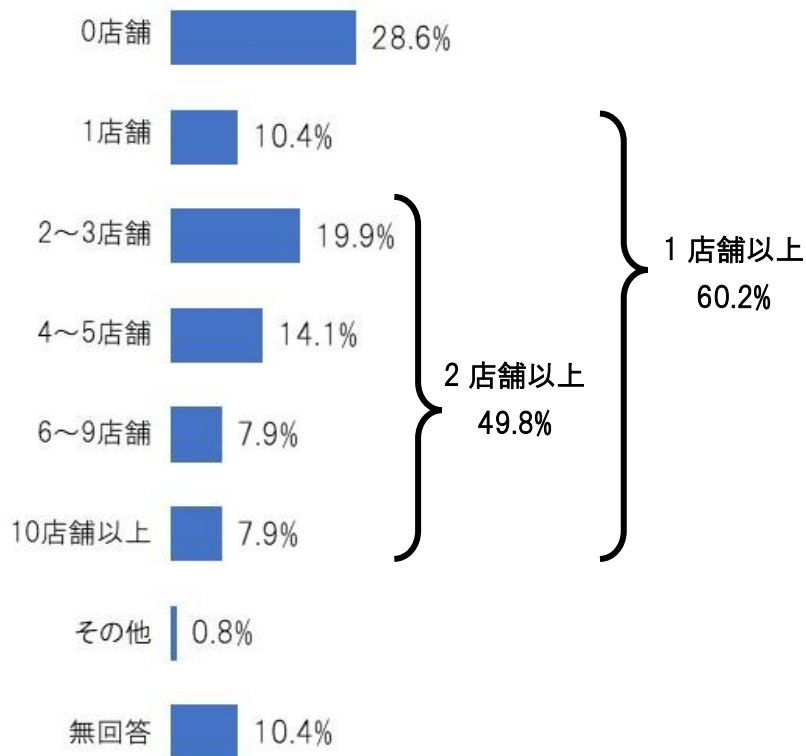
 1位の項目

図表 2- 85 連携して活動を行っている地域活動団体 会員数別

連携して活動を行っている地域活動団体について会員数別で見ると、会員数が増えるにつれて、連携先が多様になる傾向がある。51～100名以下では「他の商店街」、「教育機関(学校等)」、「まちづくり団体」が4割前後を占めるのに対して、20名以下では1～2割前後にとどまっている。

(5) 空き店舗の状況

問 14 貴商店街における空き店舗※は何店舗ですか。(ない場合は0(ゼロ)を記入)
全体 (n=241)

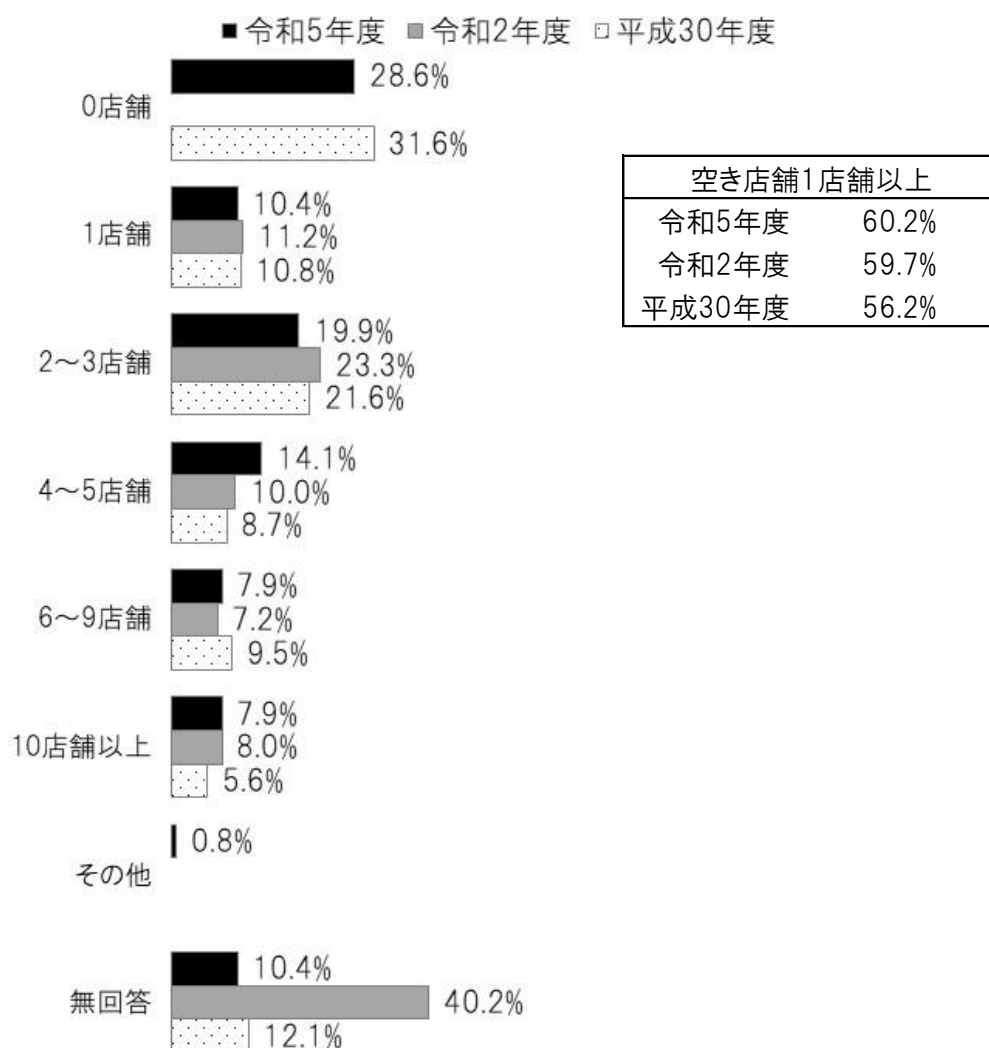


図表 2- 86 空き店舗数

空き店舗数について全体で見ると、「0 店舗」が 28.6%を占めるものの、「1 店舗以上(「1 店舗」～「10 店舗以上」の合計値)」で見ると 60.2%、「2 店舗以上(「2～3 店舗」～「10 店舗以上」の合計値)」でもほぼ半数の 49.8%となり、空き店舗を抱える商店街は少なくない。

空き店舗数 経年比較

全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249) 平成30年度 (n=231)



図表 2- 87 空き店舗数 経年

空き店舗数について経年で見ると、令和2年度と令和5年度に大きな違いは見られないものの、平成30年度と比較すると、空き店舗を持つ商店街は増加している。「1店舗以上」で見ると平成30年度以降の5年間で4.0ポイント上昇し、令和5年度は6割に達している。

	①空き店舗総数	②会員数	③会員数+空き店舗総数	空き店舗率(①/③)
令和5年度	672	12,861	13,533	5.0%
令和2年度	704	12,285	12,989	5.4%
平成30年度	571	9,850	10,421	5.5%

空き店舗数 立地する区別

立地する区別	全体 (n=241)	青葉区 (n=16)	旭区 (n=7)	泉区 (n=7)	磯子区 (n=13)	神奈川区 (n=20)	金沢区 (n=15)
0店舗	28.6%	37.5%	42.9%	14.3%	7.7%	30.0%	13.3%
1店舗	10.4%	6.3%	0.0%	28.6%	23.1%	10.0%	13.3%
2～3店舗	19.9%	31.3%	14.3%	14.3%	7.7%	5.0%	0.0%
4～5店舗	14.1%	0.0%	14.3%	0.0%	23.1%	20.0%	26.7%
6～9店舗	7.9%	12.5%	28.6%	14.3%	7.7%	10.0%	13.3%
10店舗以上	7.9%	6.3%	0.0%	0.0%	23.1%	10.0%	0.0%
その他	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
無回答	10.4%	6.3%	0.0%	28.6%	7.7%	15.0%	26.7%

立地する区別	全体 (n=241)	港南区 (n=4)	港北区 (n=22)	栄区 (n=3)	瀬谷区 (n=7)	都筑区 (n=8)	鶴見区 (n=24)
0店舗	28.6%	25.0%	22.7%	33.3%	28.6%	62.5%	16.7%
1店舗	10.4%	25.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
2～3店舗	19.9%	0.0%	40.9%	66.7%	28.6%	12.5%	29.2%
4～5店舗	14.1%	25.0%	9.1%	0.0%	28.6%	0.0%	12.5%
6～9店舗	7.9%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
10店舗以上	7.9%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	16.7%
その他	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	10.4%	0.0%	13.6%	0.0%	14.3%	12.5%	12.5%

立地する区別	全体 (n=241)	戸塚区 (n=11)	中区 (n=41)	西区 (n=18)	保土ヶ谷区 (n=16)	緑区 (n=5)	南区 (n=4)
0店舗	28.6%	63.6%	34.1%	44.4%	12.5%	20.0%	0.0%
1店舗	10.4%	0.0%	7.3%	5.6%	18.8%	40.0%	25.0%
2～3店舗	19.9%	9.1%	14.6%	22.2%	25.0%	40.0%	25.0%
4～5店舗	14.1%	18.2%	14.6%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%
6～9店舗	7.9%	9.1%	12.2%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
10店舗以上	7.9%	0.0%	9.8%	11.1%	6.3%	0.0%	0.0%
その他	0.8%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	10.4%	0.0%	4.9%	16.7%	6.3%	0.0%	0.0%

 1位の項目

図表 2- 88 空き店舗数 立地する区別

空き店舗数について立地する区別で見ると、磯子区、保土ヶ谷区では空き店舗を抱える商店街が多く、「1店舗以上」で見ると8割超にのぼる。また、鶴見区も空き店舗を抱える商店街が多く、「10店舗以上」が16.7%を占め、「1店舗以上」は70.9%を占める。

空き店舗数 商店街タイプ別

商店街タイプ別	全体 (n=241)	近隣型商店街 (n=118)	地域型商店街 (n=77)	広域型商店街 (n=9)	超広域型商店街 (n=4)	その他の 商業エリア等 (n=19)
0店舗	28.6%	23.7%	28.6%	44.4%	75.0%	36.8%
1店舗	10.4%	11.0%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2～3店舗	19.9%	19.5%	24.7%	11.1%	0.0%	15.8%
4～5店舗	14.1%	16.9%	13.0%	11.1%	0.0%	5.3%
6～9店舗	7.9%	9.3%	7.8%	11.1%	0.0%	5.3%
10店舗以上	7.9%	8.5%	6.5%	0.0%	25.0%	15.8%
その他	0.8%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	10.4%	11.0%	3.9%	22.2%	0.0%	21.1%

 1位の項目

図表 2- 89 空き店舗数 商店街タイプ別

空き店舗数について商店街タイプ別で見ると、近隣型商店街は空き店舗を抱える商店街が多く、「1 店舗以上」が 65.2%占めるほか、「2 店舗以上」でも 54.2%を占める。

空き店舗数 立地環境別

立地環境別	全体 (n=241)	繁華街 (n=47)	住宅街 (n=113)	駅前・駅ビル (n=54)	ロードサイド (n=10)	オフィス街 (n=7)	その他 (n=6)
0店舗	28.6%	31.9%	26.5%	33.3%	20.0%	42.9%	16.7%
1店舗	10.4%	8.5%	10.6%	13.0%	10.0%	0.0%	0.0%
2～3店舗	19.9%	23.4%	20.4%	20.4%	10.0%	14.3%	16.7%
4～5店舗	14.1%	6.4%	15.0%	16.7%	20.0%	14.3%	16.7%
6～9店舗	7.9%	10.6%	9.7%	3.7%	10.0%	0.0%	0.0%
10店舗以上	7.9%	6.4%	8.8%	0.0%	20.0%	28.6%	33.3%
その他	0.8%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	10.4%	12.8%	8.8%	9.3%	10.0%	0.0%	16.7%


 1位の項目

図表 2- 90 空き店舗数 立地環境別

空き店舗数について立地環境別で見ると、住宅街は空き店舗を抱える商店街が多く、「1 店舗以上」が 64.6%占めるほか、「2 店舗以上」でも 54.0%を占める。

空き店舗数 会員数別

会員数別	全体 (n=241)	20名以下 (n=68)	21～50名以下 (n=85)	51～100名以下 (n=57)	101名以上 (n=17)
0店舗	28.6%	36.8%	29.0%	24.1%	20.8%
1店舗	10.4%	12.3%	11.8%	7.4%	4.2%
2～3店舗	19.9%	17.5%	19.4%	27.8%	16.7%
4～5店舗	14.1%	15.8%	15.1%	14.8%	8.3%
6～9店舗	7.9%	8.8%	5.4%	9.3%	12.5%
10店舗以上	7.9%	1.8%	7.5%	7.4%	29.2%
その他	0.8%	0.0%	1.1%	1.9%	0.0%
無回答	10.4%	7.0%	10.8%	7.4%	8.3%

 1位の項目

図表 2- 91 空き店舗数 会員数別

空き店舗数について会員数別で見ると、会員数が多くなるにつれ、空き店舗を抱える商店街が増える傾向がある。51～100名以下の66.7%が「1店舗以上」の空き店舗を抱えるのに対して、21～50名以下では59.2%、20名以下では56.2%となっている。

問 15_ア 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。

(ア)閉店前の業種 合計空き店舗数 (n= 672)

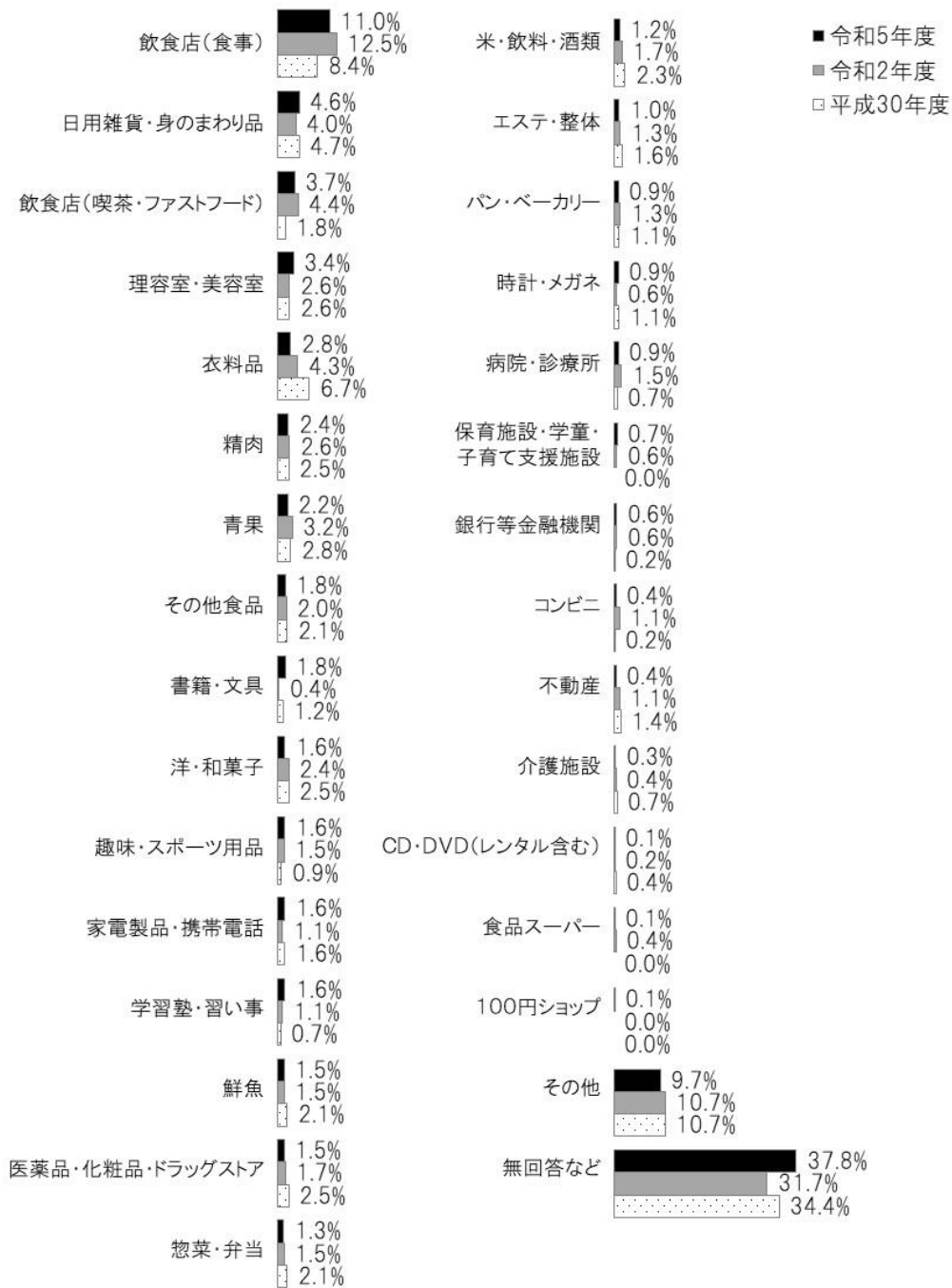


図表 2- 92 閉店前の業種

閉店前の業種について空き店舗数全体で見ると、「飲食店(食事)」が 11.0%と高くなっている。

閉店前の業種 経年比較

空き店舗数 令和5年度 (n= 672) 令和2年度 (n=704) 平成30年度 (n=571)



図表 2- 93 閉店前の業種 経年比較

閉店前の業種について経年で見ると、「飲食店(食事)」、「飲食店(喫茶・ファストフード)」は令和2年度に平成30年度から約3~4ポイントの上昇が見られたが、令和5年度はいずれも1ポイント前後の微減にとどまっている。「衣料品」には低下傾向が見られ、平成30年度以降の5年間で3.9ポイント低下している。

閉店前の業種 閉店の理由別

閉店の理由別	経営状態の悪化 (n=96)	経営者の高齢化 後継者の不在 (n=146)	店舗・設備の 老朽化 (n=13)	区画整理 再開発 (n=6)	他地区への移転 (n=36)	その他 (n=40)	わからない (n=76)
青果	5.2%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.6%
精肉	1.0%	4.8%	15.4%	0.0%	2.8%	2.5%	2.6%
鮮魚	2.1%	2.1%	7.7%	0.0%	0.0%	7.5%	0.0%
惣菜・弁当	5.2%	0.7%	7.7%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%
米・飲料・酒類	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	5.6%	5.0%	0.0%
パン・ベーカリー	3.1%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
洋・和菓子	1.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%
その他食品	0.0%	6.2%	7.7%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%
書籍・文具	1.0%	6.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	1.3%
医薬品・化粧品・ドラッグストア	1.0%	4.8%	0.0%	0.0%	2.8%	2.5%	0.0%
日用雑貨・身のまわり品	5.2%	13.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	5.3%
趣味・スポーツ用品	3.1%	2.7%	7.7%	0.0%	2.8%	0.0%	1.3%
衣料品	3.1%	3.4%	23.1%	16.7%	2.8%	5.0%	2.6%
時計・メガネ	1.0%	0.7%	0.0%	16.7%	2.8%	0.0%	2.6%
飲食店(食事)	26.0%	11.6%	15.4%	50.0%	16.7%	22.5%	15.8%
飲食店(喫茶・ファストフード)	11.5%	6.2%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	3.9%
家電製品・携帯電話	3.1%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	2.6%
CD・DVD(レンタル含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
コンビニ	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理容室・美容室	4.2%	9.6%	0.0%	16.7%	0.0%	5.0%	2.6%
食品スーパー	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
エステ・整体	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	5.3%
病院・診療所	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	5.6%	2.5%	1.3%
銀行等金融機関	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
保育施設・学童・子育て支援施設	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	1.3%
学習塾・習い事	3.1%	0.7%	0.0%	0.0%	2.8%	5.0%	5.3%
介護施設	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	1.3%
不動産	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	1.3%
100円ショップ	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	10.4%	8.2%	7.7%	0.0%	33.3%	15.0%	28.9%
無回答など	1.0%	1.4%	7.7%	0.0%	2.8%	5.0%	7.9%

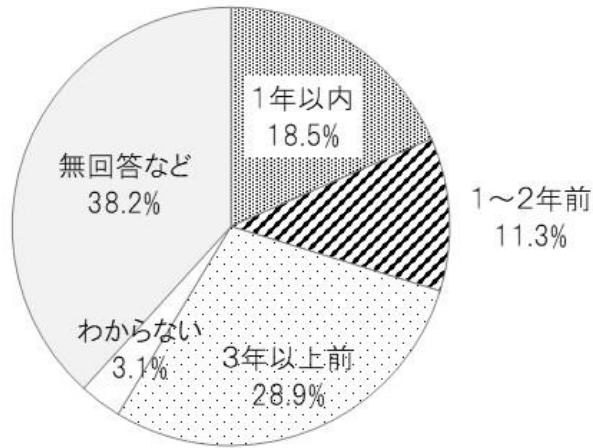
 1位の項目

図表 2- 94 閉店前の業種 閉店の理由別

閉店前の業種について閉店の理由別で見ると、「経営状態の悪化」では、「飲食店(食事)」が26.0%を占める。また、「経営者の高齢化・後継者の不在」では、「日用雑貨・身のまわり品」が13.7%を占める。

問 15_イ 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。

(イ) 空き店舗となった時期 合計空き店舗数 (n= 672)

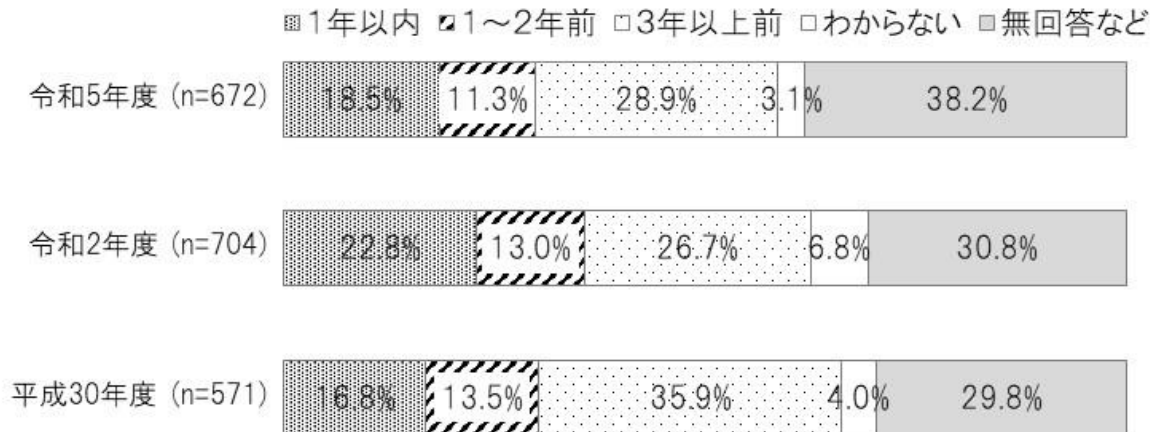


図表 2- 95 空き店舗となった時期

空き店舗となった時期について空き店舗数全体で見ると、「3年以上前」が 28.9%、「1年以内」が 18.5%を占める。

空き店舗となった時期 経年比較

空き店舗数 令和 5 年度 (n= 672) 令和 2 年度 (n=704) 平成 30 年度 (n=571)

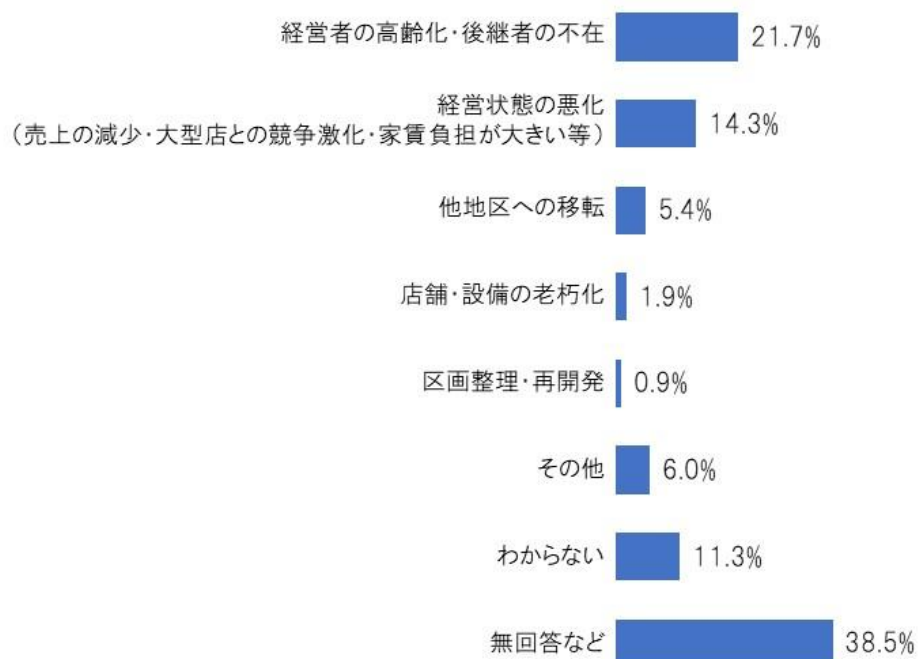


図表 2- 96 空き店舗となった時期 経年比較

空き店舗となった時期について経年で見ると、「3年以上前」は令和 2 年度から 2.2 ポイント上昇している一方、「1年以内」は 4.3 ポイント低下、「1～2年前」は 1.7 ポイント低下し、時期的には昔のケースが増えている。

問 15_ウ 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。

(ウ)閉店の理由 合計空き店舗数 (n= 672)



図表 2- 97 閉店の理由

閉店の理由について空き店舗数全体で見ると、「経営者の高齢化・後継者の不在」が 21.7%でトップ、「経営状態の悪化(売上の減少・大型店との競争激化・家賃負担が大きい等)」が 14.3%で続く。

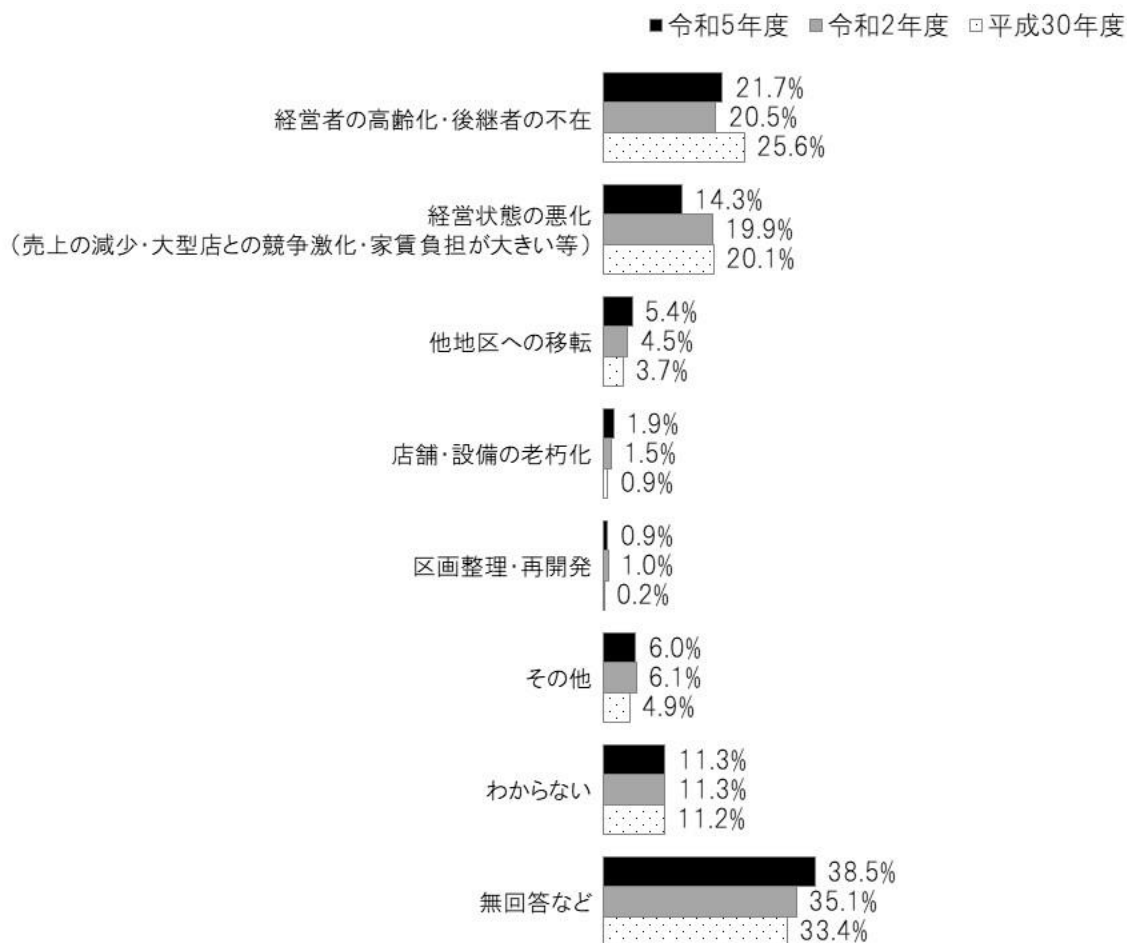
【その他の内容(抜粋)】

火災	店舗の統合
店主体調不良／病気／逝去	道路工事で
物件オーナーの意向	封鎖されて
ブランド整理(経営者判断)	コロナ
住居兼店舗を売却 計5店舗	短期契約の為
建て直し新築	わからない
店舗となりへ移動	

図表 2- 98 閉店の理由 その他の内容

閉店の理由 経年比較

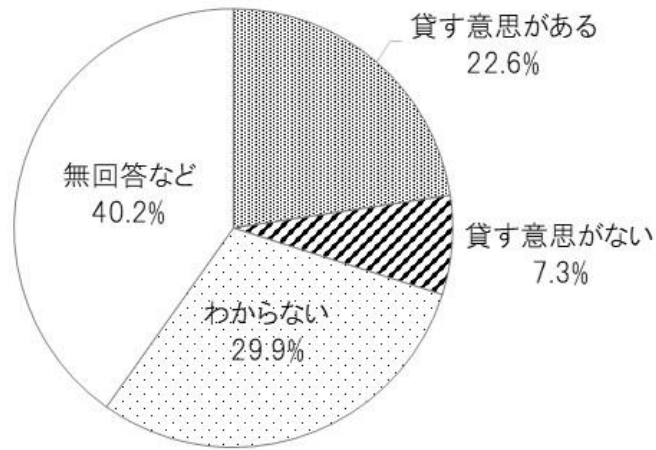
空き店舗数 令和5年度 (n= 672) 令和2年度 (n=704) 平成30年度 (n=571)



図表 2- 99 閉店の理由 経年比較

閉店の理由について経年で見ると、「経営者の高齢化・後継者の不在」は令和2年度と大きく変わらないのに対して、「経営状態の悪化(売上の減少・大型店との競争激化・家賃負担が大きい等)」は5.6ポイントの低下となっている。

問 15_エ 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。
 (エ)家主の意思 合計空き店舗数 (n= 672)

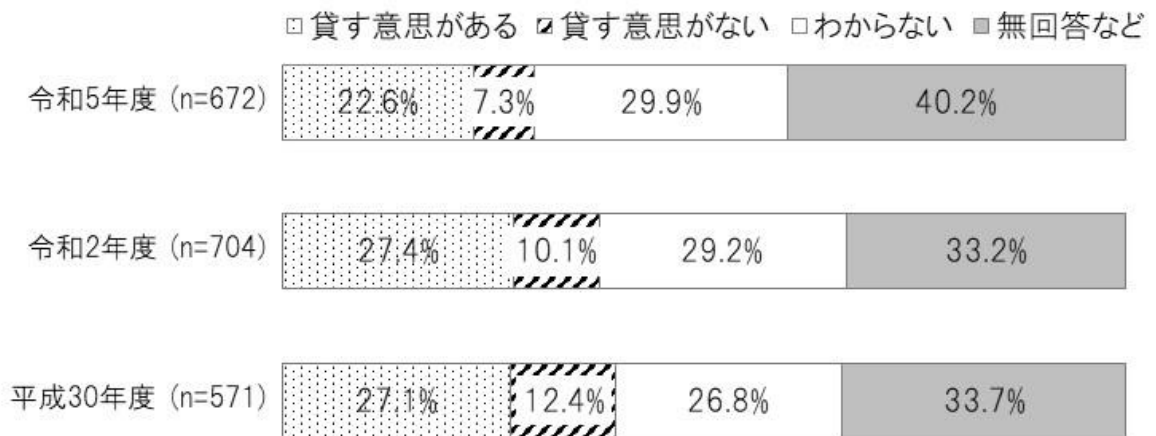


図表 2- 100 家主の意思

家主の意思について空き店舗数全体で見ると、「貸す意思がある」が 22.6%を占め、「貸す意思がない」は 7.3%にとどまる。

家主の意思 経年比較

空き店舗数 令和 5 年度 (n= 672) 令和 2 年度 (n=704) 平成 30 年度 (n=571)



図表 2- 101 家主の意思 経年比較

家主の意思について経年で見ると、「貸す意思がある」は令和 2 年度から 4.8 ポイント低下している。

家主の意思 空き店舗となった時期別

空き店舗となった時期別	1年以内 (n=124)	1~2年前 (n=76)	3年以上前 (n=194)	わからない (n=21)
貸す意思がある	50.0%	42.1%	28.4%	4.8%
貸す意思がない	4.8%	9.2%	13.4%	33.3%
わからない	38.7%	40.8%	53.6%	57.1%
無回答など	6.5%	7.9%	4.6%	4.8%

1位の項目

図表 2- 102 家主の意思 空き店舗となった時期別

家主の意思について空き店舗となった時期別で見ると、時期が最近であるほど、「貸す意思がある」が高まる。1年以内の場合、「貸す意思がある」は半数を占めるのに対して、3年以上前の場合、28.4%にとどまる。

家主の意思 閉店の理由別

閉店の理由別	経営状態の悪化 (n=96)	経営者の高齢化 後継者の不在 (n=146)	店舗・設備の 老朽化 (n=13)	区画整理 再開発 (n=6)
貸す意思がある	55.2%	24.7%	7.7%	16.7%
貸す意思がない	5.2%	20.5%	15.4%	0.0%
わからない	35.4%	52.7%	69.2%	83.3%
無回答など	4.2%	2.1%	7.7%	0.0%

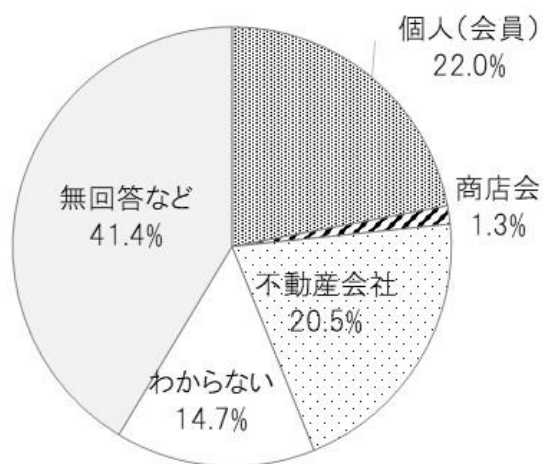
閉店の理由別	他地区への移転 (n=36)	その他 (n=40)	わからない (n=76)
貸す意思がある	50.0%	35.0%	30.3%
貸す意思がない	5.6%	7.5%	9.2%
わからない	38.9%	45.0%	55.3%
無回答など	5.6%	12.5%	5.3%

1位の項目

図表 2- 103 家主の意思 閉店の理由別

家主の意思について閉店の理由別で見ると、経営状態の悪化や他地区への移転の場合、半数以上が「貸す意思がある」としているのに対して、経営者の高齢化・後継者の不在の場合、「貸す意思がある」は24.7%にとどまる。

問 15_オ 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。
(オ)物件の管理者 合計空き店舗数 (n= 672)



図表 2- 104 物件の管理者

物件の管理者について空き店舗数全体で見ると、「個人(会員)」が 22.0%を占め、「不動産会社」が 20.5%を占める。

問 15-2 空き店舗がある場合、埋まらない理由として考えられるものを次の選択肢から選んでください。(あてはまるもの全てに○)※「その他」の場合は、具体的内容をご記入ください。
 空き店舗がある商店街全体 (n=146)



図表 2- 105 空き店舗が埋まらない理由

空き店舗が埋まらない理由について空き店舗がある商店街全体で見ると、「積極的な募集をしていない(当面、空き店舗のままで困らない)」が 34.2%でトップ、「開業希望者が見つからない」(30.8%)、「家賃が高い」(30.1%)、「店舗・設備の老朽化」(28.8%)が 3 割前後で続く。

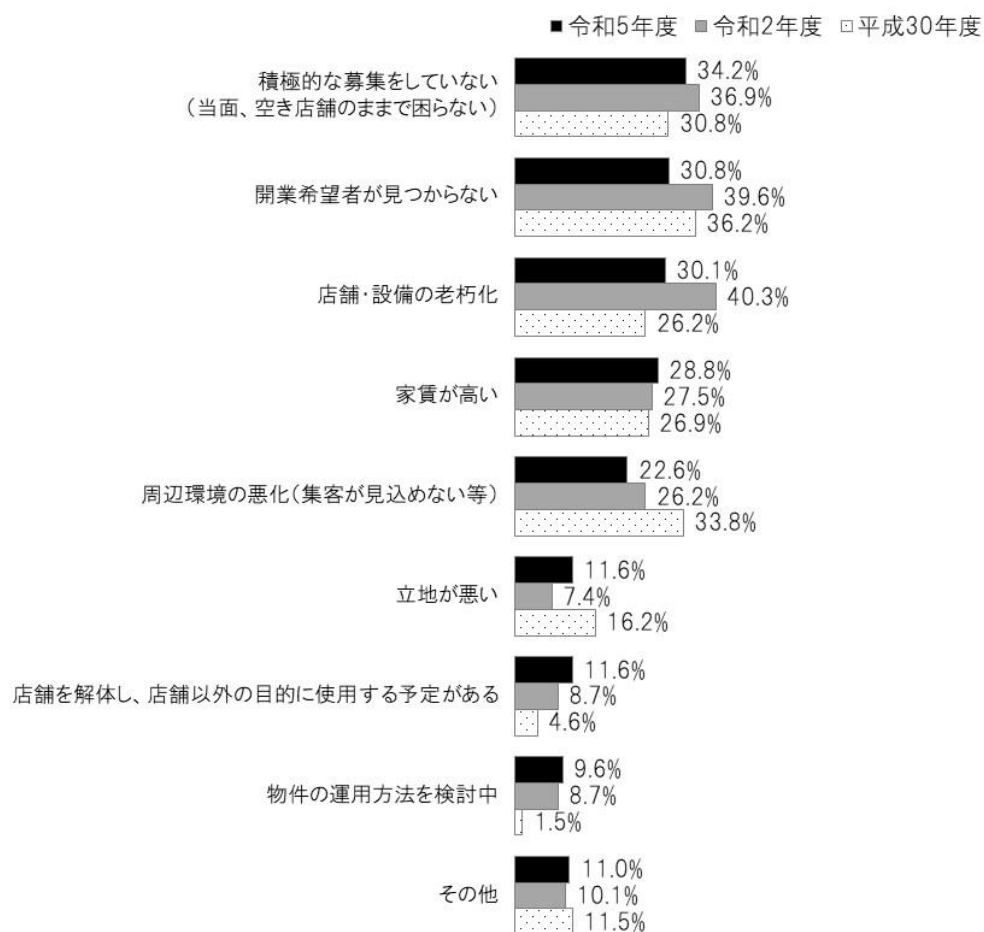
【その他の内容(抜粋)】

業種を特定しているため	階段が急
フロア面積過大又は過小	店主が入院してそのまま状態
店舗を借りるとその上の住居部分も借りないとダメ	店主の高齢化
店舗が住宅になる	家主の示す条件が細かい
2Fに住人有り1Fを貸すと出入り出来ない	組合費
個人所有のため	不明
住宅として住んでいます	

図表 2- 106 空き店舗が埋まらない理由 その他の内容

空き店舗が埋まらない理由 経年比較

空き店舗がある商店街全体 令和5年度 (n=146) 令和2年度 (n=149) 平成30年度 (n=130)

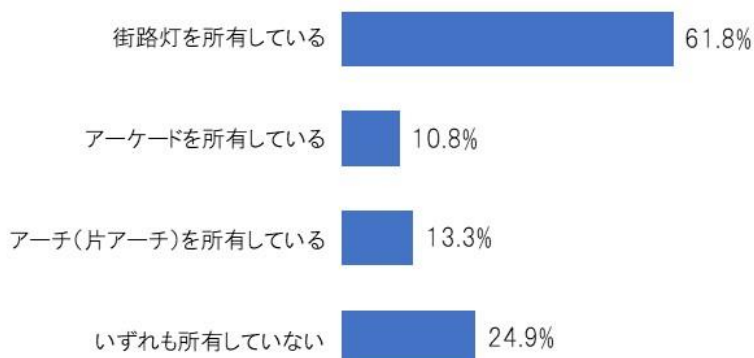


図表 2- 107 空き店舗が埋まらない理由 経年比較

空き店舗が埋まらない理由について経年で見ると、「積極的な募集をしていない(当面、空き店舗のまま困らない)」は令和2年度から大きく変化していない。一方で、「開業希望者が見つからない」は8.8ポイント低下しているほか、「家賃が高い」は令和2年度から10.2ポイント低下している。

(6) 施設の所有と保全・維持管理

問 16 貴商店街では街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)を所有していますか。(あてはまるもの全てに○) 全体 (n=241)



図表 2- 108 街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有について全体で見ると、「街路灯を所有している」は61.8%を占め、「アーケードを所有している」、「アーチ(片アーチ)を所有している」は1割前後を占める。一方で、「いずれも所有していない」は24.9%となっている。

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有 立地する区別

立地する区別	全体 (n=241)	青葉区 (n=16)	旭区 (n=7)	泉区 (n=7)	磯子区 (n=13)	神奈川区 (n=20)	金沢区 (n=15)
街路灯を所有している	61.8%	87.5%	42.9%	42.9%	69.2%	60.0%	53.3%
アーケードを所有している	10.8%	6.3%	14.3%	0.0%	7.7%	20.0%	13.3%
アーチ(片アーチ)を所有している	13.3%	12.5%	14.3%	14.3%	7.7%	25.0%	13.3%
いずれも所有していない	24.9%	18.8%	42.9%	28.6%	23.1%	15.0%	26.7%

立地する区別	全体 (n=241)	港南区 (n=4)	港北区 (n=22)	栄区 (n=3)	瀬谷区 (n=7)	都筑区 (n=8)	鶴見区 (n=24)
街路灯を所有している	61.8%	25.0%	77.3%	66.7%	100.0%	25.0%	66.7%
アーケードを所有している	10.8%	25.0%	9.1%	33.3%	14.3%	12.5%	12.5%
アーチ(片アーチ)を所有している	13.3%	0.0%	9.1%	0.0%	28.6%	0.0%	12.5%
いずれも所有していない	24.9%	50.0%	4.5%	33.3%	0.0%	62.5%	20.8%

立地する区別	全体 (n=241)	戸塚区 (n=11)	中区 (n=41)	西区 (n=18)	保土ヶ谷区 (n=16)	緑区 (n=5)	南区 (n=4)
街路灯を所有している	61.8%	18.2%	56.1%	44.4%	87.5%	80.0%	100.0%
アーケードを所有している	10.8%	9.1%	7.3%	16.7%	0.0%	0.0%	25.0%
アーチ(片アーチ)を所有している	13.3%	0.0%	12.2%	16.7%	18.8%	20.0%	25.0%
いずれも所有していない	24.9%	72.7%	26.8%	38.9%	6.3%	20.0%	0.0%

1位の項目

図表 2- 109 街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有 立地する区別

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有について立地する区別で見ると、青葉区、保土ヶ谷区では「街路灯を所有している」が87.5%と高くなっている。神奈川区では「アーケードを所有している」、「アーチ(片アーチ)を所有している」がいずれも2割以上を占める。一方で、戸塚区では「いずれも所有していない」が72.7%、西区では38.9%を占める。

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有 商店街タイプ別

商店街タイプ別	全体 (n=241)	近隣型商店街 (n=118)	地域型商店街 (n=77)	広域型商店街 (n=9)	超広域型商店街 (n=4)	その他の 商業エリア等 (n=19)
街路灯を所有している	61.8%	66.9%	61.0%	33.3%	0.0%	57.9%
アーケードを所有している	10.8%	11.9%	13.0%	22.2%	0.0%	0.0%
アーチ(片アーチ)を 所有している	13.3%	10.2%	18.2%	11.1%	0.0%	15.8%
いずれも所有していない	24.9%	23.7%	26.0%	33.3%	75.0%	15.8%

1位の項目

図表 2- 110 街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有 商店街タイプ別

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有について商店街タイプ別で見ると、近隣型商店街では「街路灯を所有している」が66.9%と高く、地域型商店街では「アーチ(片アーチ)を所有している」が18.2%と高い。

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有 立地環境別

立地環境別	全体 (n=241)	繁華街 (n=47)	住宅街 (n=113)	駅前・駅ビル (n=54)	ロードサイド (n=10)	オフィス街 (n=7)	その他 (n=6)
街路灯を所有している	61.8%	78.7%	62.8%	57.4%	30.0%	57.1%	33.3%
アーケードを所有している	10.8%	0.0%	16.8%	9.3%	10.0%	0.0%	16.7%
アーチ(片アーチ)を 所有している	13.3%	25.5%	8.0%	14.8%	0.0%	28.6%	0.0%
いずれも所有していない	24.9%	10.6%	24.8%	29.6%	60.0%	42.9%	16.7%


1位の項目

図表 2- 111 街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有 立地環境別

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有について立地環境別で見ると、繁華街では「街路灯を所有している」が78.7%、「アーチ(片アーチ)を所有している」が25.5%と高い。住宅街では「アーケードを所有している」が16.8%と他の立地環境よりも高くなっている。

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有 組織形態別

組織形態別	全体 (n=241)	振興組合 (n=14)	協同組合 (n=37)	一般社団法人 (n=5)	任意団体 (n=170)	その他 (n=9)
街路灯を所有している	61.8%	57.1%	70.3%	60.0%	62.9%	22.2%
アーケードを所有している	10.8%	0.0%	29.7%	20.0%	7.1%	22.2%
アーチ(片アーチ)を所有している	13.3%	0.0%	29.7%	20.0%	11.8%	0.0%
いずれも所有していない	24.9%	35.7%	10.8%	20.0%	26.5%	44.4%


 1位の項目

図表 2- 112 街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有 組織形態別

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有について組織形態別で見ると、協同組合では「街路灯を所有している」が70.3%、「アーケードを所有している」、「アーチ(片アーチ)を所有している」がいずれも29.7%を占め、施設の保有率が高い。一方で、振興組合では「いずれも所有していない」が35.7%と高くなっている。

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有 会員数別

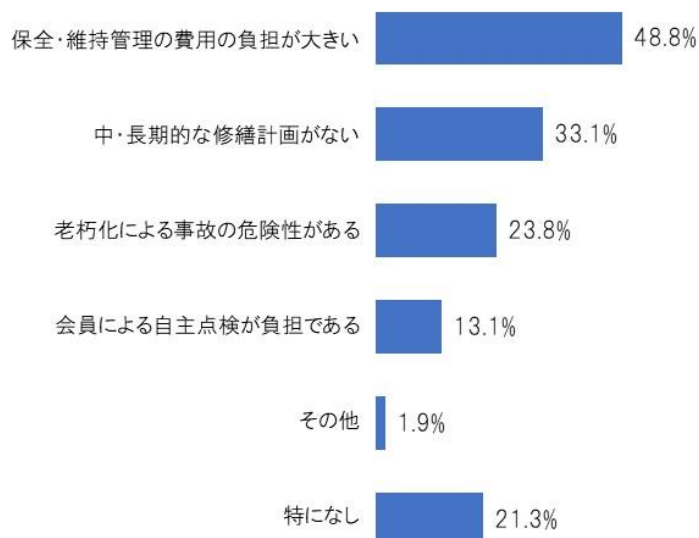
会員数別	全体 (n=241)	20名以下 (n=68)	21~50名以下 (n=85)	51~100名以下 (n=57)	101名以上 (n=17)
街路灯を所有している	61.8%	49.1%	62.4%	74.1%	62.5%
アーケードを所有している	10.8%	7.0%	15.1%	11.1%	8.3%
アーチ(片アーチ)を所有している	13.3%	10.5%	10.8%	20.4%	16.7%
いずれも所有していない	24.9%	35.1%	24.7%	18.5%	25.0%

 1位の項目

図表 2- 113 街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有 会員数別

街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有について会員数別で見ると、会員数が少なくなるほど「いずれも所有していない」が高まる傾向がある。21~50名以下、51~100名以下では「いずれも所有していない」が2割前後となっているのに対して、20名以下では35.1%を占める。

問 16-2 問 16 の施設の保全・維持管理における課題は何ですか。(あてはまるもの全てに○)
 「街路灯」、「アーケード」、「アーチ(片アーチ)」のいずれかを所有している商店街 (n=160)



図表 2- 114 施設の保全・維持管理における課題

施設の保全・維持管理における課題について全体で見ると、「保全・維持管理の費用の負担が大きい」が 48.8%を占めトップ、「中・長期的な修繕計画がない」が 33.1%で続く。

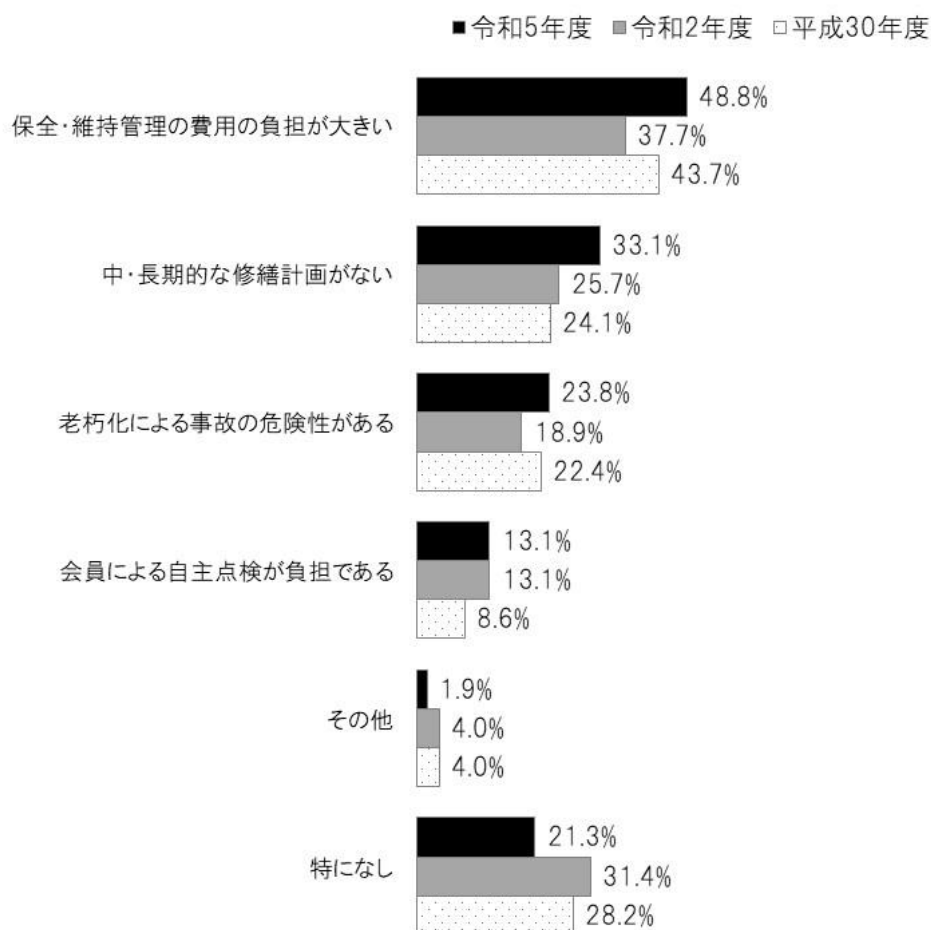
【その他の内容(抜粋)】

商店街所有の外灯等は全て撤去済み
すでに撤去
管理会社の仕様
保険に入っているが、何かあった際に保険金がおりるまでの立替金
補修がかかる
修繕今年実施

図表 2- 115 施設の保全・維持管理における課題 その他の内容

施設の保全・維持管理における課題 経年比較

「街路灯」、「アーケード」、「アーチ(片アーチ)」のいずれかを所有している商店街
 令和5年度 (n=160) 令和2年度 (n=175) 平成30年度 (n=174)



図表 2- 116 施設の保全・維持管理における課題 経年比較

施設の保全・維持管理における課題について経年で見ると、「保全・維持管理の費用の負担が大きい」は令和2年度に平成30年度から6ポイント低下したが、令和5年度に令和2年度から11.1ポイント上昇し、平成30年度と比べても、5.1ポイント上回っている。「中・長期的な修繕計画がない」については上昇傾向があり、平成30年度以降の5年間で9.0ポイント上昇している。

施設の保全・維持管理における課題 組織形態別

組織形態別	全体 (n=160)	振興組合 (n=8)	協同組合 (n=33)	一般社団法人 (n=3)	任意団体 (n=110)	その他 (n=3)
保全・維持管理の 費用の負担が大きい	48.8%	50.0%	69.7%	33.3%	40.9%	66.7%
中・長期的な修繕計画がない	33.1%	12.5%	30.3%	0.0%	34.5%	33.3%
老朽化による事故の危険性がある	23.8%	25.0%	21.2%	0.0%	23.6%	33.3%
会員による自主点検が負担である	13.1%	12.5%	18.2%	33.3%	10.9%	33.3%
その他	1.9%	0.0%	3.0%	0.0%	1.8%	0.0%
特になし	21.3%	0.0%	18.2%	0.0%	25.5%	0.0%

 1位の項目

図表 2- 117 施設の保全・維持管理における課題 組織形態別

施設の保全・維持管理における課題について組織形態別で見ると、施設の保有率が高い協同組合では「保全・維持管理の費用の負担が大きい」が69.7%と高くなっている。

施設の保全・維持管理における課題 会員数別

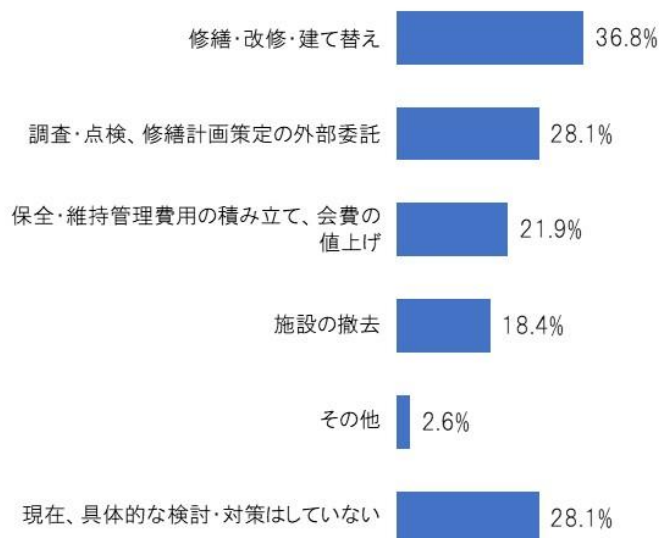
会員数別	全体 (n=160)	20名以下 (n=30)	21～50名以下 (n=64)	51～100名以下 (n=42)	101名以上 (n=16)
保全・維持管理の 費用の負担が大きい	48.8%	43.3%	48.4%	45.2%	68.8%
中・長期的な修繕計画がない	33.1%	33.3%	37.5%	23.8%	18.8%
老朽化による事故の危険性がある	23.8%	13.3%	32.8%	19.0%	18.8%
会員による自主点検が負担である	13.1%	13.3%	15.6%	11.9%	12.5%
その他	1.9%	0.0%	1.6%	4.8%	0.0%
特になし	21.3%	23.3%	18.8%	26.2%	18.8%

 1位の項目

図表 2- 118 施設の保全・維持管理における課題 会員数別

施設の保全・維持管理における課題について会員数別で見ると、51～100名以下では「中・長期的な修繕計画がない」が23.8%と低い。また、特になしが26.2%を占め、課題としている商店街が少ない。

問 16-3 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○) 施設の保全・維持管理に何らかの課題がある商店街 (n=114)



図表 2- 119 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していること

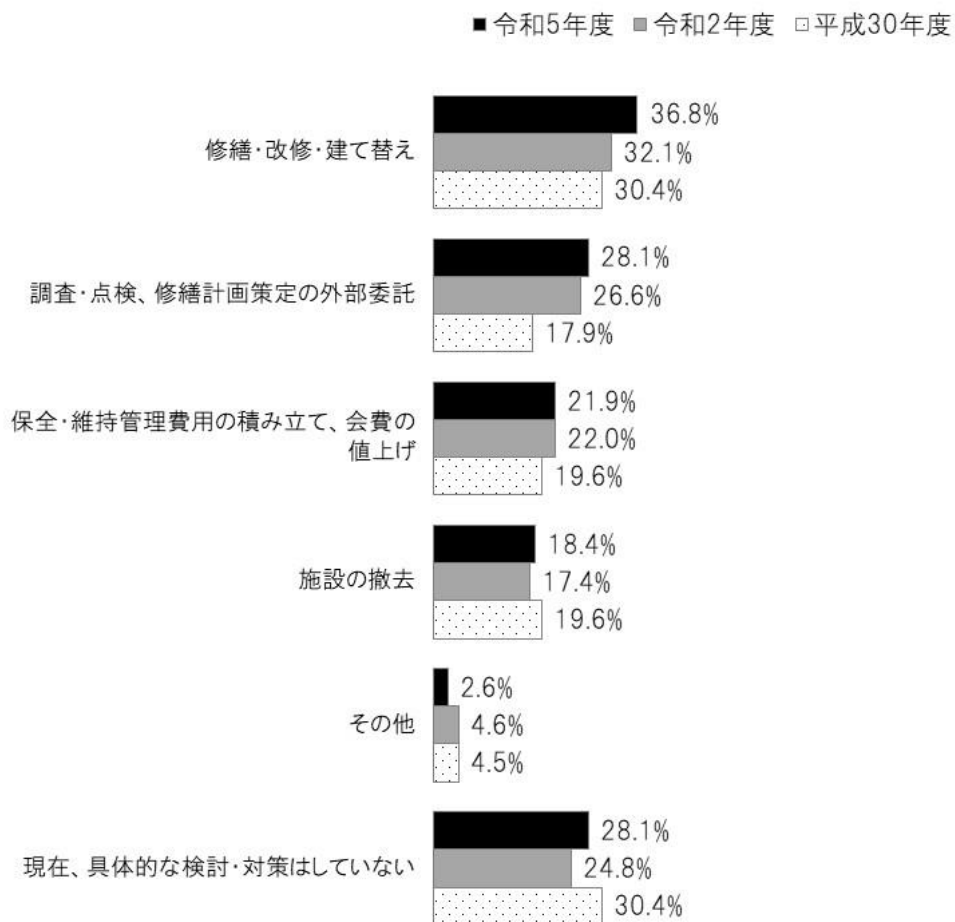
施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していることについて全体で見ると、「修繕・改修・建て替え」が 36.8%でトップ、「調査・点検、修繕計画策定の外部委託」が 28.1%で続く。一方で、「現在、具体的な検討・対策はしていない」も 28.1%を占める。

【その他の内容(抜粋)】

管理会社が検討・対策します
自治会、町内会に
消灯
該当する店舗同士で対応を検討中

図表 2- 120 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していること その他の内容

施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していること 経年比較
「街路灯」、「アーケード」、「アーチ(片アーチ)」のいずれかを所有している商店街
令和5年度 (n=160) 令和2年度 (n=175) 平成30年度 (n=174)




図表 2- 121 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していること 経年比較

施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していることについて経年で見ると、「修繕・改修・建て替え」、「調査・点検、修繕計画策定の外部委託」にはいずれも上昇傾向があり、平成30年度以降の5年間で「修繕・改修・建て替え」は6.4ポイントの上昇、「調査・点検、修繕計画策定の外部委託」は10.2ポイントの上昇となっている。

施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していること 組織形態別

組織形態別	全体 (n=114)	振興組合 (n=7)	協同組合 (n=26)	一般社団法人 (n=2)	任意団体 (n=73)	その他 (n=3)
修繕・改修・建て替え	36.8%	57.1%	38.5%	100.0%	32.9%	0.0%
調査・点検、修繕計画策定の外部委託	28.1%	42.9%	30.8%	0.0%	24.7%	33.3%
保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ	21.9%	0.0%	19.2%	50.0%	23.3%	33.3%
施設の撤去	18.4%	0.0%	23.1%	0.0%	20.5%	0.0%
その他	2.6%	0.0%	3.8%	0.0%	2.7%	0.0%
現在、具体的な検討・対策はしていない	28.1%	14.3%	30.8%	0.0%	28.8%	33.3%


 1位の項目

図表 2- 122 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していること 組織形態別

施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していることについて、協同組合と任意団体を比べると、協同組合は「修繕・改修・建て替え」、「調査・点検、修繕計画策定の外部委託」、「施設の撤去」で任意団体を上回り、より多くのことを検討・対策している。一方で、任意団体は「保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ」では協同組合を上回っている。

施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していること 会員数別

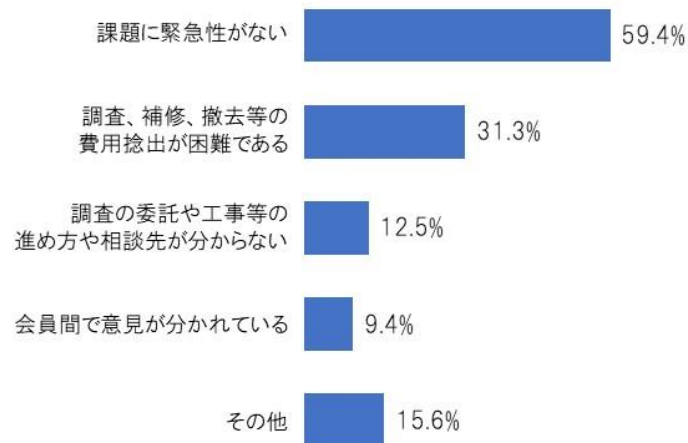
会員数別	全体 (n=114)	20名以下 (n=20)	21～50名以下 (n=49)	51～100名以下 (n=27)	101名以上 (n=12)
修繕・改修・建て替え	36.8%	10.0%	40.8%	40.7%	50.0%
調査・点検、修繕計画策定の外部委託	28.1%	10.0%	26.5%	29.6%	50.0%
保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ	21.9%	10.0%	18.4%	25.9%	33.3%
施設の撤去	18.4%	20.0%	22.4%	14.8%	8.3%
その他	2.6%	5.0%	0.0%	3.7%	8.3%
現在、具体的な検討・対策はしていない	28.1%	50.0%	30.6%	25.9%	0.0%

 1位の項目

図表 2- 123 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していること 会員数別

施設の保全・維持管理の課題について会員数別で見ると、20名以下は「現在、具体的な検討・対策はしていない」が50.0%を占める。一方で、21～50名以下、51～100名以下では、「修繕・改修・建て替え」が約4割、「調査・点検、修繕計画策定の外部委託」が約3割を占めるなど、検討・対策が進んでいる。

問 16-4 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていない理由は何ですか。
 (あてはまるもの全てに○)「現在具体的な検討・対策はしていない」商店街 (n=32)



図表 2- 124 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策をしていない理由

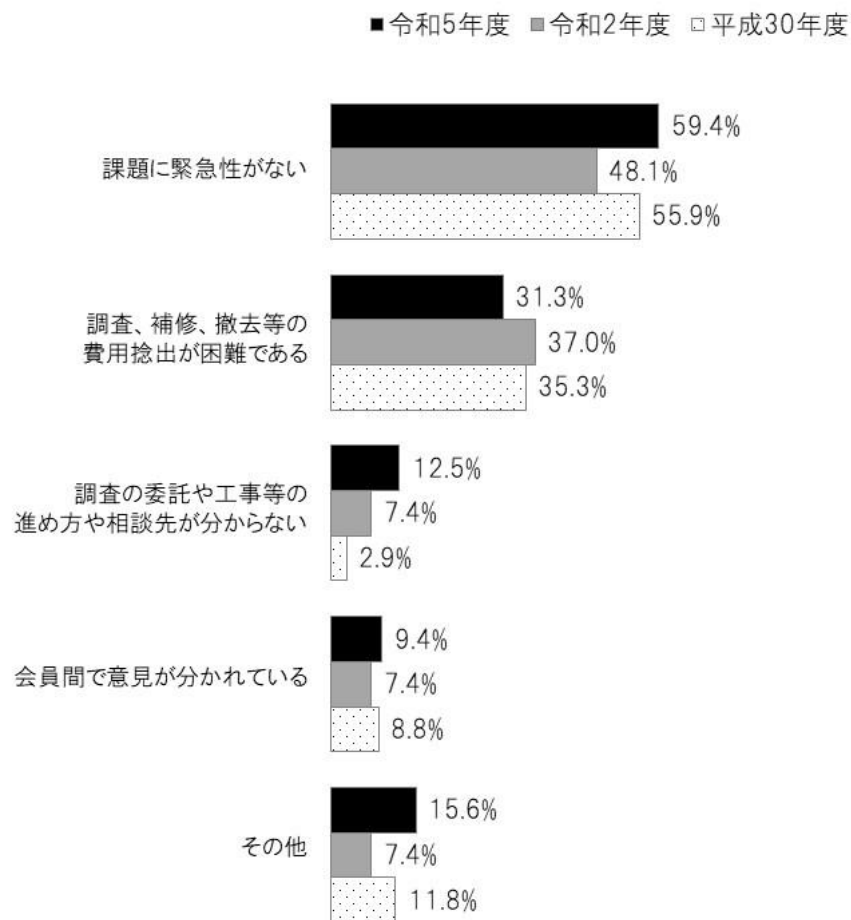
施設の保全・維持管理の課題について検討・対策をしていない理由について具体的な検討・対策はしていない商店街全体で見ると、「課題に緊急性がない」が 59.4%で突出している。

【その他の内容(抜粋)】

維持管理用の費用の積立金があるため
オーナービルの為
管理会社の規定があります
現状で大丈夫だから
自治会との話し合い
設置12年で補修少ない
目視でその都度対応しています
話し合いがない
これから検討する

図表 2- 125 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策をしていない理由 その他の内容

施設の保全・維持管理の課題について検討・対策をしていない理由 経年比較
 「現在、具体的な検討・対策はしていない」商店街
 令和5年度 (n=32) 令和2年度 (n=27) 平成30年度 (n=34)

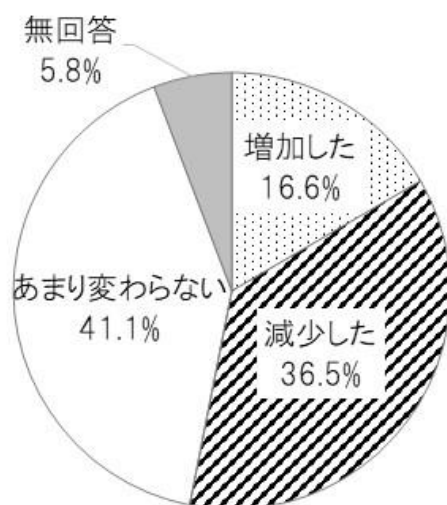


図表 2- 126 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策をしていない理由 経年比較

施設の保全・維持管理の課題について検討・対策をしていない理由について経年で見ると、「課題に緊急性がない」は令和2年度から11.3ポイント上昇している。また、「調査の委託や工事等の進め方や相談先が分からない」には上昇傾向があり、平成30年度以降の5年間で9.6ポイント上昇している。一方で、「調査、補修、撤去等の費用捻出が困難である」は令和2年度から5.7ポイント低下している。

(7) 来街者の状況と外国人観光客への対応

問 17 前回調査時(令和2年 11月～1月)と比べ、来街者数はどう変化したと感じられますか。
(○は1つだけ) 全体 (n=241)



図表 2- 127 来街者数の変化

来街者数の変化について全体で見ると、「あまり変わらない」が 41.1%を占めるものの、「減少した」が 36.5%で「増加した」の 16.6%を上回っている。

来街者数の変化 経年比較

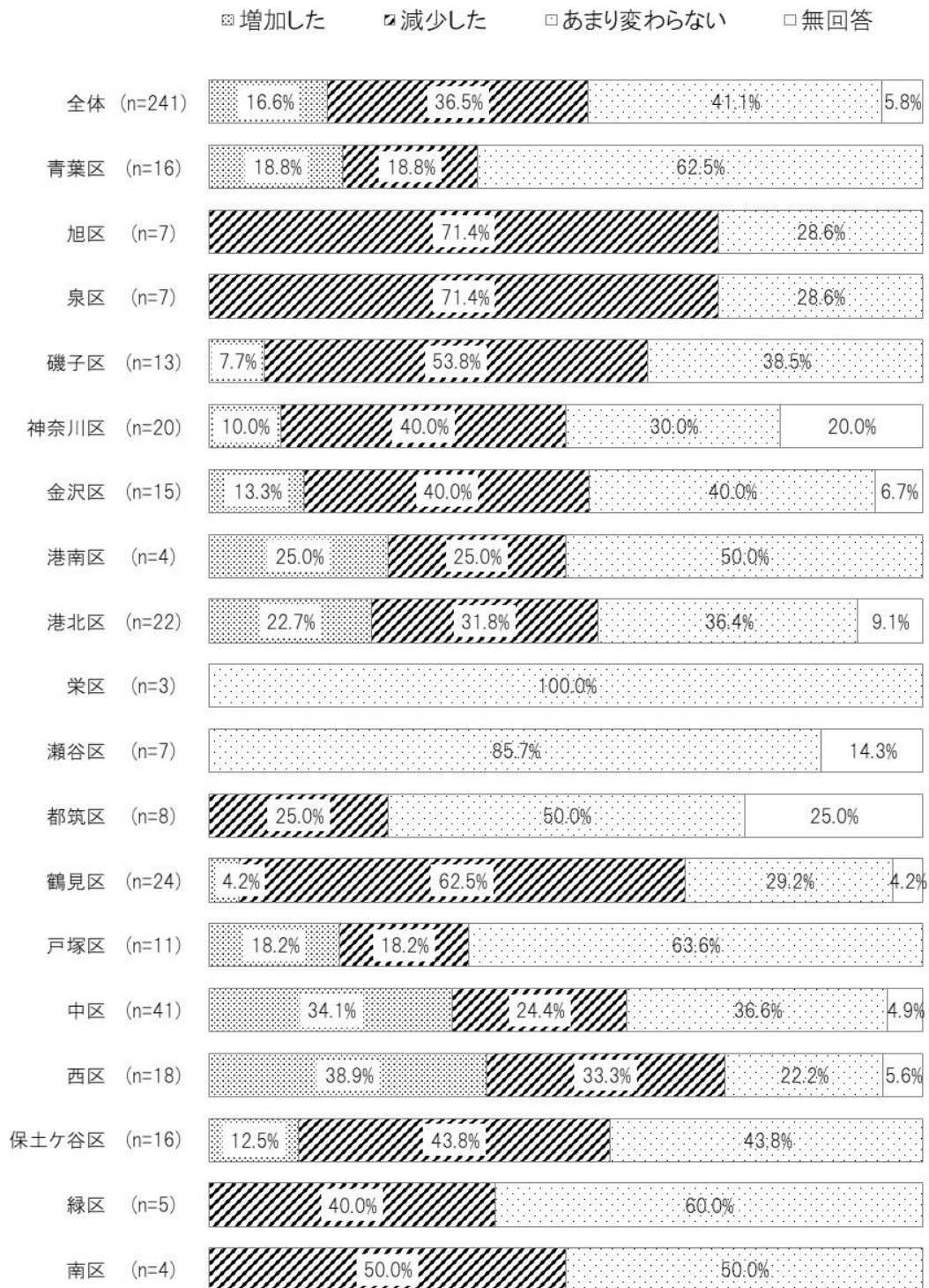
全対象者 令和 5 年度 (n=241) 令和 2 年度 (n=249) 平成 30 年度 (n=231)



図表 2- 128 来街者数の変化 経年比較

来街者数の変化について経年で見ると、令和 2 年度から改善している。「増加した」は令和 2 年度から 13.8 ポイント上昇し、「減少した」は 26.6 ポイント低下している。

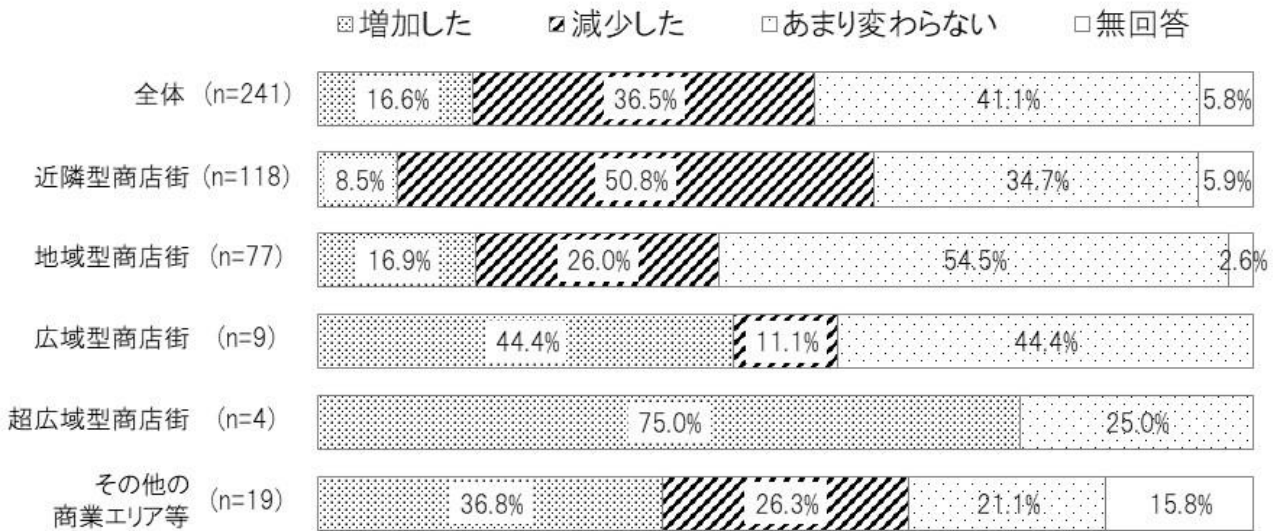
来街者数の変化 立地する区別



図表 2- 129 来街者数の変化 立地する区別

来街者数の変化を立地する区別で見ると、西区では「増加した」が38.9%、中区では34.1%であるのに対して「減少した」は3割前後にとどまっており、改善が見られる。一方で、鶴見区では「減少した」が62.5%、磯子区では53.8%、保土ヶ谷区では43.8%を占め、厳しい状況となっている。

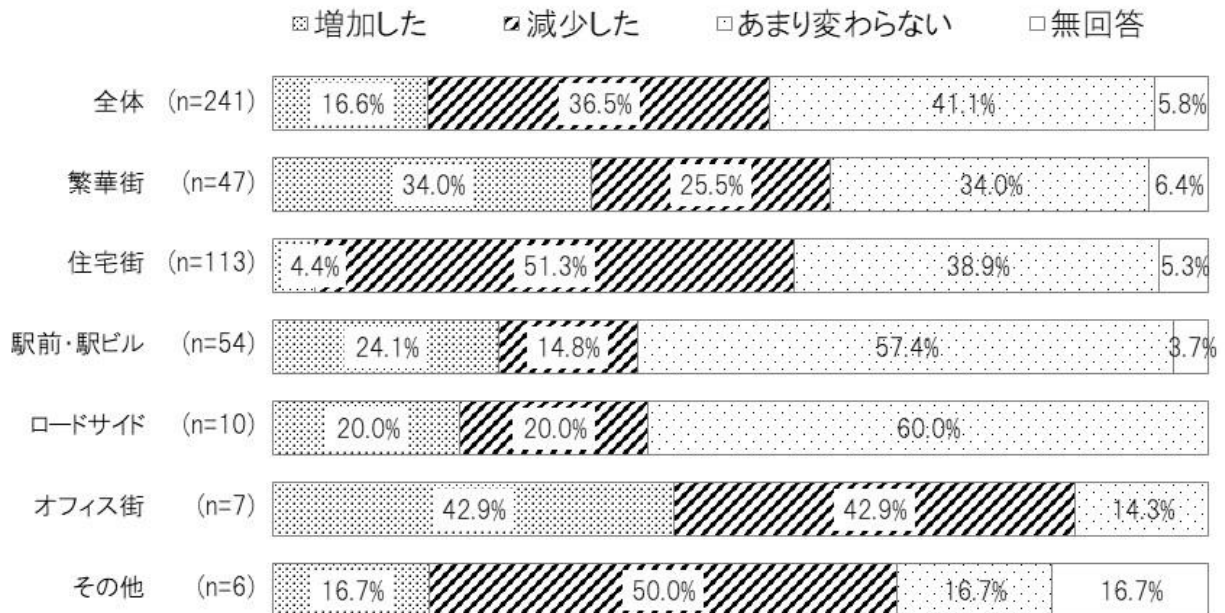
来街者数の変化 商店街タイプ別



図表 2- 130 来街者数の変化 商店街タイプ別

来街者数の変化について商店街タイプ別で見ると、近隣型商店街は「減少した」が50.8%と過半数を占め、厳しい状況となっている。

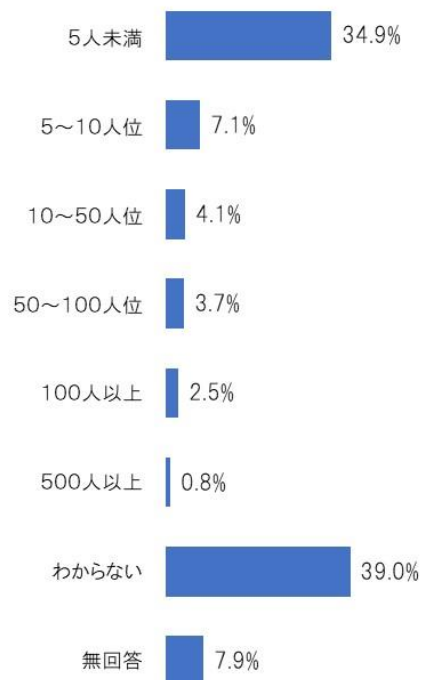
来街者数の変化 立地環境別



図表 2- 131 来街者数の変化 立地環境別

来街者数の変化について立地環境別で見ると、繁華街は「増加した」が34.0%、駅前・駅ビルは24.1%を占め、いずれも「減少した」を上回っており、改善が見られる。一方で、住宅街は「減少した」が51.3%と過半数となっており、厳しい状況となっている。

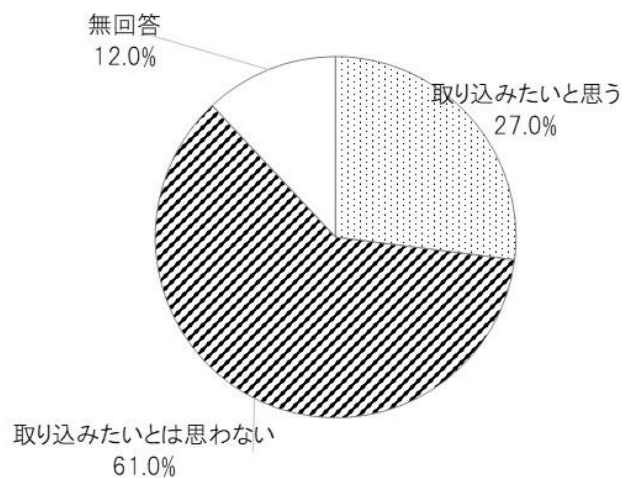
問 18 現在最も多いときで外国人観光客の来街者数は1日どのくらいですか。(○は1つだけ)
全体 (n=241)



図表 2- 132 外国人観光客の来街者数

外国人観光客の来街者数について全体で見ると、「5人未満」の 34.9%と「わからない」の 39.0%が突出している。

問 19 外国人観光客を来街者として取り込みたいと思いますか。(○は1つだけ)
全体 (n=241)

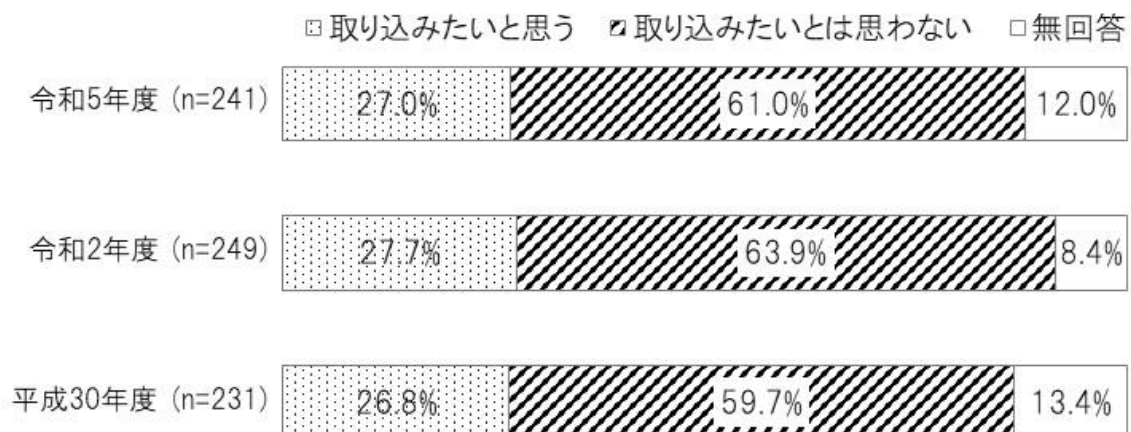


図表 2- 133 外国人観光客を来街者として取り込みたいか

外国人観光客を来街者として取り込みたいかについて全体で見ると、「取り込みたいとは思わない」が61.0%を占め、「取り込みたいと思う」は27.0%にとどまる。

外国人観光客を来街者として取り込みたいか 経年比較

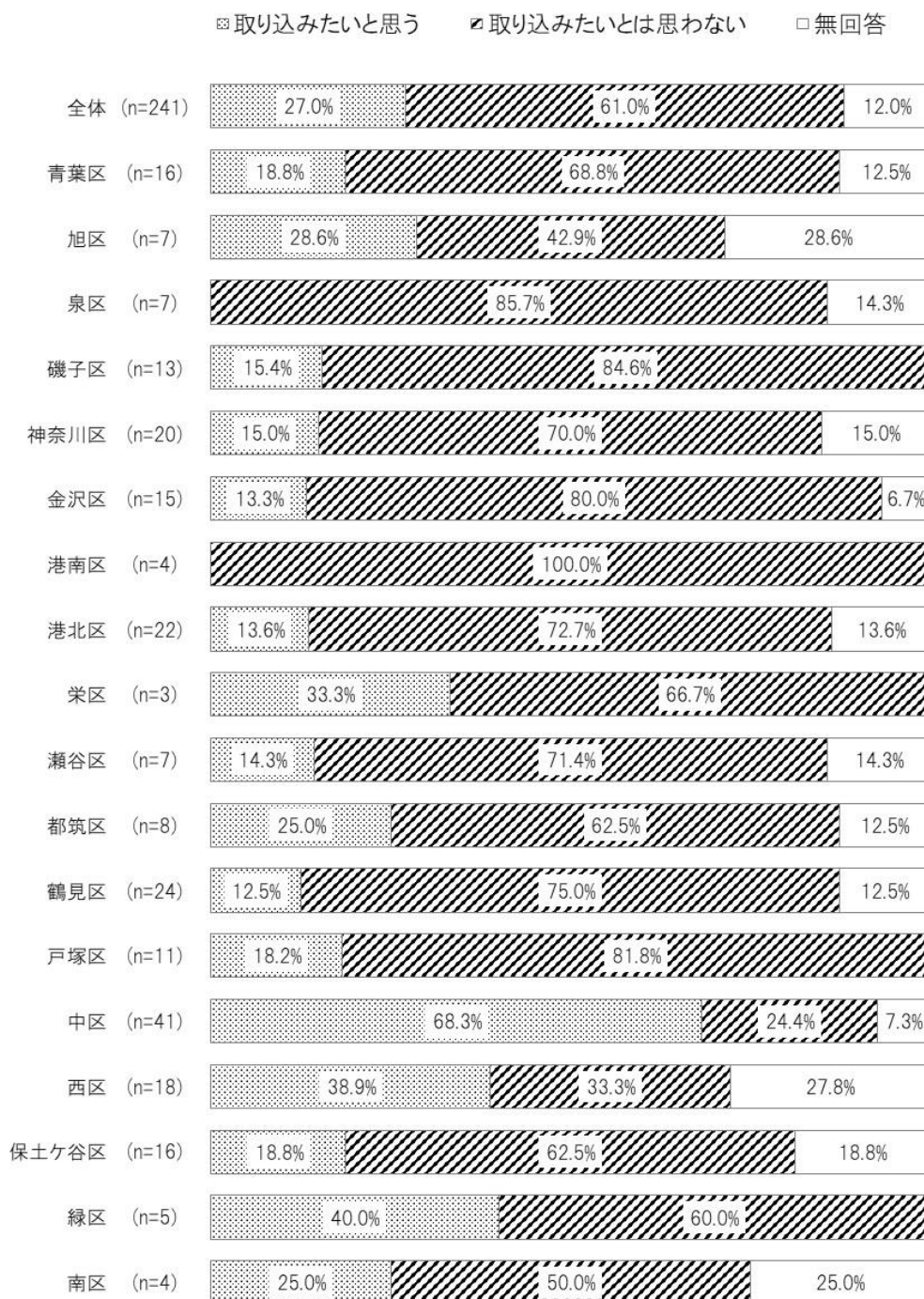
全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249) 平成30年度 (n=231)



図表 2- 134 外国人観光客を来街者として取り込みたいか 経年比較

外国人観光客を来街者として取り込みたいかについて経年で見ると、「取り込みたいと思う」に大きな変化はなく、平成30年度以降、27%前後で推移している。

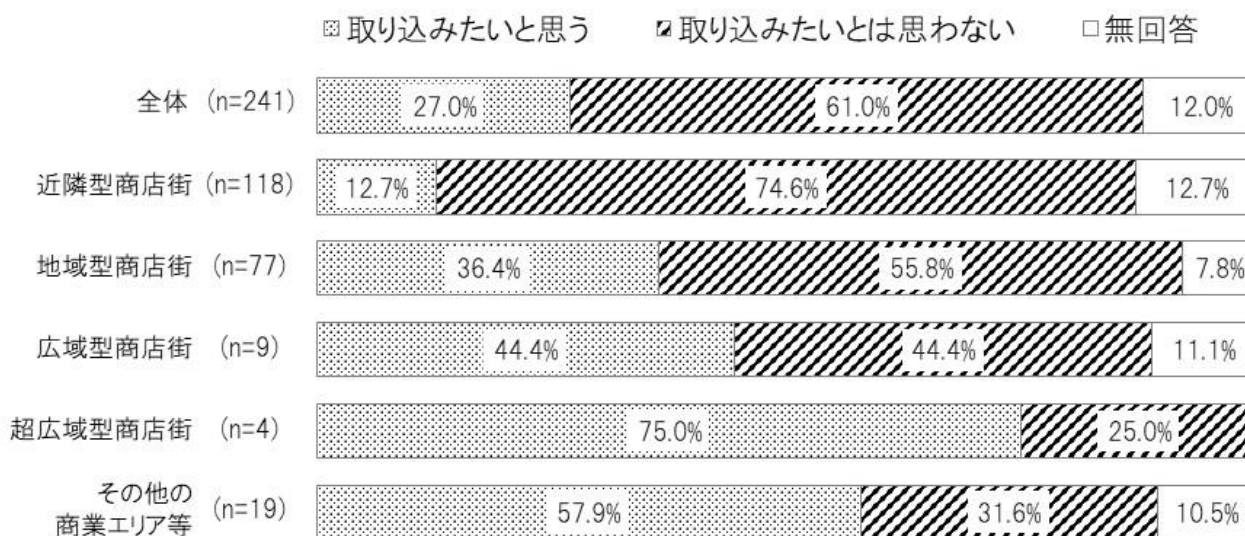
外国人観光客を来街者として取り込みたいか 立地する区別



図表 2- 135 外国人観光客を来街者として取り込みたいか 立地する区別

外国人観光客を来街者として取り込みたいかについて立地する区別で見ると、中区は「取り込みたいと思う」が68.3%を占め、他の区と大きく異なる。また、西区でも「取り込みたいと思う」が38.9%を占め、「取り込みたいとは思わない」の33.3%を上回っている。一方で、磯子区、戸塚区、金沢区、鶴見区、港北区、神奈川区では「取り込みたいとは思わない」が7割以上を占め、高くなっている。

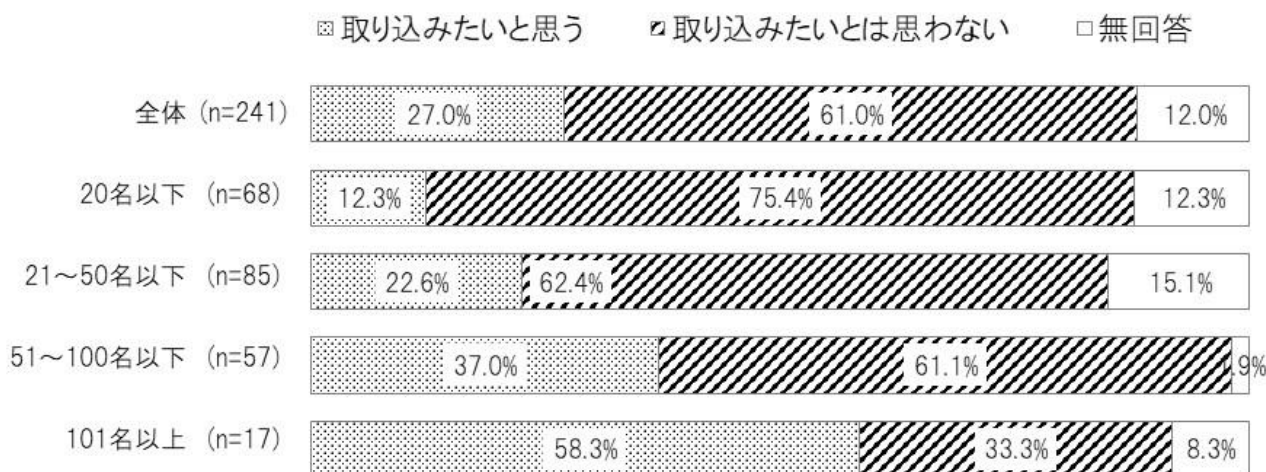
外国人観光客を来街者として取り込みたいか 商店街タイプ別



図表 2- 136 外国人観光客を来街者として取り込みたいか 商店街タイプ別

外国人観光客を来街者として取り込みたいかについて商店街タイプ別で見ると、近隣型商店街では「取り込みたいと思う」が 12.7%にとどまるのに対して、地域型商店街では 36.4%を占める。

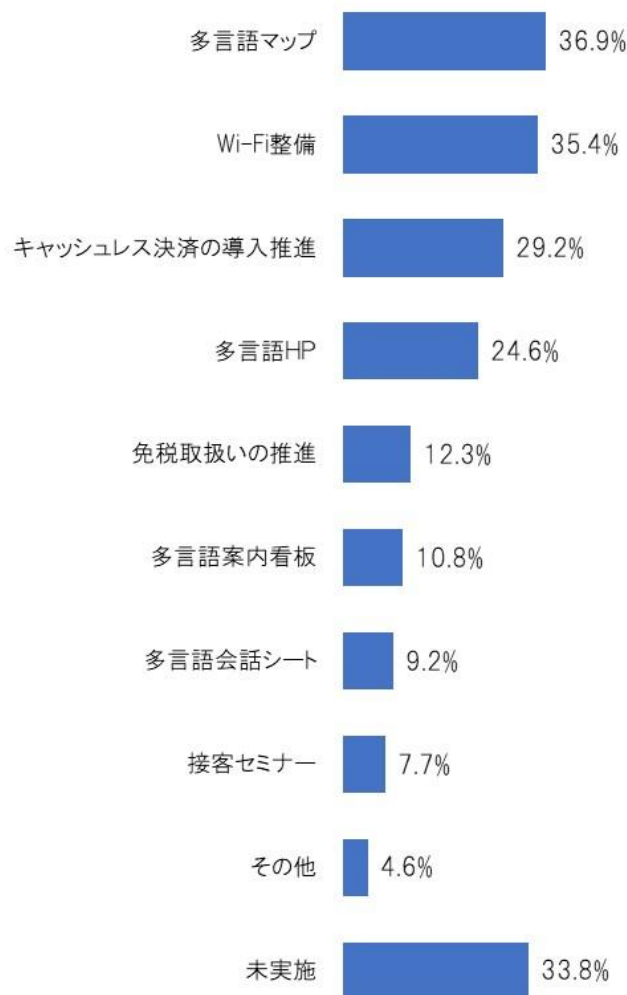
外国人観光客を来街者として取り込みたいか 会員数別



図表 2- 137 外国人観光客を来街者として取り込みたいか 会員数別

外国人観光客を来街者として取り込みたいかについて会員数別で見ると、会員数が多くなるにつれ、「取り込みたいと思う」が高まる傾向がある。20 名以下では「取り込みたいと思う」が 12.3%にとどまるのに対して、51～100 名以下では 37.0%を占める。

問 19-2 貴商店街が現在実施している外国人観光客取り込み策は何ですか。(あてはまるもの全てに○) 外国人観光客を「取り込みたいと思う」商店街 (n= 65)



図表 2- 138 実施している外国人観光客取り込み策

実施している外国人観光客取り込み策について全体で見ると、「多言語マップ」が 36.9%を占めトップ、次いで「Wi-Fi 整備」(35.4%)となっている。一方で、「未実施」も 33.8%を占める。

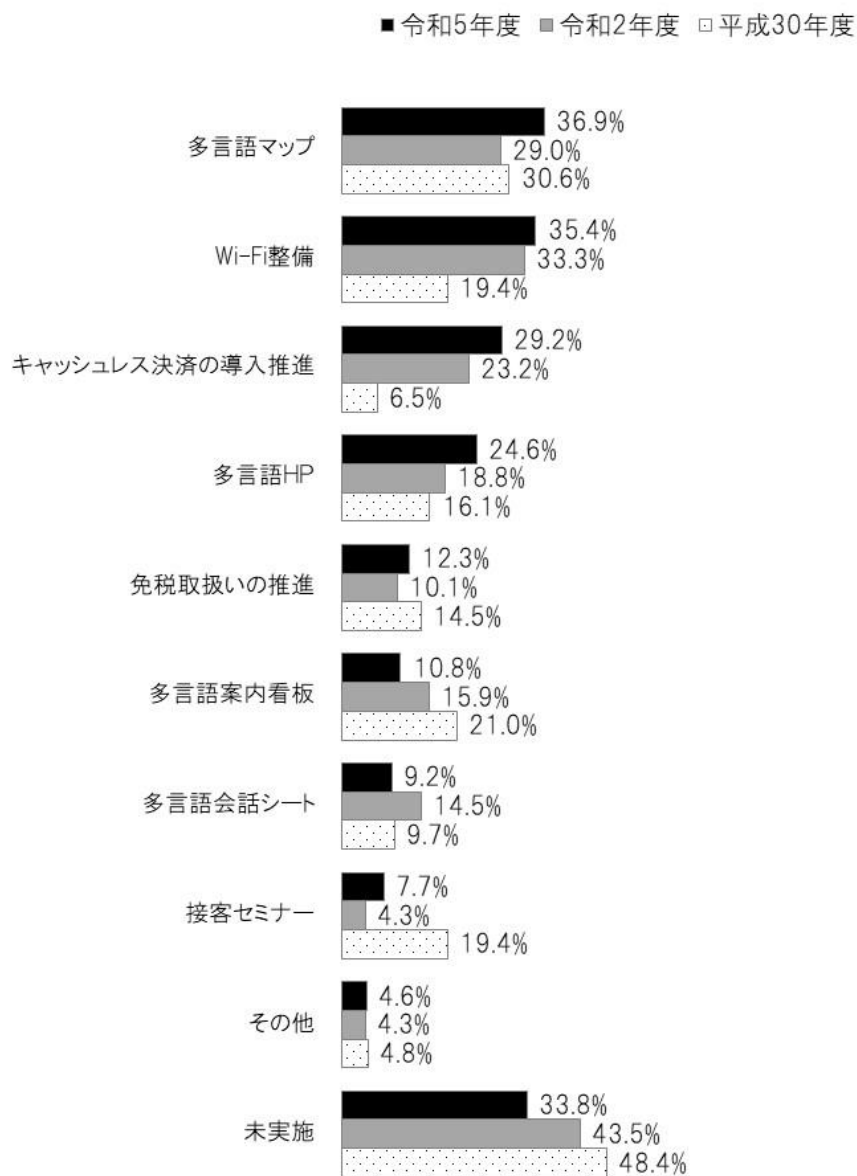
【その他の内容(抜粋)】

- 外国人向けコミュニティ施設／ポケットク導入(試験的)

実施している外国人観光客取り込み策 経年比較

外国人観光客を「取り込みたいと思う」商店街

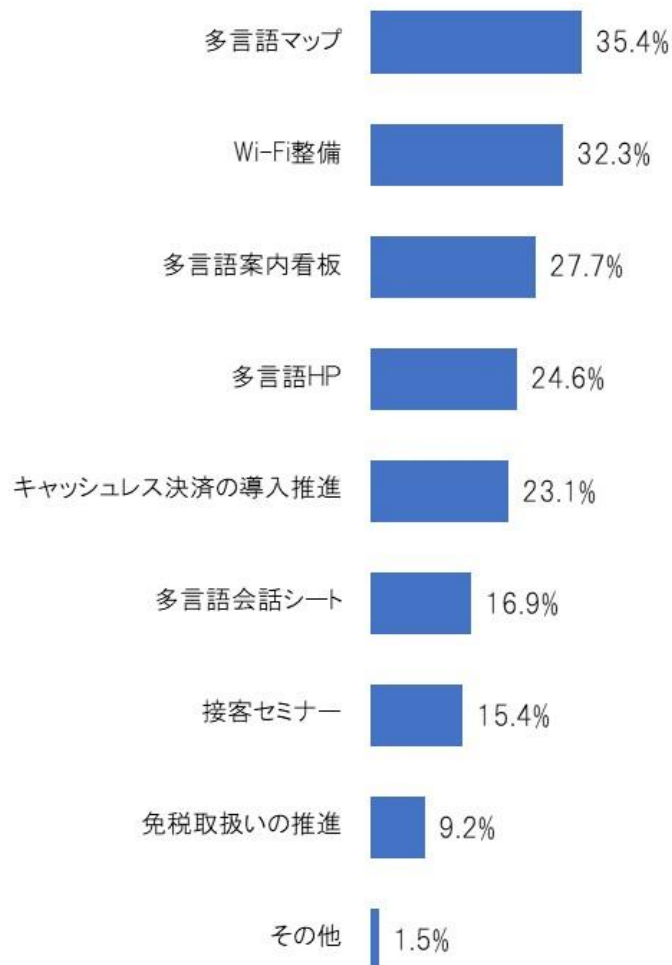
令和5年度 (n=65) 令和2年度 (n=69) 平成30年度 (n=62)



図表 2- 139 実施している外国人観光客取り込み策 経年比較 経年比較

実施している外国人観光客取り込み策について経年で見ると、「多言語マップ」は令和2年度から7.9ポイント上昇しているほか、「キャッシュレス決済の導入推進」も令和2年度から6.0ポイント上昇している。一方で、「未実施」には低下傾向があり、平成30年度以降の5年間で14.6ポイント低下している。

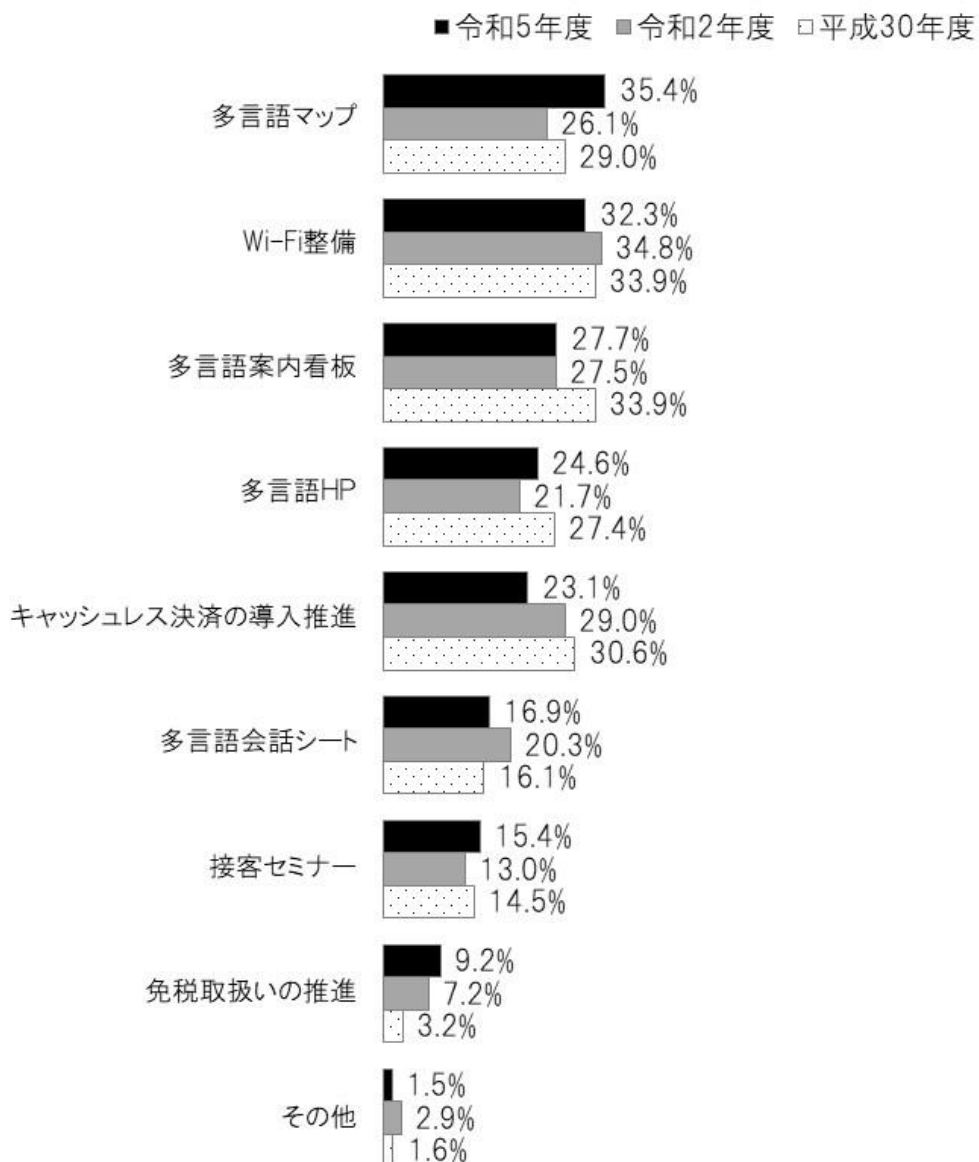
問 19-3 貴商店街が今後取り組みたい事業を上記問 19-2 の中から選び、()内に番号をご記入ください。(3つまで選択) 外国人観光客を「取り込みたいと思う」商店街 (n= 65)



図表 2- 140 今後取り組みたい事業

今後取り組みたい事業について全体で見ると、「多言語マップ」が 35.4%を占めトップ、「Wi-Fi 整備」が 32.3%、「多言語案内看板」が 27.7%で続く。

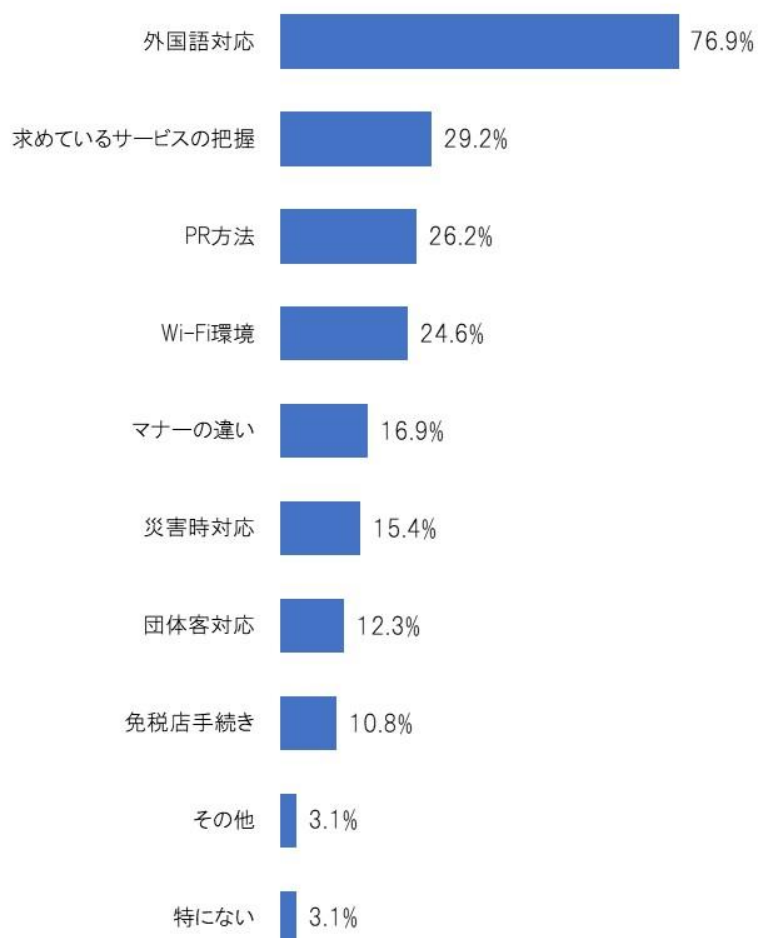
今後取り組みたい事業 経年比較 外国人観光客を「取り込みたいと思う」商店街
 令和5年度 (n=65) 令和2年度 (n=69) 平成30年度 (n=62)



図表 2- 141 今後取り組みたい事業 経年比較

今後取り組みたい事業について経年で見ると、「多言語マップ」は令和2年度から9.3ポイント上昇し、令和5年度は3割超となっている。一方で、「Wi-Fi整備」に大きな変化は見られない。

問 19-4 外国人観光客を取り込む場合、課題は何ですか。(〇は3つまで)
外国人観光客を「取り込みたいと思う」商店街 (n= 65)



図表 2- 142 外国人観光客を取り込む場合の課題

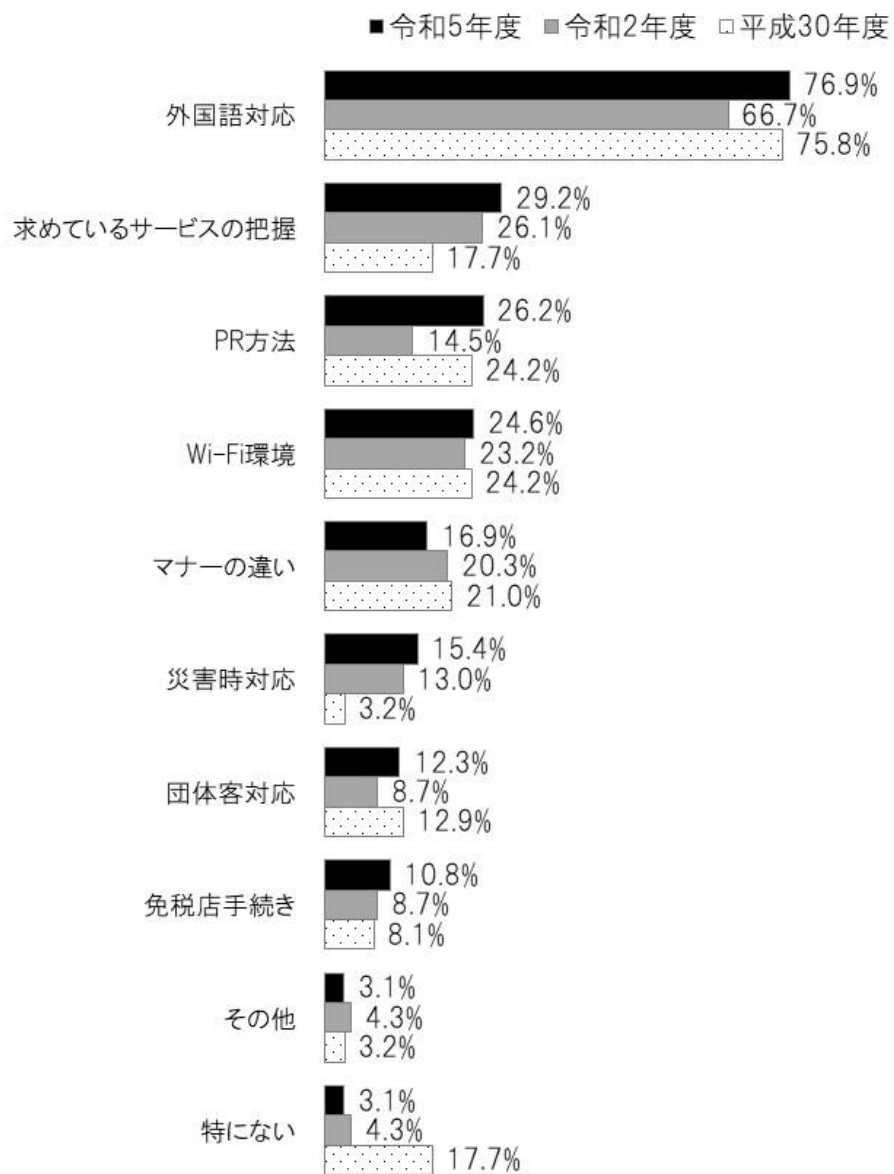
外国人観光客を取り込む場合の課題について全体で見ると、「外国語対応」が76.9%で突出し、次いで「求めているサービスの把握」(29.2%)となっている。

【その他の内容(抜粋)】

- 観光資源／英語でのサポート

外国人観光客を取り込む場合の課題 経年比較 外国人観光客を「取り込みたいと思う」商店街

令和5年度 (n=65) 令和2年度 (n=69) 平成30年度 (n=62)

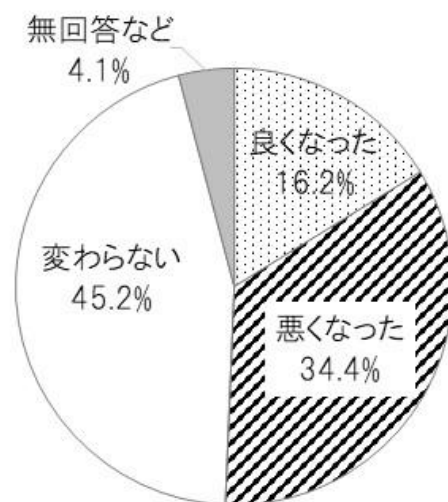


図表 2- 143 外国人観光客を取り込む場合の課題 経年比較

外国人観光客を取り込む場合の課題について経年で見ると、「外国語対応」は令和2年度に平成30年度から9.1ポイント低下したものの、令和5年度に令和2年度から10.2ポイントの上昇があり、平成30年度を上回っている。また、「求めているサービスの把握」には上昇傾向があり、平成30年度以降の5年間で11.5ポイント上昇している。

(8) 商店街の景況感

問 20 昨年と比較して現在の貴商店街の景気はどうなったと感じられますか。(○は1つだけ)
全体 (n=241)

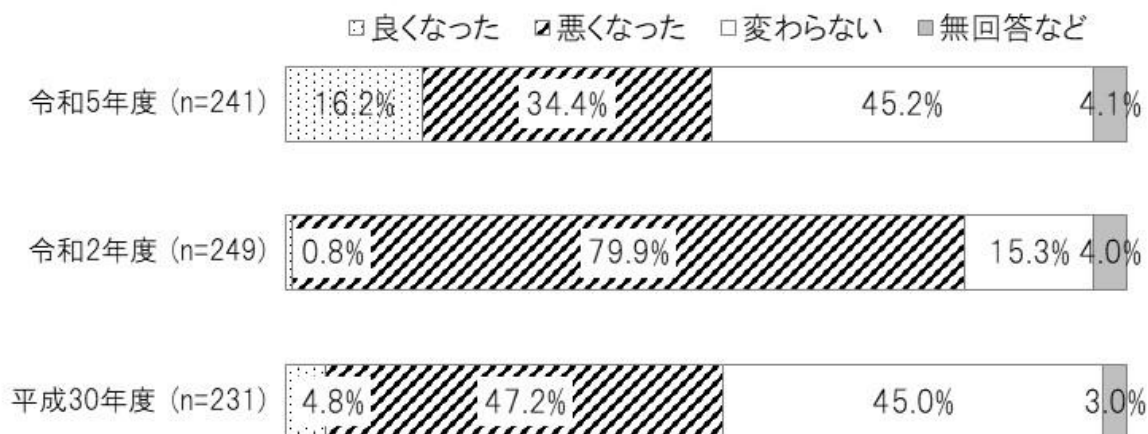


図表 2- 144 現在の商店街の景気

現在の商店街の景気について全体で見ると、「変わらない」が 45.2%を占めるものの、「悪くなった」が 34.4%で「良くなった」の 16.2%を上回っている。

現在の商店街の景気 経年比較

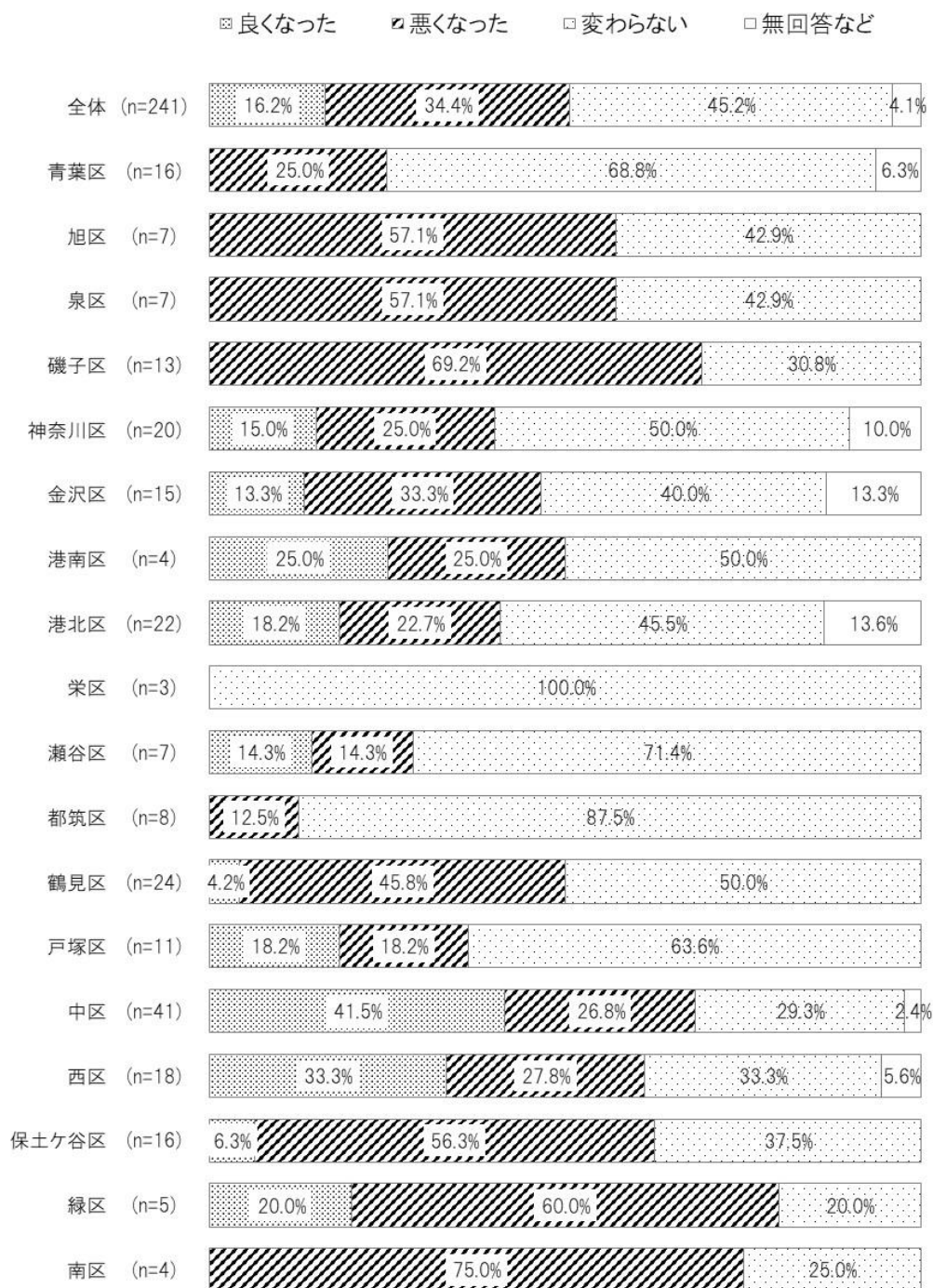
全対象者 令和 5 年度 (n=241) 令和 2 年度 (n=249) 平成 30 年度 (n=231)



図表 2- 145 現在の商店街の景気 経年比較

現在の商店街の景気について経年で見ると、令和 2 年度からの大幅な景気の改善が見られる。「良くなった」は令和 2 年度から 15.4 ポイント上昇、「悪くなった」は 45.5 ポイント低下している。

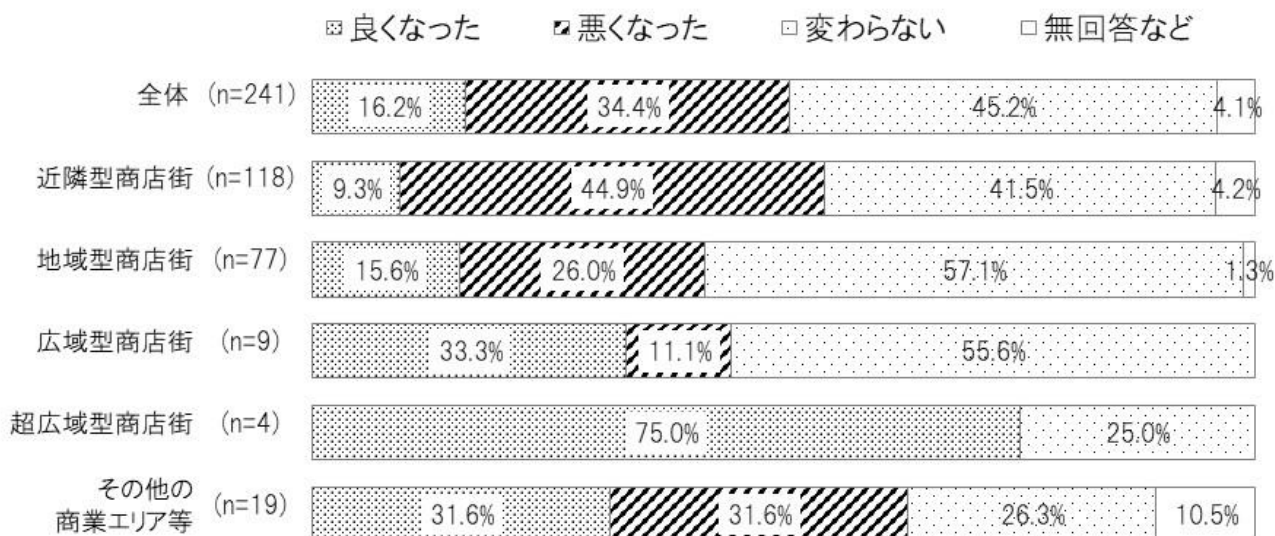
現在の商店街の景気 立地する区別



図表 2- 146 現在の商店街の景気 立地する区別

現在の商店街の景気について立地する区別で見ると、中区では「良くなった」が41.5%、西区では33.3%であるのに対して「悪くなった」は2割台にとどまり、景気の改善が見られる。一方で、磯子区では「悪くなった」が69.2%、保土ヶ谷区では56.3%、鶴見区では45.8%を占め、厳しい状況となっている。

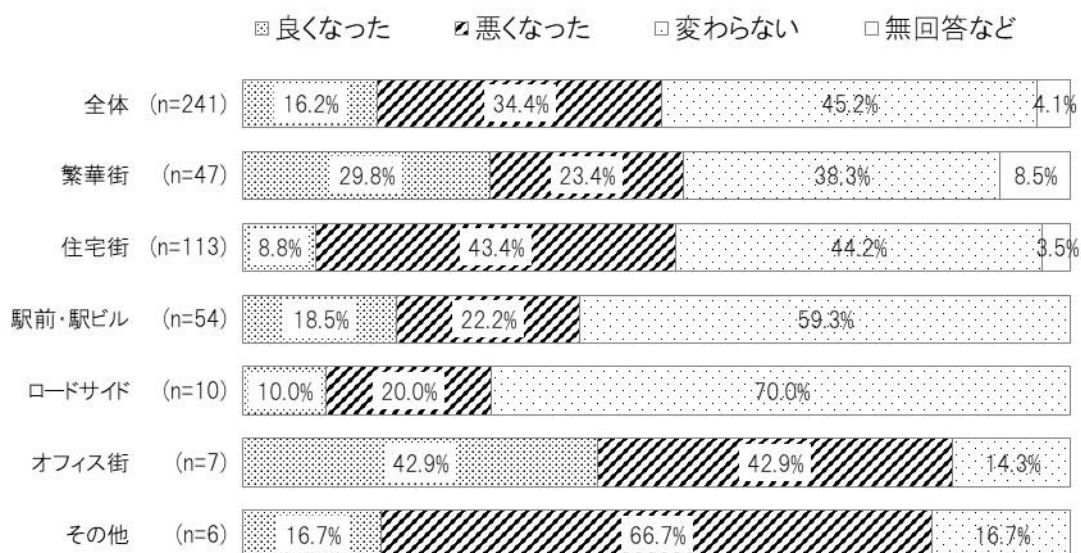
現在の商店街の景気 商店街タイプ別



図表 2- 147 現在の商店街の景気 商店街タイプ別

現在の商店街の景気について商店街タイプ別で見ると、近隣型商店街は「悪くなった」が44.9%を占め、厳しい状況となっている。

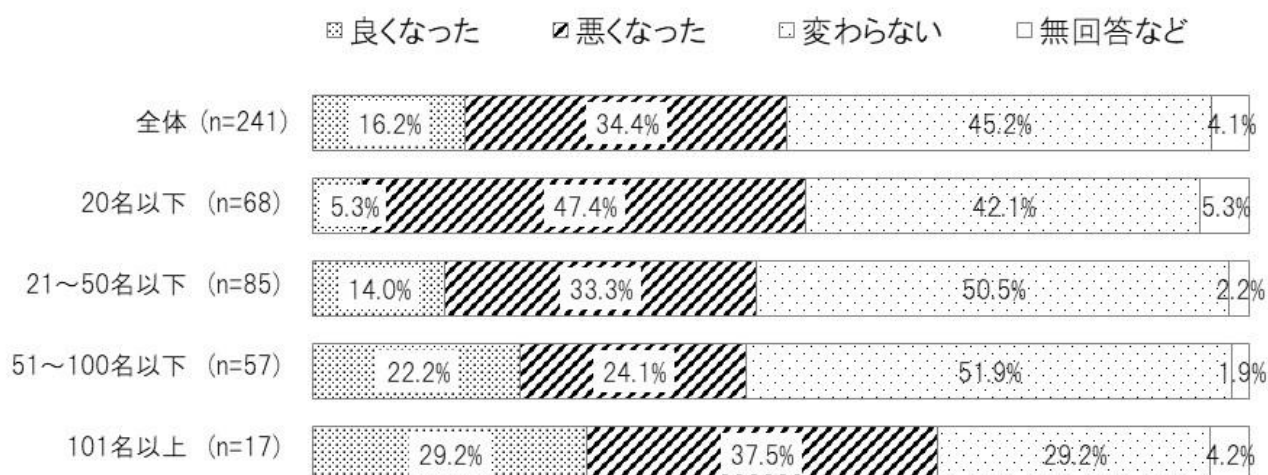
現在の商店街の景気 立地環境別



図表 2- 148 現在の商店街の景気 立地環境別

現在の商店街の景気について立地環境別で見ると、繁華街は「良くなった」が29.8%で「悪くなった」の23.4%を上回っており、景気の改善が見られる。一方で、住宅街は「悪くなった」が43.4%を占め、厳しい状況となっている。

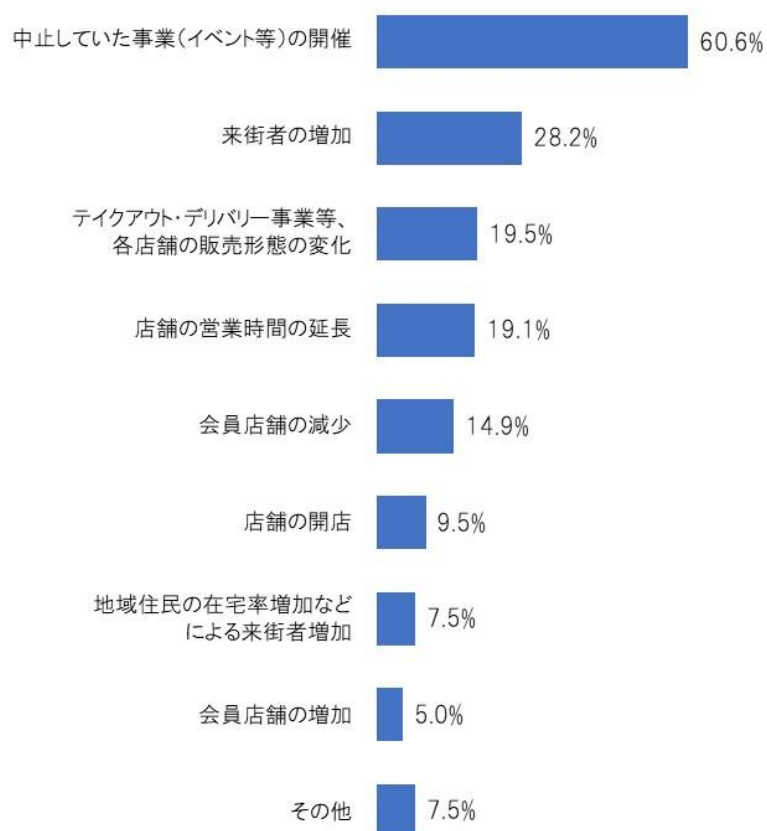
現在の商店街の景気 会員数別



図表 2- 149 現在の商店街の景気 会員数別

現在の商店街の景気について会員数別で見ると、会員数が多くなるにつれ景気の改善が進んでいる傾向がある。20名以下では「良くなった」が5.3%で「悪くなった」の47.4%を大幅に下回っているのに対して、51～100名以下では「良くなった」が22.2%を占め、「悪くなった」の24.1%との差は1.9ポイントにとどまる。

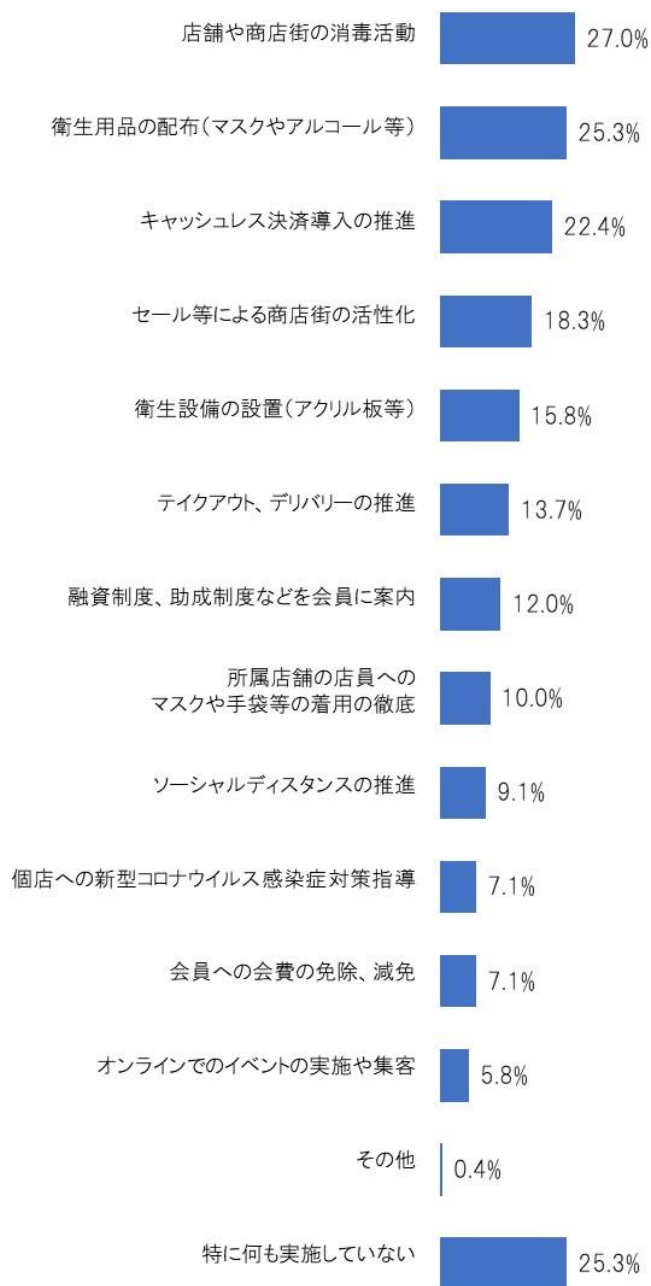
問 21 コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、貴商店街にどのような影響がありましたか。(あてはまるもの全てに○) 全体(n=241)



図表 2- 150 コロナウイルス感染症5類移行の影響

コロナウイルス感染症5類移行の影響について全体で見ると、「中止していた事業(イベント等)の開催」が60.6%を占め、突出している。次いで「来街者の増加」の28.2%となっている。

問 22 コロナ禍で取り組んでいたことで現在も継続して行っていることは何ですか。
 (あてはまるもの全てに○) 全体 (n=241)

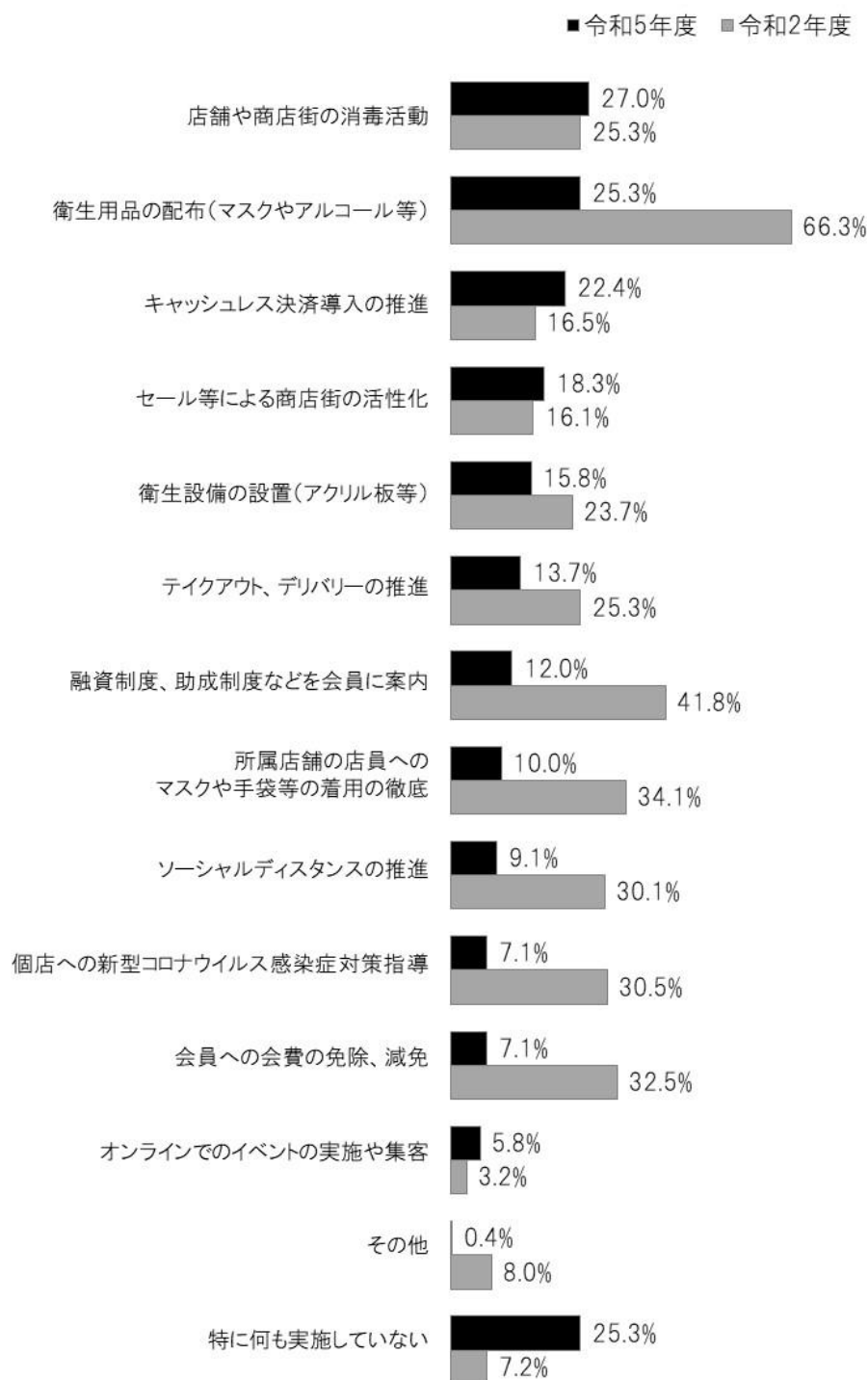


図表 2- 151 コロナ禍の取組で現在も行っていること

コロナ禍の取組で現在も行っていることについて全体で見ると、「店舗や商店街の消毒活動」が 27.0%でトップとなっているほか、「衛生用品の配布(マスクやアルコール等)」(25.3%)、「キャッシュレス決済導入の推進」(22.4%)が上位となっている。一方で、「特に何も実施していない」も 25.3%を占める。

【その他の内容(抜粋)】 衛生用品の配布をしていたが今は中止

コロナ禍の取組で現在も行っていること 経年比較
 全対象者 令和5年度 (n=241) 令和2年度 (n=249)



図表 2- 152 コロナ禍の取組で現在も行っていること 経年比較

コロナ禍の取組で現在も行っていることについて経年で見ると、「衛生用品の配布(マスクやアルコール等)」は令和2年度から41ポイント低下しているのに対して、「キャッシュレス決済導入の推進」は5.9ポイント上昇、「店舗や商店街の消毒活動」は1.7ポイント上昇となっている。

コロナ禍の取組で現在も行っていること 立地する区別 (1)


立地する区別	全体 (n=241)	青葉区 (n=16)	旭区 (n=7)	泉区 (n=7)	磯子区 (n=13)	神奈川区 (n=20)	金沢区 (n=15)
店舗や商店街の消毒活動	27.0%	31.3%	14.3%	42.9%	38.5%	30.0%	26.7%
衛生用品の配布 (マスクやアルコール等)	25.3%	12.5%	28.6%	42.9%	61.5%	35.0%	46.7%
キャッシュレス決済導入の推進	22.4%	18.8%	0.0%	0.0%	7.7%	30.0%	26.7%
セール等による 商店街の活性化	18.3%	12.5%	14.3%	28.6%	15.4%	15.0%	26.7%
衛生設備の設置(アクリル板等)	15.8%	6.3%	14.3%	14.3%	23.1%	15.0%	26.7%
テイクアウト、デリバリーの推進	13.7%	0.0%	14.3%	28.6%	23.1%	10.0%	13.3%
融資制度、助成制度などを 会員に案内	12.0%	6.3%	14.3%	14.3%	7.7%	15.0%	13.3%
所属店舗の店員へのマスクや 手袋等の着用の徹底	10.0%	6.3%	0.0%	14.3%	15.4%	15.0%	13.3%
ソーシャルディスタンスの推進	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	10.0%	13.3%
個店への新型コロナウイルス 感染症対策指導	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	5.0%	0.0%
会員への会費の免除、減免	7.1%	18.8%	0.0%	14.3%	23.1%	5.0%	6.7%
オンラインでのイベントの 実施や集客	5.8%	6.3%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特に何も実施していない	25.3%	25.0%	28.6%	14.3%	23.1%	20.0%	20.0%

 1位の項目

図表 2- 153 コロナ禍の取組で現在も行っていること 立地する区別 (1)

コロナ禍の取組で現在も行っていること 立地する区別 (2)


立地する区別	全体 (n=241)	港南区 (n=4)	港北区 (n=22)	栄区 (n=3)	瀬谷区 (n=7)	都筑区 (n=8)	鶴見区 (n=24)
店舗や商店街の消毒活動	27.0%	0.0%	22.7%	33.3%	0.0%	0.0%	20.8%
衛生用品の配布 (マスクやアルコール等)	25.3%	0.0%	18.2%	66.7%	42.9%	0.0%	12.5%
キャッシュレス決済導入の推進	22.4%	25.0%	22.7%	33.3%	28.6%	37.5%	4.2%
セール等による 商店街の活性化	18.3%	25.0%	22.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
衛生設備の設置(アクリル板等)	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
テイクアウト、デリバリーの推進	13.7%	25.0%	18.2%	0.0%	14.3%	25.0%	0.0%
融資制度、助成制度などを 会員に案内	12.0%	50.0%	9.1%	0.0%	28.6%	12.5%	12.5%
所属店舗の店員へのマスクや 手袋等の着用の徹底	10.0%	0.0%	4.5%	66.7%	14.3%	0.0%	4.2%
ソーシャルディスタンスの推進	9.1%	25.0%	4.5%	0.0%	0.0%	12.5%	16.7%
個店への新型コロナウイルス 感染症対策指導	7.1%	0.0%	4.5%	33.3%	14.3%	0.0%	0.0%
会員への会費の免除、減免	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
オンラインでのイベントの 実施や集客	5.8%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
特に何も実施していない	25.3%	0.0%	31.8%	0.0%	28.6%	50.0%	29.2%

 1位の項目

図表 2- 154 コロナ禍の取組で現在も行っていること 立地する区別 (2)

コロナ禍の取組で現在も行っていること 立地する区別 (3)

立地する区別	全体 (n=241)	戸塚区 (n=11)	中区 (n=41)	西区 (n=18)	保土ヶ谷区 (n=16)	緑区 (n=5)	南区 (n=4)
店舗や商店街の消毒活動	27.0%	18.2%	39.0%	33.3%	18.8%	60.0%	0.0%
衛生用品の配布 (マスクやアルコール等)	25.3%	0.0%	19.5%	27.8%	25.0%	60.0%	0.0%
キャッシュレス決済導入の推進	22.4%	0.0%	39.0%	33.3%	18.8%	40.0%	0.0%
セール等による 商店街の活性化	18.3%	0.0%	22.0%	22.2%	31.3%	20.0%	25.0%
衛生設備の設置(アクリル板等)	15.8%	27.3%	19.5%	22.2%	18.8%	60.0%	25.0%
テイクアウト、デリバリーの推進	13.7%	9.1%	17.1%	33.3%	0.0%	20.0%	0.0%
融資制度、助成制度などを 会員に案内	12.0%	9.1%	17.1%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
所属店舗の店員へのマスクや 手袋等の着用の徹底	10.0%	0.0%	14.6%	0.0%	12.5%	40.0%	0.0%
ソーシャルディスタンスの推進	9.1%	9.1%	9.8%	0.0%	0.0%	20.0%	25.0%
個店への新型コロナウイルス 感染症対策指導	7.1%	9.1%	9.8%	16.7%	0.0%	40.0%	0.0%
会員への会費の免除、減免	7.1%	0.0%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
オンラインでのイベントの 実施や集客	5.8%	27.3%	7.3%	5.6%	6.3%	0.0%	0.0%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特に何も実施していない	25.3%	27.3%	19.5%	22.2%	43.8%	20.0%	25.0%


 1位の項目

図表 2- 155 コロナ禍の取組で現在も行っていること 立地する区別 (3)

コロナ禍の取組で現在も行っていることについて立地する区別で見ると、中区では「店舗や商店街の消毒活動」、「キャッシュレス決済導入の推進」が39.0%を占める。一方で、保土ヶ谷区では「特に何も実施していない」が43.8%、港北区、鶴見区では3割前後と高くなっている。

コロナ禍の取組で現在も行っていること 組織形態別

組織形態別	全体 (n=241)	振興組合 (n=14)	協同組合 (n=37)	一般社団法人 (n=5)	任意団体 (n=170)	その他 (n=9)
店舗や商店街の消毒活動	27.0%	14.3%	32.4%	40.0%	26.5%	33.3%
衛生用品の配布 (マスクやアルコール等)	25.3%	7.1%	27.0%	20.0%	26.5%	33.3%
キャッシュレス決済導入の推進	22.4%	42.9%	29.7%	20.0%	19.4%	22.2%
セール等による 商店街の活性化	18.3%	14.3%	32.4%	0.0%	17.1%	0.0%
衛生設備の設置(アクリル板等)	15.8%	21.4%	13.5%	20.0%	14.1%	33.3%
テイクアウト、デリバリーの推進	13.7%	21.4%	8.1%	40.0%	13.5%	22.2%
融資制度、助成制度などを 会員に案内	12.0%	21.4%	8.1%	20.0%	12.4%	0.0%
所属店舗の店員へのマスクや 手袋等の着用の徹底	10.0%	0.0%	10.8%	40.0%	10.0%	11.1%
ソーシャルディスタンスの推進	9.1%	7.1%	10.8%	20.0%	9.4%	0.0%
個店への新型コロナウイルス 感染症対策指導	7.1%	7.1%	5.4%	0.0%	7.1%	22.2%
会員への会費の免除、減免	7.1%	21.4%	5.4%	40.0%	5.3%	0.0%
オンラインでのイベントの 実施や集客	5.8%	0.0%	2.7%	20.0%	6.5%	11.1%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
特に何も実施していない	25.3%	14.3%	16.2%	0.0%	30.0%	0.0%


 1位の項目

図表 2- 156 コロナ禍の取組で現在も行っていること 組織形態別

コロナ禍の取組で現在も行っていることについて組織形態別で見ると、協同組合では「店舗や商店街の消毒活動」、「セール等による商店街の活性化」が 32.4%を占めるほか、振興組合では「キャッシュレス決済導入の推進」が 42.9%と高くなっている。一方で、任意団体では「特に何も実施していない」が 30.0%と高くなっている。

コロナ禍の取組で現在も行っていること 会員数別

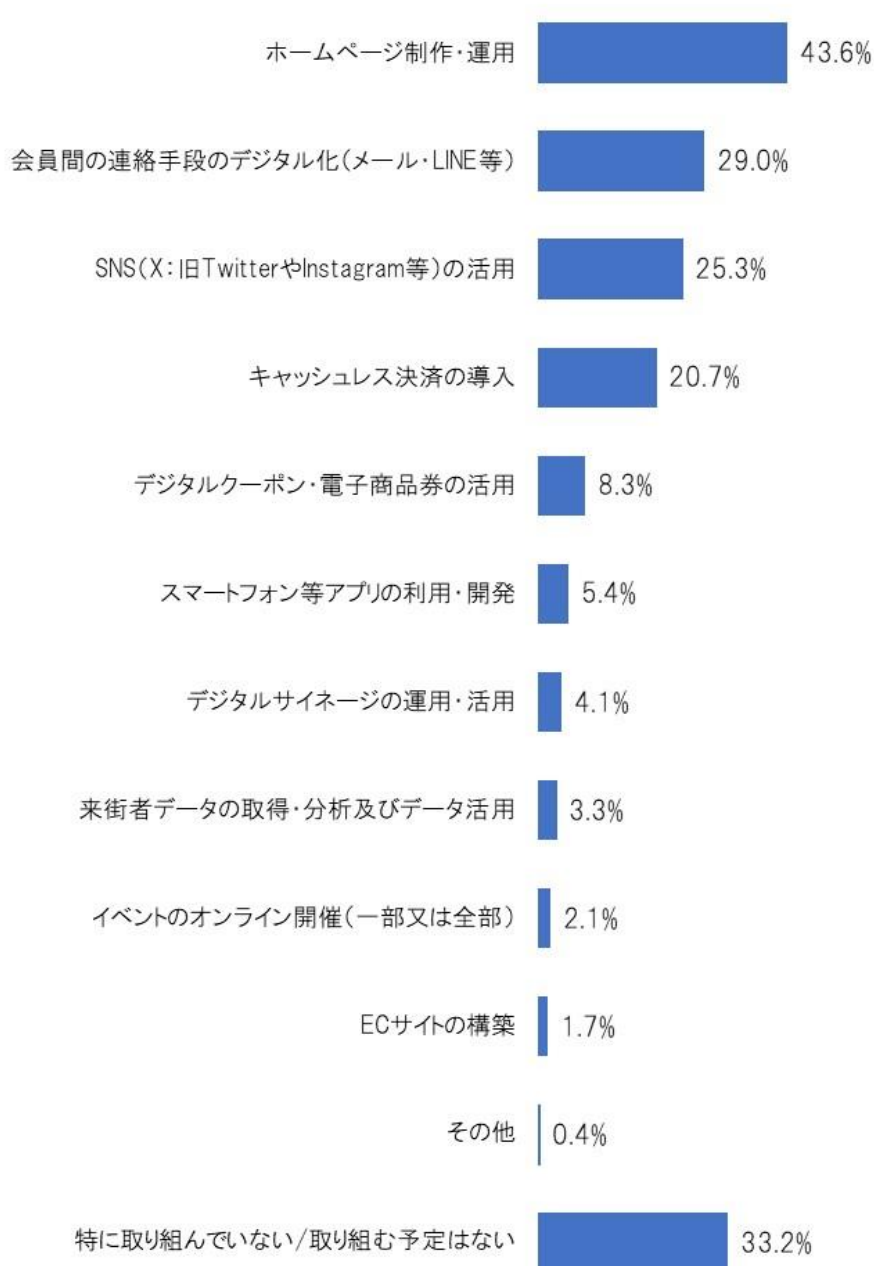
会員数別	全体 (n=241)	20名以下 (n=68)	21～50名以下 (n=85)	51～100名以下 (n=57)	101名以上 (n=17)
店舗や商店街の消毒活動	27.0%	26.3%	26.9%	29.6%	29.2%
衛生用品の配布 (マスクやアルコール等)	25.3%	31.6%	23.7%	24.1%	20.8%
キャッシュレス決済導入の推進	22.4%	15.8%	18.3%	24.1%	41.7%
セール等による 商店街の活性化	18.3%	8.8%	21.5%	16.7%	33.3%
衛生設備の設置(アクリル板等)	15.8%	22.8%	14.0%	9.3%	20.8%
テイクアウト、デリバリーの推進	13.7%	12.3%	16.1%	5.6%	20.8%
融資制度、助成制度などを 会員に案内	12.0%	8.8%	10.8%	11.1%	29.2%
所属店舗の店員へのマスクや 手袋等の着用の徹底	10.0%	17.5%	9.7%	3.7%	12.5%
ソーシャルディスタンスの推進	9.1%	3.5%	14.0%	3.7%	20.8%
個店への新型コロナウイルス 感染症対策指導	7.1%	7.0%	7.5%	3.7%	12.5%
会員への会費の免除、減免	7.1%	8.8%	7.5%	3.7%	12.5%
オンラインでのイベントの 実施や集客	5.8%	0.0%	7.5%	5.6%	16.7%
その他	0.4%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
特に何も実施していない	25.3%	24.6%	25.8%	27.8%	20.8%

 1位の項目

図表 2- 157 コロナ禍の取組で現在も行っていること 会員数別

コロナ禍の取組で現在も行っていることについて会員数別で見ると、「キャッシュレス決済導入の推進」は会員数が多くなるにつれ行っている割合が高まる傾向がある。20名以下では15.8%にとどまるのに対して、51～100名以下では24.1%を占める。「衛生設備の設置(アクリル板等)」、「所属店舗の店員へのマスクや手袋等の着用の徹底」については会員数が多くなるにつれ行っている割合が低くなる傾向があり、51～100名以下では1割に満たないのに対して、20名以下ではいずれも2割前後となっている。21～50名以下では、「セール等による商店街の活性化」(21.5%)、「テイクアウト、デリバリーの推進」(16.1%)が高くなっている。

問 23 デジタル化の推進のために、商店会で現在取り組んでいることは何ですか。
 (あてはまるもの全てに○) 全体 (n=241)



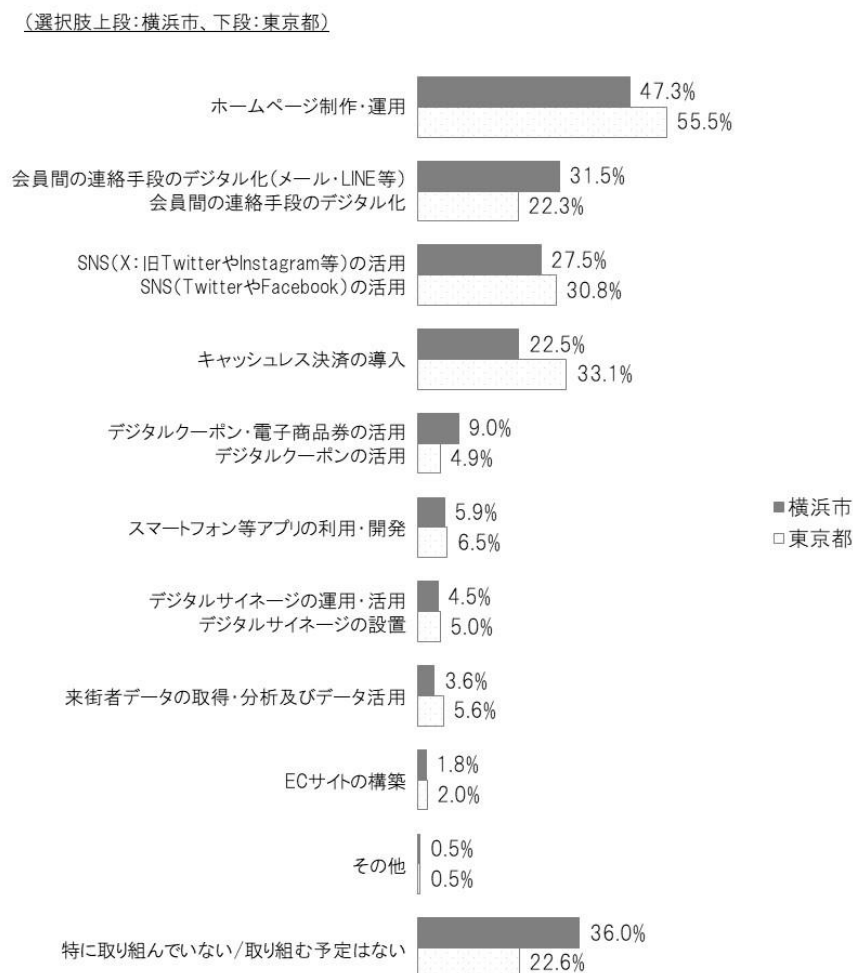
図表 2- 158 デジタル化の推進のために現在取り組んでいること

デジタル化の推進のために現在取り組んでいることについて全体で見ると、「ホームページ制作・運用」が43.6%を占めトップとなっているほか、「会員間の連絡手段のデジタル化(メール・LINE等)」(29.0%)、「SNS(X:旧TwitterやInstagram等)の活用」(25.3%)、「キャッシュレス決済の導入」(20.7%)が上位となっている。一方で、「特に取り組んでいない/取り組む予定はない」も33.2%を占める。

デジタル化の推進 - 東京都内商店街との比較

デジタル化の推進について、横浜市と東京都内の商店街に違いがあるかを見るために、東京都産業労働局公表の「令和4年度東京都商店街実態調査(*)」の結果を利用して、本調査との比較を行った。

横浜市 全体 (n=222)、東京都 全体 (n=753) ※横浜市、東京都ともに無回答者を除く



※「イベントのオンライン開催(一部又は全部)」は対応する項目がないため掲載していない

図表 2- 159 デジタル化の推進 - 東京都内商店街との比較

東京都の商店街は横浜市よりもデジタル化の推進が浸透している。「ホームページ制作・運用」、「会員間の連絡手段のデジタル化」、「SNSの活用」、「キャッシュレス決済の導入」は東京都でも上位の取組みである。「キャッシュレス決済の導入」、「ホームページ制作・運用」においては、横浜市は東京都を10ポイント前後下回っているほか、「特に取り組んでいない/取り組む予定はない」では、横浜市が東京都を10ポイント以上、上回っている。

(*)令和4年度東京都商店街実態調査:東京都内の全商店街(2,374 商店街 令和4年 10 月現在)を対象として、令和4年 10 月～令和5年 1 月に郵送配布・郵送回収で実施。回収数は 1,349 件(回収率:60.5%)。

報告書:https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/toukei/chushou/ef30f8c14fa5590ce238bb19480d2dd7_1.pdf

第3章 まとめ

(1) 商店街の形態

商店街は「住宅街」に立地する「近隣型」が多く、組織の代表者、役員はともに60代以上が過半数を占める。「任意団体」での運営がほとんどで、加盟率は減少している。

- 商店街のタイプで多く見られるものは全体の49.0%を占める「近隣型商店街」、32.0%を占める「地域型商店街」である。立地環境で見ると、46.9%を占める「住宅街」が最も高い。組織形態で見ると「任意団体」が70.5%と突出している。
- 来街してほしいターゲット層の中心は「主婦・主夫」、「親と子(2世代)」、「夫婦・カップル」となっている。
- 商店街代表者の年齢については「70代以上」が37.3%を占め、60代以上が6割超となっている。役員の年齢構成については「70代以上の平均割合」が31.4%、「60代の平均割合」が22.1%を占め、60代以上の平均割合が過半数となっている。
- 役員の年齢構成について立地する区別で見ると、神奈川区、鶴見区では70歳以上の平均割合が半数前後と高く、60代以上が6割超であるのに対して、戸塚区、青葉区、西区、中区では30～50代が過半数を占めている。
- 会員総数について全体で見ると、「21～50名以下」が38.6%を占め、最も高い。経年で見ると、会員総数に大きな変化は見られない。
- 会員総数について立地する区別で見ると、中区は「101名以上」が17.1%を占め、青葉区、磯子区、神奈川区、鶴見区、保土ヶ谷区等より会員数が大規模な商店街が多い。一方、磯子区では「50名以下」が92.3%、鶴見区では75.0%、保土ヶ谷区では62.5%を占め、より会員数が小～中規模の商店街が中心となっている。
- 加盟率の変化について全体で見ると、「減少した」が45.6%を占め、「増加した」の14.1%を大幅に上回っている。経年では、「増加した」は令和2年度から7.6ポイント低下しているのに対して、「減少した」は令和2年度から4.2ポイント上昇している。
- 加盟率の変化について立地する区別で見ると、戸塚区では「増加した」が45.5%、金沢区、青葉区、保土ヶ谷区、中区では2割前後を占める。一方で、鶴見区では「減少した」が70.8%を占め、ほとんどの区を上回っている。

(2) 商店街の構成業種と不足業種

ほとんどの商店街には「理容室・美容室」、もしくは、「飲食店(食事)」があり、店舗数では「飲食店(食事)」が中心。商店街が主に不足していると感じている業種は「鮮魚」、「精肉」、「青果」であるのに対して、消費者は「パン・ベーカリー」、「飲食店(喫茶・ファストフード)」、「書籍・文具」の開店・増加を望んでいる。

- 「理容室・美容室」を有する商店街は79.3%、「飲食店(食事)」は78.4%を占め、経年で見ても大きな変化は見られない。一方、平成30年度以降上昇が大きい業種は「保育施設・学童・子育て

支援施設」、「エステ・整体」、低下が大きい業種は「日用雑貨・身のまわり品」、「衣料品」、「精肉」となっている。店舗数では、飲食店(食事)が23.4%を占め、突出している。

- 商店街が不足していると感じている業種・業態は、「鮮魚」、「精肉」、「青果」が2割前後で上位となっている。
- 経年で見ると、「鮮魚」、「精肉」は令和2年度から6ポイント前後の低下となっている。一方、令和2年度から約5~6ポイントの上昇が見られるものは、「飲食店(食事)」、「日用雑貨・身のまわり品」、「飲食店(喫茶・ファストフード)」となっている。
- 消費者が開店・増加を望む業種と比較すると、商店街が特に不足を感じている「鮮魚」、「精肉」、「青果」については、消費者の希望がそれほど強くない。逆に消費者が開店・増加を望む「パン・ベーカリー」、「飲食店(喫茶・ファストフード)」、「書籍・文具」については、商店街はそれほど不足を感じておらず、商店街と消費者の間にギャップがある。

(3) 商店街の活動

商店街の活動の中心は「街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理」、「地域交流イベントの開催(祭り等)」、「防犯・防災活動」。今後取り組みたい活動に目立ったものは無く、活動領域が広がる様子は見られない。

- 「街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理」、「地域交流イベントの開催(祭り等)」、「防犯・防災活動」は6割前後の商店街が行う中心的な活動となっている。
- 経年で見ると、「街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理」、「地域交流イベントの開催(祭り等)」に大きな変化は見られないが、「青年部の組織化などの担い手づくり」、「中元・歳末期セール(福引等)」、「セール(中元・歳末期以外)」は平成30年度以降の5年間で約7~8ポイントの低下となっている。
- 今後取り組みたいと考えている活動について全体で見ると、突出して高いものはなく、トップの「ポイントカード・スタンプの発行」、「青年部の組織化などの担い手づくり」でも10.8%にとどまる。

(4) 会員の参加状況と悩み

商店街組織に積極的に参加する会員が減少傾向にあり、「商店街活動を担う人材の不足」や「売上・来街者の減少」が主な悩みとなっている。この状況に対して、「新たな補助金、助成金」や「街路灯、アーケード等の補修に対する支援・助成金」、「地域の活性化」が期待されている。

- 積極的に参加する会員の状況については「減った」(29.9%)が「増えた」(17.4%)を上回っている
- 経年で見ると、平成30年度以降の5年間で「増えた」は2.7ポイント上昇しているものの、「減った」の上昇は4.4ポイントと大きく、結果として積極的に参加する会員は減っている。
- 立地する区別で見ると、金沢区では「増えた」が46.7%を占め「減った」の13.3%を上回っているのに対して、鶴見区、港北区では「増えた」が1割未満にとどまる中で、「減った」が4~5割を占め、積極的に参加する会員の減少が大きい。
- 現在の悩みについては、「売上・来街者の減少」、「商店街活動を担う人材の不足」が4割超で上

位となっている。

- 現在の悩みについて平成 30 年度以降の変化を見ると、「魅力ある店舗の不足」(11.1 ポイント低下)、「経営者の高齢化」(8.0 ポイント低下)等、悩みが弱まっているものがある一方で、空き店舗・空き地の増加」(6.3 ポイント上昇)、「商店街活動を担う人材の不足」(4.7 ポイント上昇)には上昇が見られる。
- 現在の悩みについて立地する区別で見ると、磯子区、金沢区、保土ヶ谷区、神奈川区では「売上・来街者の減少」、青葉区、港北区では「商店街活動を担う人材の不足」、鶴見区では「経営者の高齢化」が半数以上で高くなっている。
- 充実してほしい支援策については、「新たな補助金、助成金」が 4 割超、「地域の活性化」、「街路灯、アーケード等の補修に対する支援・助成金」が 3 割前後で上位となっている。
- 地域における課題については、「商店街・繁華街の衰退」、「少子高齢化」、「自治組織や地域活動の担い手不足」が 4 割超で上位となっている。「少子高齢化」、「自治組織や地域活動の担い手不足」には、令和 2 年度から 10 ポイント前後の上昇が見られる。

(5) 空き店舗の状況

空き店舗を 1 店舗以上抱える商店街の割合は約 6 割を占め、平成30年度以降上昇が続く。業種で多いのは「飲食店(食事)」であり、主な理由は約 2 割を占める「経営者の高齢化・後継者の不在」、約 1 割を占める「経営状態の悪化」である。空き店舗になった時期は「3 年以上前」が約 3 割を占め、家主が貸す意思を継続しにくい原因となりうる。

- 空き店舗数については、「1 店舗以上(「1 店舗」～「10 店舗以上」の合計値)」で見ると約 6 割、「2 店舗以上(「2～3 店舗」～「10 店舗以上」の合計値)」でもほぼ半数となり、空き店舗を抱える商店街は少なくない。また、平成 30 年度と比較すると、「1 店舗以上」で見ると平成 30 年度以降の 5 年間で 4 ポイント上昇している。
- 空き店舗数について立地する区別で見ると、磯子区、保土ヶ谷区、鶴見区は「1 店舗以上」が約 7～8 割と高くなっている。
- 閉店前の業種で最も高いのは、約 1 割を占める「飲食店(食事)」である。経年で見ると、令和 2 年度から大きな変化は見られない。
- 空き店舗となった時期については、「3年以上前」が 28.8%、「1年以内」が 18.4%を占める。
- 閉店の理由については、「経営者の高齢化・後継者の不在」が約 2 割、「経営状態の悪化(売上の減少・大型店との競争激化・家賃負担が大きい等)」が約 1 割で上位となっている。
- 閉店の理由について令和 2 年度からの変化を見ると、「経営者の高齢化・後継者の不在」は大きく変わらず、「経営状態の悪化(売上の減少・大型店との競争激化・家賃負担が大きい等)」は 5.6 ポイントの低下となっている。
- 家主の意思については、「貸す意思がある」は令和 2 年度から 4.8 ポイント低下しているものの、22.6%を占め、「貸す意思がない」の 7.3%を上回っている。空き店舗となった時期との関係を見ると、1 年以内の場合、「貸す意思がある」は半数を占めるのに対して、3 年以上前の場合、28.4%にとどまる。

- 空き店舗が埋まらない理由については、「積極的な募集をしていない(当面、空き店舗のままで困らない)」、「開業希望者が見つからない」、「家賃が高い」が3割超で上位となっている。

(6) 施設の所有と保全・維持管理

約7割の商店街が施設(街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ))を保有している。主な課題は「保全・維持管理の費用の負担」である。

- 街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)の所有については、「街路灯を所有している」は約6割、「アーケードを所有している」、「アーチ(片アーチ)を所有している」は1割前後を占める。一方で、「いずれも所有していない」は2割台となっている。
- 施設の保全・維持管理における課題については、「保全・維持管理の費用の負担が大きい」が約半数を占めトップであり、経年で見ると、令和2年度から11.1ポイント上昇している。「中・長期的な修繕計画がない」も約3割で上位となっており、平成30年度以降の5年間で9ポイントの上昇が見られる。
- 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策していることについて、施設の保全・維持管理に何らかの課題がある商店街で見ると、「修繕・改修・建て替え」が約4割、「調査・点検、修繕計画策定の外部委託」が約3割で上位。一方で、「現在、具体的な検討・対策はしていない」も約3割を占める。
- 施設の保全・維持管理の課題について検討・対策をしていない理由について具体的な検討・対策はしていない商店街全体で見ると、「課題に緊急性がない」が59.4%で突出している。

(7) 来街者の状況と外国人観光客への対応

来街者数は令和2年度から改善している。一方で、外国人観光客の取り込みについては多くの商店街が消極的。コミュニケーションが主な課題となっている。

- 来街者数の変化については、「減少した」が36.5%で「増加した」の16.6%を上回っているものの、令和2年度から「増加した」が13.8ポイント上昇しているうえ、「減少した」が26.6ポイント低下し、改善が見られる。
- 来街者数の変化を立地する区別で見ると、西区、中区では、「増加した」が「減少した」を上回り、改善が見られるのに対して、鶴見区では「減少した」が62.5%、磯子区では53.8%、保土ヶ谷区では43.8%を占め、状況が厳しい。
- 外国人観光客への対応については、来街者として「取り込みたいとは思わない」が61.0%を占め、「取り込みたいと思う」は27.0%にとどまる。
- 来街者としての取り込みについて立地する区別で見ると、中区は「取り込みたいと思う」が68.3%を占めるのに対して、磯子区、戸塚区、金沢区、鶴見区、港北区、神奈川区では「取り込みたいとは思わない」が7割以上と高くなっている。
- 実施している外国人観光客取り込み策については、「多言語マップ」、「Wi-Fi整備」が3割超で上位。一方、「未実施」も3割超となっている。

- 今後取り組みたい事業についても、「多言語マップ」、「Wi-Fi 整備」は 3 割超で上位となっている。
- 外国人観光客を取り込む場合の課題はコミュニケーションに関連するものが主要となっており、「外国語対応」が 7 割超で突出し、「求めているサービスの把握」が約 3 割で続く。

(8) 商店街の景況感

商店街の景気は「中止していた事業(イベント等)の開催」等もあり、令和 2 年度から大幅に改善している。

- 現在の商店街の景気については、「悪くなった」が 34.4%で「良くなった」の 16.2%を上回っているものの、令和 2 年度から「良くなった」が 15.4 ポイント上昇しているうえ、「悪くなった」が 45.5 ポイント低下し大幅な改善が見られる。
- 現在の商店街の景気について立地する区別で見ると、中区、西区では「良くなった」が「悪くなった」を上回り、改善が見られるのに対して、磯子区では「悪くなった」が 69.2%、保土ヶ谷区では 56.3%、鶴見区では 45.8%を占め、状況が厳しい。
- コロナウイルス感染症5類移行の影響については、「中止していた事業(イベント等)の開催」が 60.6%を占め、突出している。
- コロナ禍の取組で現在も行っていることについては、「店舗や商店街の消毒活動」、「衛生用品の配布(マスクやアルコール等)」、「キャッシュレス決済導入の推進」が 2 割超で上位。一方で、「特に何も実施していない」も 2 割超となっている。
- デジタル化の推進のために現在取り組んでいることについては、「ホームページ制作・運用」が 4 割超を占めトップ。次いで、約 3 割を占める「会員間の連絡手段のデジタル化(メール・LINE 等)」、「SNS(X:旧 Twitter や Instagram 等)の活用」となっている。
- 東京都の商店街におけるデジタル化の推進状況と比較すると、東京都の商店街は横浜市よりもデジタル化の推進が浸透している。「ホームページ制作・運用」、「会員間の連絡手段のデジタル化」、「SNS の活用」、「キャッシュレス決済の導入」は東京都でも上位の取組であり、「キャッシュレス決済の導入」、「ホームページ制作・運用」において、横浜市の商店街は東京都を 10 ポイント前後下回っている。また、「特に取り組んでいない/取り組む予定はない」では、横浜市が東京都を 10 ポイント以上、上回っている。

参考資料

資料 1. 調査票

令和 5 年度 横浜市商店街実態調査 調査票

※ ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて 11月1日（水） までにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

※ 調査票の記入事項につきましては、秘密を厳守して商業振興施策の検討目的以外には使用いたしません。是非、ご協力をお願いいたします。

はじめに、貴商店街の名称、ご連絡先等をご記入ください。

- 商店街名 (_____)
- 商店街が立地する区・町名 (_____)
- ご回答者役職・氏名 (_____)
- 連絡先（電話番号） (_____)
- メールアドレス (_____)

問1 貴商店街のタイプは次の5つのうち、いずれに該当しますか。(○は1つだけ)

1. 近隣型商店街 : 主に近隣住民が徒歩、自転車で来街して日常の買い物をする商店街
2. 地域型商店街 : 鉄道駅に近接し、主に区内の住民が徒歩、自転車、バス等で来街して日常の買い物をする商店街
3. 広域型商店街 : 鉄道駅に近接し、百貨店、量販店等を含む大型店があり、主に電車や自動車による区内外からの来街者が多い商店街
4. 超広域型商店街 : 鉄道駅に近接し、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、市外も含む遠距離からの来街者が多い商店街
5. その他の商業エリア等 : 上記1～4にあてはまらない商業エリア、複数の要素を持つ商業エリア等
(問2以下の項目は可能な範囲でご回答をお願いします。)

問1-2 貴商店街がある商業立地環境についてお答えください。(○は1つだけ)

1. 繁華街
2. 住宅街
3. 駅前・駅ビル
4. ロードサイド※
5. オフィス街
6. その他 (_____)

※ 「ロードサイド」・・・交通量の多い幹線道路・バイパス沿いのことを指します。

(注) 選択に迷った場合は、以下を参考にしてください。

- ・ 「1. 繁華街」と 「3. 駅前・駅ビル」 の双方に該当する場合は、「1. 繁華街」に○印を付けてください。
- ・ 「3. 駅前・駅ビル」と 「5. オフィス街」 の双方に該当する場合は、「5. オフィス街」に○印を付けてください。

問1-3 貴商店街に来街してほしいターゲット層についてお聞きします。多い順に1~3位の番号を欄に記入してください。

1. 学生・若者	2. 主婦・主夫	3. 夫婦・カップル	4. 親と子（2世代）	5. 会社員
6. 高齢者	7. 観光客（国内）	8. 観光客（海外）	9. その他（ ）	10. わからない
1位		2位		3位

問2 貴商店街の組織形態は次の5つのうち、いずれに該当しますか。（○は1つだけ）

1. 振興組合	2. 協同組合	3. 一般社団法人	4. 任意団体	5. その他
---------	---------	-----------	---------	--------

問3 貴商店街における現在の代表者の年齢（A）及び在籍年数（B）についてお答えください。（○はそれぞれ1つだけ）。また、役員員の年齢構成（C）についてご記入ください。

A. 年齢	1. 30代以下	2. 40代	3. 50代	4. 60代	5. 70代以上
B. 在籍年数	1. 1年未満	2. 1年以上5年未満	3. 5年以上10年未満	4. 10年以上15年未満	5. 15年以上
C. 役員員の年齢構成 (およその割合で結構です)	1. 30代以下の割合	() %			
	2. 40代の割合	() %			
	3. 50代の割合	() %			
	4. 60代の割合	() %			
	5. 70代以上の割合	() %			
	上記1. ~ 5. の合計	100%			

問4 商店街活動（イベント実施や事務作業）を担っているのは誰ですか。（あてはまるもの全てに○）

1. 商店街理事長・会長	2. 商店街副理事長・副会長	3. 商店街に古くからいる組合員・会員
4. 青年部や若手の組合員・会員	5. 事務局（専従）	6. 事務局（非専従）
7. 地域住民	8. その他（ ）	

問4-2 貴商店街では、今後の商店街活動を担う次世代の人（もしくはその候補となる人）はいますか。（○は1つだけ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問5 貴商店街の会員数は何名ですか。また、会費について(年会費もしくは月会費) 1店舗当たりの平均金額を教えてください。

正会員 () 名 / 準・賛助会員 () 名 / その他 () 名 会費：1店舗当たりの平均金額 () 円 <年会費・月会費> (どちらかに○)

問5-2 3年前と比べて、商店街への加盟率に変化がありましたか。(○は1つだけ)

1. 増加した	2. 減少した	3. 変わらない
---------	---------	----------

問5-3 貴商店街の区域内で、貴商店街に加盟していない店舗数をご記入ください。

大型店 () 店舗 / チェーン店 () 店舗 / その他 () 店

問6 貴商店街ではどのような加盟勧誘活動を行っていますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 新規開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘	2. イベントを活用した呼びかけ
3. チラシ・パンフ配付等によるPR活動	4. オーナーや不動産会社との協力
5. その他 ()	6. 勧誘を行っていない

問7 現在、貴商店街区域を構成する店舗の数を業種・業態毎にご記入ください。

業種・業態	店舗数	業種・業態	店舗数	業種・業態	店舗数
1. 青果		2. 精肉		3. 鮮魚	
4. 惣菜・弁当		5. 米・飲料・酒類		6. パン・ベーカリー	
7. 洋・和菓子		8. その他食品		9. 書籍・文具	
10. 医薬品・化粧品 ドラッグストア		11. 日用雑貨 身のまわり品		12. 趣味 スポーツ用品	
13. 衣料品		14. 時計・メガネ		15. 飲食店(食事)	
16. 飲食店(喫茶・ ファストフード)		17. 家電製品 携帯電話		18. CD・DVD (レンタル含む)	
19. コンビニ		20. 理容室・美容室		21. 食品スーパー	
22. エステ・整体		23. 病院・診療所		24. 銀行等金融機関	
25. 保育施設・学童 子育て支援施設		26. 学習塾・習い事		27. 介護施設	
28. 不動産		29. 100円ショップ		30. その他	

問8 現在、貴商店街区域に不足していると感じている業種・業態は何ですか。

上記問7の中から選び、() 内に番号をご記入ください。(3つまで選択)

※問7の選択肢以外の業種・業態が不足している場合にはその業種・業態をご記入ください。

不足している業種・業態がない、わからない場合にはそのどちらかに○をつけてください。

① () ② () ③ () / ④不足はない / ⑤わからない

問9 貴商店街の活動内容はどのようなものですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 中元・歳末期セール（福引等） | 2. セール（中元・歳末期以外） |
| 3. ポイントカード・スタンプの発行 | 4. 駐車場・駐輪場の運営 |
| 5. 共同店舗の運営 | 6. 宅配サービスの実施 |
| 7. 出張販売の実施 | 8. 送迎サービスの実施 |
| 9. 商店街マップの発行 | 10. その他の広報物の発行 |
| 11. 地域交流イベントの開催（祭り等） | 12. 地域（自治会・NPO等）や学校との連携事業 |
| 13. 青年部の組織化などの担い手づくり | 14. 商店街会員による勉強会開催 |
| 15. 防犯・防災活動 | 16. 街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理 |
| 17. 緑化・清掃活動など環境に関する取組 | 18. まちゼミの実施 |
| 19. 他の商店会・自治会主催のイベントに参加・協力 | |
| 20. その他（ ） | 21. ほとんど活動はしていない |

問9-2 貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動を上記問9の中から
 選び、() 内に番号をご記入ください。(3つまで選択)
 また、その活動の検討状況について○をつけてください。

- | | | | | |
|-----|---|-----------------|---|------------------|
| () | → | 1. 実施に向けて検討している | / | 2. 具体的な検討に至っていない |
| () | → | 1. 実施に向けて検討している | / | 2. 具体的な検討に至っていない |
| () | → | 1. 実施に向けて検討している | / | 2. 具体的な検討に至っていない |

問10 最近3年で、商店街活動に積極的に参加する会員は増えましたか。
 (○は1つだけ)

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 増えた | 2. 減った | 3. 変わらない |
|--------|--------|----------|

上記回答を選択した要因や具体的状況をご記入ください。

()

問11 現在、貴商店街ではどのような悩みがありますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. 売上・来街者の減少 | 2. 店舗の老朽化 |
| 3. 空き店舗・空き地の増加 | 4. 街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽化 |
| 5. 魅力ある店舗の不足 | 6. 業種のバランスが悪い |
| 7. 駐車場や駐輪場の不足 | 8. 放置自転車の対策 |
| 9. 魅力あるイベントの不足 | 10. 経営者の高齢化 |
| 11. 後継者の不在 | 12. 経営者の意欲低下 |
| 13. 未加入店舗の増加 | 14. 会費収入の減少・滞納の増加 |
| 15. 会員の商店街活動に対する意欲の低下・退会者の増加 | 16. 保有資産管理の負担増加 |
| 17. 商店街活動を担う人材の不足 | 18. 悩みの相談先がない、見つからない |
| 19. その他（具体的に ） | |

問 11-2 問 11 の悩み解決に向けて、充実してほしい支援策を教えてください。(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 新たな補助金、助成金 | 2. 広報・告知支援 (SNS、メディア) や販促支援 |
| 3. 出店意欲の高い事業者・テナントのマッチング支援 | 4. イベント支援 |
| 5. 地域の活性化 | 6. 街路灯、アーケード等の補修に対する支援・助成金 |
| 7. 空き店舗、空き地の有効活用策 | 8. 老朽化対策、美化対策 |
| 9. その他 () | |

問 12 貴商店街が所在する地域における課題は何ですか。(あてはまるもの全てに〇)

- | | | |
|-----------------------------|--------------|--------------------------|
| 1. 人口減少 | 2. 少子高齢化 | 3. 保育・育児環境 (保育所、公園) 等の不足 |
| 4. 商店街・繁華街の衰退 | 5. 観光資源の不在 | 6. 防犯防災上の不安 |
| 7. 交通アクセスの不便さ | 8. 地域ブランドの不在 | 9. 自治組織や地域活動の担い手不足 |
| 10. 地域コミュニティの衰退 11. その他 () | | |

問 13 連携して活動を行っている地域活動* 団体等は以下のどれに該当しますか。

(あてはまるもの全てに〇)

- | | | | |
|--------------------|---------------|-----------------|-------------|
| 1. 自治会・町内会 | 2. 老人クラブ | 3. NPO | 4. ボランティア団体 |
| 5. 学童保育・幼稚園・保育所 | 6. 教育機関 (学校等) | 7. PTA | |
| 8. 商工会・商工会議所 | 9. まちづくり団体 | 10. 警察署・消防署 (団) | |
| 11. 自治体 | 12. 他の商店街 | 13. 民間企業等 | |
| 14. その他 () | | | |
| 15. そのような活動は行っていない | | | |

※地域活動とは…主として市内の一定の地域を基礎として当該地域の市民が主体的に行う自治会・町内会活動、社会福祉活動、青少年健全育成活動、防災・防犯活動その他の良好な地域社会の維持及び形成に資する活動をいう。

(横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例第2条抜粋)

問 14 貴商店街における空き店舗*は何店舗ですか。(ない場合は〇(ゼロ)を記入)

() 店舗

※空き店舗とは… 商店街の主要な通りに位置し、以前店舗として利用された建物で、廃業・移転等により現在は空き店舗となっているもの。
上記のうち、駐車場・一般住宅・空き地になった場合は除く。(次の利用者が現れるまで暫定的に車庫や物置等として使用しているものは含む。)

問 15 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。

	ア) 閉店前の業種 間 7 の選択肢から該当するものを1つ選び、番号をご記入ください。	イ) 空き店舗となった時期 1. 1年以内 2. 1～2年前 3. 3年以上前 4. わからない	ウ) 閉店の理由 下記の太線の欄の選択肢から該当するものを1つ選び番号をご記入ください。 ※「その他」の場合は具体的内容をご記入ください。	エ) 家主の意思 1. 貸す意思がある 2. 貸す意思がない 3. わからない	オ) 物件の管理者 1. 個人(会員) 2. 商店会 3. 不動産会社 4. わからない
空き店舗 1					
空き店舗 2					
空き店舗 3					
空き店舗 4					
空き店舗 5					
空き店舗 6					

(ウ) の選択肢

- | | | |
|---------------------------------------|--------------|-------------|
| 1. 経営状態の悪化(売上の減少・大型店との競争激化・家賃負担が大きい等) | 3. 店舗・設備の老朽化 | 4. 区画整理・再開発 |
| 2. 経営者の高齢化・後継者の不在 | 6. その他 | 7. わからない |
| 5. 他地区への移転 | | |

問 15-2 空き店舗がある場合、埋まらない理由として考えられるものを次の選択肢から選んでください。(あてはまるもの全てに○)

※「その他」の場合は、具体的内容をご記入ください。

1. 周辺環境の悪化(集客が見込めない等)	2. 家賃が高い	3. 立地が悪い
4. 開業希望者が見つからない	5. 店舗・設備の老朽化	
6. 店舗を解体し、店舗以外の目的に使用する予定がある		
7. 積極的な募集をしていない(当面、空き店舗のままで困らない)		
8. 物件の運用方法を検討中	9. その他()	

問 16 貴商店街では街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)を所有していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 街路灯を所有している LED等省エネ型ランプ()基 ・ その他のランプ()基
2. アーケードを所有している
3. アーチ(片アーチ)を所有している
4. いずれも所有していない → 問 17(7ページ)へ

問 16-2 問 16 の施設の保全・維持管理における課題は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 中・長期的な修繕計画がない
2. 保全・維持管理の費用の負担が大きい
3. 老朽化による事故の危険性がある
4. 会員による自主点検が負担である
5. その他 ()
6. 特になし → 問 17 へ

問 16-3 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 調査・点検、修繕計画策定の外部委託
 2. 保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ
 3. 施設の撤去
 4. 修繕・改修・建て替え
 5. その他 ()
 6. 現在、具体的な検討・対策はしていない → 問 16-4 へ
- } 問 17 へ

問 16-4 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 調査、補修、撤去等の費用捻出が困難である。
2. 調査の委託や工事等の進め方や相談先が分からない。
3. 課題に緊急性がない。
4. 会員間で意見が分かれている。
5. その他 ()

問 17 前回調査時(令和2年 11 月～1 月)と比べ、来街者数はどう変化したと感じられますか。

(○は1つだけ)

1. 増加した
2. 減少した
3. あまり変わらない

問 18 現在最も多いときで外国人観光客の来街者数は 1 日どのくらいですか。

(○は1つだけ)

1. 5 人未満
2. 5～10 人位
3. 10～50 人位
4. 50～100 人位
5. 100 人以上
6. 500 人以上
7. わからない

問 19 外国人観光客を来街者として取り込みたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 取り込みたいと思う→問 19-2へ 2. 取り込みたいとは思わない→問 20へ

問 19-2 貴商店街が現在実施している外国人観光客取り込み策は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 多言語マップ 2. 多言語HP 3. 多言語案内看板 4. 多言語会話シート
5. Wi-Fi 整備 6. キャッシュレス決済の導入推進 7. 免税取扱いの推進
8. 接客セミナー 9. その他 () 10. 未実施

問 19-3 貴商店街が今後取り組みたい事業を上記問 19-2 の中から選び、() 内に番号をご記入ください。(3つまで選択)

()・()・()

問 19-4 外国人観光客を取り込む場合、課題は何ですか。(○は3つまで)

1. 外国語対応 2. 免税店手続き 3. マナーの違い 4. 災害時対応
5. 団体客対応 6. Wi-Fi 環境 7. PR方法 8. 求めているサービスの把握
9. その他 () 10. 特になし

問 20 昨年と比較して現在の貴商店街の景気はどうなったと感じられますか。

(○は1つだけ)

1. 良くなった 2. 悪くなった 3. 変わらない

問 21 コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、貴商店街にどのような影響がありましたか。(あてはまるもの全てに○)

1. 来街者の増加 2. 店舗の開店 3. 店舗の営業時間の延長
4. 中止していた事業(イベント等)の開催 5. 地域住民の在宅率増加などによる来街者増加
6. テイクアウト・デリバリー事業等、各店舗の販売形態の変化
7. 会員店舗の増加 8. 会員店舗の減少 9. その他

※新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで、「新型インフルエンザ等感染症(いわゆる2類相当)」としていましたが、令和5年5月8日から「5類感染症」になりました。

問22 コロナ禍で取り組んでいたことで現在も継続して行っていることは何ですか。
 (あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 衛生用品の配布(マスクやアルコール等) | 2. 衛生設備の設置(アクリル板等) |
| 3. 店舗や商店街の消毒活動 | 4. テイクアウト、デリバリーの推進 |
| 5. キャッシュレス決済導入の推進 | 6. セール等による商店街の活性化 |
| 7. オンラインでのイベントの実施や集客 | 8. 個店への新型コロナウイルス感染症対策指導 |
| 9. 所属店舗の店員へのマスクや手袋等の着用の徹底 | |
| 10. ソーシャルディスタンスの推進 | 11. 会員への会費の免除、減免 |
| 12. 融資制度、助成制度などを会員に案内 | |
| 13. その他() | |
| 14. 特に何も実施していない | |

問23 デジタル化の推進のために、商店会で現在取り組んでいることは何ですか。
 (あてはまるもの全てに○)

- | | |
|--|------------------------------|
| 1. ホームページ制作・運用 | 2. キャッシュレス決済の導入 |
| 3. SNS(X:旧TwitterやInstagram等)の活用 | 4. 会員間の連絡手段のデジタル化(メール・LINE等) |
| 5. スマートフォン等アプリの利用・開発 | 6. 来街者データの取得・分析及びデータ活用 |
| 7. デジタルクーポン・電子商品券の活用 | 8. イベントのオンライン開催(一部又は全部) |
| 9. ECサイトの構築
(ECサイトとは…自社の製品やサービスをインターネット上で販売するためのウェブサイトのこと) | |
| 10. デジタルサイネージの運用・活用
(デジタルサイネージとは…屋外・店頭・公共空間などで、ディスプレイやプロジェクター、
スピーカーを通じて、画像・動画・音声などの電子的な表示機器を使って情報を発信すること) | |
| 11. その他() | 12. 特に取り組んでいない/取り組む予定はない |

問24 貴商店街の特徴的な取組や来街者に人気の高い事業がございましたらご教示ください。
 また、横浜市へのご意見や、横浜市商店街総連合会に対し、横浜市として働きかけてほしい
 こと(加盟・非加盟にかかわらず回答)などございましたらあわせてご記入ください。

《質問は以上です。ご協力ありがとうございました。》

【よくあるご質問】

Q どのような調査なのか？

A 調査は、平成7年度に開始し、3年に一度実施しています。

本調査によって、商店街の課題や要望等を収集することにより、商店街のニーズにかなった施策の実現につなげることを目的としています。

商業振興施策の検討にあたり、重要な基礎資料となりますので、お手数をお掛けしますが、調査へのご協力をお願いいたします。

Q 調査の対象は？

A 横浜市内の商店街です。

Q 回答できない項目があるが、絶対に回答しなければならないのか？

A ご回答できない項目は、未記入で構いません。可能な範囲でのご回答をお願いいたします。

なお、質問の内容が分からない等、調査に関するご質問等がございましたら、商業振興課 商店街実態調査担当（045-671-3488）までお問合せください。

Q 投函期限（11/1）までに投函することが難しい。

A 恐れ入りますが、集計作業の関係上、期限内のご投函にご協力をお願いいたします。

なお、投函期限を過ぎた後にご投函いただける際には、11/1までに商業振興課までご一報いただけますと幸いです。

また、回答期限までにご回答が確認できない商店街につきましては、商業振興課から確認のご連絡をさせていただくことがございますので、その際はよろしくをお願いいたします。

Q 過去の調査結果は公開されているのか？

A 平成12年度以降の調査の報告書（個別の商店街が特定できない内容）を横浜市ウェブページ上で公開しています。

【URL】 <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/shogyocosa/>



資料 2. 単純集計表

問1 貴商店街のタイプは次の5つのうち、いずれに該当しますか。(〇は1つだけ)
n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	近隣型商店街	118	49.0%
2	地域型商店街	77	32.0%
3	広域型商店街	9	3.7%
4	超広域型商店街	4	1.7%
5	その他の商業エリア等	19	7.9%
	無効	1	0.4%
	無回答など	13	5.4%
	合計	241	100.0%

問1-2 貴商店街がある商業立地環境についてお答えください。(〇は1つだけ)
n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	繁華街	47	19.5%
2	住宅街	113	46.9%
3	駅前・駅ビル	54	22.4%
4	ロードサイド	10	4.1%
5	オフィス街	7	2.9%
6	その他	6	2.5%
	無効	2	0.8%
	無回答など	2	0.8%
	合計	241	100.0%

問1-3 貴商店街に来街してほしいターゲット層についてお聞きします。
多い順に1~3位の番号を欄に記入してください。
<1位>
n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	学生・若者	11	4.6%
2	主婦・主夫	89	36.9%
3	夫婦・カップル	17	7.1%
4	親と子(2世代)	50	20.7%
5	会社員	16	6.6%
6	高齢者	20	8.3%
7	観光客(国内)	10	4.1%
8	観光客(海外)	1	0.4%
9	その他	1	0.4%
10	わからない	7	2.9%
	無回答	19	7.9%
	合計	241	100.0%

問1-3 貴商店街に来街してほしいターゲット層についてお聞きします。
多い順に1~3位の番号を欄に記入してください。

< 2 位 >

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	学生・若者	22	9.1%
2	主婦・主夫	37	15.4%
3	夫婦・カップル	63	26.1%
4	親と子（2世代）	35	14.5%
5	会社員	10	4.1%
6	高齢者	34	14.1%
7	観光客（国内）	7	2.9%
8	観光客（海外）	3	1.2%
9	その他	2	0.8%
10	わからない		
	無回答	28	11.6%
	合計	241	100.0%

問1-3 貴商店街に来街してほしいターゲット層についてお聞きします。
多い順に1~3位の番号を欄に記入してください。

< 3 位 >

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	学生・若者	34	14.1%
2	主婦・主夫	16	6.6%
3	夫婦・カップル	26	10.8%
4	親と子（2世代）	52	21.6%
5	会社員	19	7.9%
6	高齢者	36	14.9%
7	観光客（国内）	11	4.6%
8	観光客（海外）	9	3.7%
9	その他	2	0.8%
10	わからない	6	2.5%
	無回答	30	12.4%
	合計	241	100.0%

問2 貴商店街の組織形態は次の5つのうち、いずれに該当しますか。（○は1つだけ）

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	振興組合	14	5.8%
2	協同組合	37	15.4%
3	一般社団法人	5	2.1%
4	任意団体	170	70.5%
5	その他	9	3.7%
	無回答	6	2.5%
	合計	241	100.0%

問3_A 貴商店街における現在の代表者の年齢（A）及び
在籍年数（B）についてお答えください。（○はそれぞれ1つだけ）

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	30代以下	1	0.4%
2	40代	19	7.9%
3	50代	61	25.3%
4	60代	61	25.3%
5	70代以上	90	37.3%
	無回答	9	3.7%
	合計	241	100.0%

問3_B 貴商店街における現在の代表者の年齢（A）及び
在籍年数（B）についてお答えください。（○はそれぞれ1つだけ）
n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	1年未満	14	5.8%
2	1年以上5年未満	49	20.3%
3	5年以上10年未満	51	21.2%
4	10年以上15年未満	29	12.0%
5	15年以上	80	33.2%
	無回答	18	7.5%
合計		241	100.0%

問3_C 従業員の年齢構成（C）についてご記入ください。
n=241

No.			
	30代以下の平均割合		3.3%
	40代以下の平均割合		13.7%
	50代以下の平均割合		28.7%
	60代以下の平均割合		22.1%
	70代以上の平均割合		31.4%
			100.0%

問4 商店街活動（イベント実施や事務作業）を担っているのは誰ですか。
（あてはまるもの全てに○）
n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	商店街理事長・会長	185	76.8%
2	商店街副理事長・副会長	111	46.1%
3	商店街に古くからいる組合員・会員	90	37.3%
4	青年部や若手の組合員・会員	39	16.2%
5	事務局（専従）	48	19.9%
6	事務局（非専従）	23	9.5%
7	地域住民	18	7.5%
8	その他	27	11.2%

問5 貴商店街の会員数は何名ですか。＜会員総数＞
n=241

No.	会員総数	回答数	回答率
1	20名以下	57	23.7%
2	21～50名以下	93	38.6%
3	51～100名以下	54	22.4%
4	101名以上	24	10.0%
5	無回答	13	5.4%
合計		241	100.0%

問5 貴商店街の会員数は何名ですか。＜正会員＞
n=241

No.	正会員	回答数	回答率
1	20名以下	68	28.2%
2	21～50名以下	85	35.3%
3	51～100名以下	57	23.7%
4	101名以上	17	7.1%
5	無回答	14	5.8%
合計		241	100.0%

問5 貴商店街の会員数は何名ですか。〈準・賛助会員〉

n=241

No.	準・賛助会員	回答数	回答率
1	20名以下	92	38.2%
2	21～50名以下	13	5.4%
3	無回答	136	56.4%
	合計	241	100.0%

問5 貴商店街の会員数は何名ですか。〈その他〉

n=241

No.	その他	回答数	回答率
1	20名以下	11	4.6%
2	101名以上	1	0.4%
3	無回答	229	95.0%
	合計	241	100.0%

問5 会費について（年会費もしくは月会費）1店舗当たりの平均金額を教えてください。

n=241

No.	1店舗当たりの平均金額	回答数	回答率
1	10,000円以下	24	10.0%
2	10,001～30,000円以下	75	31.1%
3	30,001～50,000円以下	52	21.6%
4	50,001～100,000円以下	17	7.1%
5	100,001～300,000円以下	18	7.5%
6	300,001～500,000円以下	1	0.4%
7	500,001円以上	1	0.4%
8	無回答	53	22.0%
	合計	241	100.0%

問5-2 3年前と比べて、商店街への加盟率に変化がありましたか。（○は1つだけ）

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	増加した	34	14.1%
2	減少した	110	45.6%
3	変わらない	88	36.5%
	無回答など	9	3.7%
	合計	241	100.0%

問5-3 貴商店街の区域内で、貴商店街に加盟していない店舗数をご記入ください。
〈非加盟店舗総数〉

n=241

No.	非加盟店舗総数	回答数	回答率
1	0店舗	1	0.4%
2	1～20店舗	130	53.9%
3	21～50店舗	22	9.1%
4	51～100店舗	8	3.3%
5	101店舗以上	4	1.7%
6	その他	3	1.2%
	無回答など	73	30.3%
	合計	241	100.0%

問5-3 貴商店街の区域内で、貴商店街に加盟していない店舗数をご記入ください。
〈大型店〉

n=241

No.	大型店	回答数	回答率
1	0店舗	2	0.8%
2	1～20店舗	38	15.8%
	無回答など	201	83.4%
	合計	241	100.0%

問5-3 貴商店街の区域内で、貴商店街に加盟していない店舗数をご記入ください。
 <チェーン店>

n=241

No.	チェーン店	回答数	回答率
1	0店舗	2	0.8%
2	1~20店舗	90	37.3%
3	21~50店舗	2	0.8%
4	51~100店舗	1	0.4%
	無回答など	146	60.6%
	合計	241	100.0%

問5-3 貴商店街の区域内で、貴商店街に加盟していない店舗数をご記入ください。
 <その他>

n=241

No.	その他	回答数	回答率
1	0店舗	1	0.4%
2	1~20店舗	108	44.8%
3	21~50店舗	17	7.1%
4	51~100店舗	3	1.2%
5	101店舗以上	4	1.7%
6	その他	3	1.2%
7	無回答	105	43.6%
	合計	241	100.0%

問6 貴商店街ではどのような加盟勧誘活動を行っていますか。
 (あてはまるもの全てに○)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	新規開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘	94	39.0%
2	イベントを活用した呼びかけ	62	25.7%
3	チラシ・パンフ配付等によるPR活動	25	10.4%
4	オーナーや不動産会社との協力	55	22.8%
5	その他	18	7.5%
6	勧誘を行っていない	71	29.5%

問7 現在、貴商店街を構成する店舗の数を業種・業態毎にご記入ください。
 <当該業種・業態店舗を有する商店街数>
 n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	青果	82	34.0%
2	精肉	52	21.6%
3	鮮魚	42	17.4%
4	惣菜・弁当	93	38.6%
5	米・飲料・酒類	97	40.2%
6	パン・ベーカリー	82	34.0%
7	洋・和菓子	108	44.8%
8	その他食品	57	23.7%
9	書籍・文具	52	21.6%
10	医薬品・化粧品・ドラッグストア	141	58.5%
11	日用雑貨・身のまわり品	82	34.0%
12	趣味・スポーツ用品	61	25.3%
13	衣料品	118	49.0%
14	時計・メガネ	73	30.3%
15	飲食店（食事）	189	78.4%
16	飲食店（喫茶・ファストフード）	137	56.8%
17	家電製品・携帯電話	87	36.1%
18	CD・DVD（レンタル含む）	14	5.8%
19	コンビニ	107	44.4%
20	理容室・美容室	191	79.3%
21	食品スーパー	76	31.5%
22	エステ・整体	143	59.3%
23	病院・診療所	148	61.4%
24	銀行等金融機関	112	46.5%
25	保育施設・学童・子育て支援施設	88	36.5%
26	学習塾・習い事	93	38.6%
27	介護施設	61	25.3%
28	不動産	144	59.8%
29	100円ショップ	26	10.8%
30	その他	164	68.0%

問7 現在、貴商店街を構成する店舗の数を業種・業態毎にご記入ください。
 <当該業種・業態店舗数>
 n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	青果	109	0.9%
2	精肉	68	0.6%
3	鮮魚	58	0.5%
4	惣菜・弁当	186	1.6%
5	米・飲料・酒類	138	1.2%
6	パン・ベーカリー	122	1.0%
7	洋・和菓子	180	1.5%
8	その他食品	148	1.3%
9	書籍・文具	78	0.7%
10	医薬品・化粧品・ドラッグストア	344	2.9%
11	日用雑貨・身のまわり品	346	2.9%
12	趣味・スポーツ用品	158	1.3%
13	衣料品	468	4.0%
14	時計・メガネ	109	0.9%
15	飲食店（食事）	2,753	23.4%
16	飲食店（喫茶・ファストフード）	686	5.8%
17	家電製品・携帯電話	136	1.2%
18	CD・DVD（レンタル含む）	17	0.1%
19	コンビニ	206	1.8%
20	理容室・美容室	747	6.4%
21	食品スーパー	112	1.0%
22	エステ・整体	423	3.6%
23	病院・診療所	622	5.3%
24	銀行等金融機関	248	2.1%
25	保育施設・学童・子育て支援施設	169	1.4%
26	学習塾・習い事	236	2.0%
27	介護施設	103	0.9%
28	不動産	541	4.6%
29	100円ショップ	34	0.3%
30	その他	2,218	18.9%

問8 現在、貴商店街に不足していると感じている業種・業態は何ですか。
(3つまで選択)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	青果	47	19.5%
2	精肉	56	23.2%
3	鮮魚	62	25.7%
4	惣菜・弁当	22	9.1%
5	米・飲料・酒類	8	3.3%
6	パン・ベーカリー	18	7.5%
7	洋・和菓子	7	2.9%
8	その他食品	4	1.7%
9	書籍・文具	13	5.4%
10	医薬品・化粧品・ドラッグストア	10	4.1%
11	日用雑貨・身のまわり品	29	12.0%
12	趣味・スポーツ用品	13	5.4%
13	衣料品	10	4.1%
14	時計・メガネ	1	0.4%
15	飲食店（食事）	25	10.4%
16	飲食店（喫茶・ファストフード）	23	9.5%
17	家電製品・携帯電話	6	2.5%
18	CD・DVD（レンタル含む）	1	0.4%
19	コンビニ	10	4.1%
20	理容室・美容室	4	1.7%
21	食品スーパー	11	4.6%
22	エステ・整体		
23	病院・診療所	5	2.1%
24	銀行等金融機関	4	1.7%
25	保育施設・学童・子育て支援施設	2	0.8%
26	学習塾・習い事	2	0.8%
27	介護施設	2	0.8%
28	不動産		
29	100円ショップ	5	2.1%
30	その他		
31	不足はない	20	8.3%
32	わからない	52	21.6%

問9 貴商店街の活動内容はどのようなものですか。(あてはまるもの全てに○)
n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	中元・歳末期セール(福引等)	62	25.7%
2	セール(中元・歳末期以外)	31	12.9%
3	ポイントカード・スタンプの発行	29	12.0%
4	駐車場・駐輪場の運営	29	12.0%
5	共同店舗の運営	3	1.2%
6	宅配サービスの実施	8	3.3%
7	出張販売の実施	8	3.3%
8	送迎サービスの実施	3	1.2%
9	商店街マップの発行	68	28.2%
10	その他の広報物の発行	32	13.3%
11	地域交流イベントの開催(祭り等)	139	57.7%
12	地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業	104	43.2%
13	青年部の組織化などの担い手づくり	11	4.6%
14	商店街会員による勉強会開催	30	12.4%
15	防犯・防災活動	139	57.7%
16	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理	147	61.0%
17	緑化・清掃活動など環境に関する取組	86	35.7%
18	まちゼミの実施	11	4.6%
19	他の商店会・自治会主催のイベントに参加・協力	113	46.9%
20	その他	14	5.8%
21	ほとんど活動はしていない	22	9.1%

問9-2 貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動
(3つまで選択)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	中元・歳末期セール(福引等)	24	10.0%
2	セール(中元・歳末期以外)	11	4.6%
3	ポイントカード・スタンプの発行	26	10.8%
4	駐車場・駐輪場の運営	9	3.7%
5	共同店舗の運営	9	3.7%
6	宅配サービスの実施	12	5.0%
7	出張販売の実施	5	2.1%
8	送迎サービスの実施	7	2.9%
9	商店街マップの発行	25	10.4%
10	その他の広報物の発行	9	3.7%
11	地域交流イベントの開催(祭り等)	12	5.0%
12	地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業	24	10.0%
13	青年部の組織化などの担い手づくり	26	10.8%
14	商店街会員による勉強会開催	15	6.2%
15	防犯・防災活動	19	7.9%
16	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理	9	3.7%
17	緑化・清掃活動など環境に関する取組	10	4.1%
18	まちゼミの実施	12	5.0%
19	他の商店会・自治会主催のイベントに参加・協力	14	5.8%
20	その他	1	0.4%
21	ほとんど活動はしていない	1	0.4%

問9-2 貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動の中で、
実施に向けて検討している活動
n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	中元・歳末期セール（福引等）	10	4.1%
2	セール（中元・歳末期以外）	4	1.7%
3	ポイントカード・スタンプの発行	8	3.3%
4	駐車場・駐輪場の運営	1	0.4%
5	共同店舗の運営	4	1.7%
6	宅配サービスの実施	3	1.2%
7	出張販売の実施		0.0%
8	送迎サービスの実施		0.0%
9	商店街マップの発行	7	2.9%
10	その他の広報物の発行	3	1.2%
11	地域交流イベントの開催（祭り等）	7	2.9%
12	地域（自治会・NPO等）や学校との連携事業	14	5.8%
13	青年部の組織化などの担い手づくり	5	2.1%
14	商店街会員による勉強会開催	1	0.4%
15	防犯・防災活動	7	2.9%
16	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理	4	1.7%
17	緑化・清掃活動など環境に関する取組	3	1.2%
18	まちゼミの実施	3	1.2%
19	他の商店会・自治会主催のイベントに参加・協力	5	2.1%
20	その他		0.0%
21	ほとんど活動はしていない		0.0%

問9-2 貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動の中で、
具体的な検討に至っていない活動
n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	中元・歳末期セール（福引等）	14	5.8%
2	セール（中元・歳末期以外）	7	2.9%
3	ポイントカード・スタンプの発行	18	7.5%
4	駐車場・駐輪場の運営	8	3.3%
5	共同店舗の運営	5	2.1%
6	宅配サービスの実施	9	3.7%
7	出張販売の実施	5	2.1%
8	送迎サービスの実施	7	2.9%
9	商店街マップの発行	18	7.5%
10	その他の広報物の発行	6	2.5%
11	地域交流イベントの開催（祭り等）	5	2.1%
12	地域（自治会・NPO等）や学校との連携事業	10	4.1%
13	青年部の組織化などの担い手づくり	21	8.7%
14	商店街会員による勉強会開催	14	5.8%
15	防犯・防災活動	12	5.0%
16	街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理	5	2.1%
17	緑化・清掃活動など環境に関する取組	7	2.9%
18	まちゼミの実施	9	3.7%
19	他の商店会・自治会主催のイベントに参加・協力	9	3.7%
20	その他	1	0.4%
21	ほとんど活動はしていない	1	0.4%

問10 最近3年で、商店街活動に積極的に参加する会員は増えましたか。
(○は1つだけ)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	増えた	42	17.4%
2	減った	72	29.9%
3	変わらない	115	47.7%
	無回答など	12	5.0%
	合計	241	100.0%

問11 現在、貴商店街ではどのような悩みがありますか。
(○は3つまで)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	売上・来街者の減少	105	43.6%
2	店舗の老朽化	50	20.7%
3	空き店舗・空き地の増加	55	22.8%
4	街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽化	41	17.0%
5	魅力ある店舗の不足	65	27.0%
6	業種のバランスが悪い	55	22.8%
7	駐車場や駐輪場の不足	23	9.5%
8	放置自転車の対策	10	4.1%
9	魅力あるイベントの不足	21	8.7%
10	経営者の高齢化	85	35.3%
11	後継者の不在	82	34.0%
12	経営者の意欲低下	17	7.1%
13	未加入店舗の増加	28	11.6%
14	会費収入の減少・滞納の増加	8	3.3%
15	会員の商店街活動に対する意欲の低下・退会者の増加	29	12.0%
16	保有資産管理の負担増加	6	2.5%
17	商店街活動を担う人材の不足	99	41.1%
18	悩みの相談先がない、見つからない	4	1.7%
19	その他	14	5.8%

問11-2 問11の悩み解決に向けて、充実してほしい支援策を教えてください。
(○は3つまで)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	新たな補助金、助成金	112	46.5%
2	広報・告知支援（SNS、メディア）や販促支援	37	15.4%
3	出店意欲の高い事業者・テナントのマッチング支援	53	22.0%
4	イベント支援	57	23.7%
5	地域の活性化	81	33.6%
6	街路灯、アーケード等の補修に対する支援・助成金	69	28.6%
7	空き店舗、空き地の有効活用策	33	13.7%
8	老朽化対策、美化対策	43	17.8%
9	その他	17	7.1%

問12 貴商店街が所在する地域における課題は何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	人口減少	36	14.9%
2	少子高齢化	114	47.3%
3	保育・育児環境（保育所、公園）等の不足	14	5.8%
4	商店街・繁華街の衰退	115	47.7%
5	観光資源の不在	29	12.0%
6	防犯防災上の不安	32	13.3%
7	交通アクセスの不便さ	20	8.3%
8	地域ブランドの不在	61	25.3%
9	自治組織や地域活動の担い手不足	98	40.7%
10	地域コミュニティの衰退	26	10.8%
11	その他	12	5.0%

問13 連携して活動を行っている地域活動※団体等は以下のどれに該当しますか。
(あてはまるもの全てに○)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	自治会・町内会	185	76.8%
2	老人クラブ	20	8.3%
3	NPO	31	12.9%
4	ボランティア団体	30	12.4%
5	学童保育・幼稚園・保育所	24	10.0%
6	教育機関（学校等）	54	22.4%
7	P T A	10	4.1%
8	商工会・商工会議所	23	9.5%
9	まちづくり団体	45	18.7%
10	警察署・消防署（団）	50	20.7%
11	自治体	33	13.7%
12	他の商店街	87	36.1%
13	民間企業等	14	5.8%
14	その他	8	3.3%
15	そのような活動は行っていない	17	7.1%

問14 貴商店街における空き店舗は何店舗ですか。（ない場合は0を記入）

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	0店舗	69	28.6%
2	1店舗	25	10.4%
3	2～3店舗	48	19.9%
4	4～5店舗	34	14.1%
5	6～9店舗	19	7.9%
6	10店舗以上	19	7.9%
7	その他	2	0.8%
8	無回答	25	10.4%
合計		241	100.0%

問15 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。

〔ア〕閉店前の業種〕

n=672 (nは問14の空き店舗数を合算した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	青果	15	2.2%
2	精肉	16	2.4%
3	鮮魚	10	1.5%
4	惣菜・弁当	9	1.3%
5	米・飲料・酒類	8	1.2%
6	パン・ベーカリー	6	0.9%
7	洋・和菓子	11	1.6%
8	その他食品	12	1.8%
9	書籍・文具	12	1.8%
10	医薬品・化粧品・ドラッグストア	10	1.5%
11	日用雑貨・身のまわり品	31	4.6%
12	趣味・スポーツ用品	11	1.6%
13	衣料品	19	2.8%
14	時計・メガネ	6	0.9%
15	飲食店（食事）	74	11.0%
16	飲食店（喫茶・ファストフード）	25	3.7%
17	家電製品・携帯電話	11	1.6%
18	CD・DVD（レンタル含む）	1	0.1%
19	コンビニ	3	0.4%
20	理容室・美容室	23	3.4%
21	食品スーパー	1	0.1%
22	エステ・整体	7	1.0%
23	病院・診療所	6	0.9%
24	銀行等金融機関	4	0.6%
25	保育施設・学童・子育て支援施設	5	0.7%
26	学習塾・習い事	11	1.6%
27	介護施設	2	0.3%
28	不動産	3	0.4%
29	100円ショップ	1	0.1%
30	その他	65	9.7%
	無回答など	254	37.8%

【イ）空き店舗となった時期】

n=672 (nは問14の空き店舗数を合算した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	1年以内	124	18.5%
2	1～2年前	76	11.3%
3	3年以上前	194	28.9%
4	わからない	21	3.1%
	無回答など	257	38.2%

【ウ）閉店の理由】

n=672 (nは問14の空き店舗数を合算した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	経営状態の悪化（売上の減少・大型店との競争激化・家賃負担が大きい等）	96	14.3%
2	経営者の高齢化・後継者の不在	146	21.7%
3	店舗・設備の老朽化	13	1.9%
4	区画整理・再開発	6	0.9%
5	他地区への移転	36	5.4%
6	その他	40	6.0%
7	わからない	76	11.3%
	無回答など	259	38.5%

【エ）家主の意思】

n=672 (nは問14の空き店舗数を合算した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	貸す意思がある	152	22.6%
2	貸す意思がない	49	7.3%
3	わからない	201	29.9%
	無回答など	270	40.2%

【オ）物件の管理者】

n=672 (nは問14の空き店舗数を合算した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	個人（会員）	148	22.0%
2	商店会	9	1.3%
3	不動産会社	138	20.5%
4	わからない	99	14.7%
	無回答など	278	41.4%

問15-2 空き店舗がある場合、埋まらない理由として考えられるものを次の選択肢から選んでください。（あてはまるもの全てに○）

n=146 (nは問14で空き店舗数を回答した商店街数（コメント内容も考慮）)

No.	選択肢	回答数	回答率
7	積極的な募集をしていない（当面、空き店舗のままではない）	50	34.2%
4	開業希望者が見つからない	45	30.8%
2	家賃が高い	44	30.1%
5	店舗・設備の老朽化	42	28.8%
1	周辺環境の悪化（集客が見込めない等）	33	22.6%
3	立地が悪い	17	11.6%
6	店舗を解体し、店舗以外の目的に使用する予定がある	17	11.6%
8	物件の運用方法を検討中	14	9.6%
9	その他	16	11.0%

問16 貴商店街では街路灯、アーケード、アーチ(片アーチ)を所有していますか。
(あてはまるもの全てに○)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	街路灯を所有している	149	61.8%
2	アーケードを所有している	26	10.8%
3	アーチ(片アーチ)を所有している	32	13.3%
4	いずれも所有していない	60	24.9%

問16-2 問16の施設の保全・維持管理における課題は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

n=160 (nは回答した商店街数から、問16で「いずれも所有していない」を除いた数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	中・長期的な修繕計画がない	53	33.1%
2	保全・維持管理の費用の負担が大きい	78	48.8%
3	老朽化による事故の危険性がある	38	23.8%
4	会員による自主点検が負担である	21	13.1%
5	その他	3	1.9%
6	特になし	34	21.3%

問16-3 施設の保全・維持管理の課題について、
検討・対策をしていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

n=114 (問16-2で選択肢1~5に回答がある商店街)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	調査・点検、修繕計画策定の外部委託	32	28.1%
2	保全・維持管理費用の積み立て、会費の値上げ	25	21.9%
3	施設の撤去	21	18.4%
4	修繕・改修・建て替え	42	36.8%
5	その他	3	2.6%
6	現在、具体的な検討・対策はしていない	32	28.1%

問16-4 施設の保全・維持管理の課題について、
検討・対策をしていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

n=32 (nは問16-3で「現在、具体的な検討・対策はしていない」と回答した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	調査、補修、撤去等の費用捻出が困難である	10	31.3%
2	調査の委託や工事等の進め方や相談先が分からない	4	12.5%
3	課題に緊急性がない	19	59.4%
4	会員間で意見が分かれている	3	9.4%
5	その他	5	15.6%

問17 前回調査時（令和2年11月～1月）と比べ、来街者数はどう変化したと感じられますか。
（○は1つだけ）

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	増加した	40	16.6%
2	減少した	88	36.5%
3	あまり変わらない	99	41.1%
	無回答など	14	5.8%
	合計	241	100.0%

問18 現在、最も多いときに外国人観光客の来街者数は1日どのくらいですか。
（○は1つだけ）

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	5人未満	84	34.9%
2	5～10人位	17	7.1%
3	10～50人位	10	4.1%
4	50～100人位	9	3.7%
5	100人以上	6	2.5%
6	500人以上	2	0.8%
7	わからない	94	39.0%
	無回答など	19	7.9%
	合計	241	100.0%

問19 外国人観光客を来街者として取り込みたいと思いますか。
（○は1つだけ）

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	取り込みたいと思う	65	27.0%
2	取り込みたいとは思わない	147	61.0%
	無回答など	29	12.0%
	合計	241	100.0%

問19-2 貴商店街が現在実施している外国人観光客取り込み策は何ですか。
（あてはまるもの全てに○）

n=65（nは問19で、「取り込みたいと思う」と回答した数）

No.	選択肢	回答数	回答率
1	多言語マップ	24	36.9%
2	多言語HP	16	24.6%
3	多言語案内看板	7	10.8%
4	多言語会話シート	6	9.2%
5	Wi-Fi整備	23	35.4%
6	キャッシュレス決済の導入推進	19	29.2%
7	免税取扱いの推進	8	12.3%
8	接客セミナー	5	7.7%
9	その他	3	4.6%
10	未実施	22	33.8%

問19-3 貴商店街が今後取り組みたい事業を上記問19-2の中から選び、()内に番号をご記入ください。(3つまで選択)

n=65 (nは問19で、「取り組みたいと思う」と回答した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	多言語マップ	23	35.4%
2	多言語HP	16	24.6%
3	多言語案内看板	18	27.7%
4	多言語会話シート	11	16.9%
5	Wi-Fi整備	21	32.3%
6	キャッシュレス決済の導入推進	15	23.1%
7	免税取扱いの推進	6	9.2%
8	接客セミナー	10	15.4%
9	その他	1	1.5%

問19-4 外国人観光客を取り込む場合、課題は何ですか。(○は3つまで)

n=65 (nは問19で、「取り組みたいと思う」と回答した数)

No.	選択肢	回答数	回答率
1	外国語対応	50	76.9%
2	免税店手続き	7	10.8%
3	マナーの違い	11	16.9%
4	災害時対応	10	15.4%
5	団体客対応	8	12.3%
6	Wi-Fi環境	16	24.6%
7	PR方法	17	26.2%
8	求めているサービスの把握	19	29.2%
9	その他	2	3.1%
10	特になし	2	3.1%

問20 昨年と比較して現在の貴商店街の景気はどうなったと感じられますか。(○は1つだけ)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	良くなった	39	16.2%
2	悪くなった	83	34.4%
3	変わらない	109	45.2%
4	無回答	9	3.7%
5	無効	1	0.4%
合計		241	100.0%

問21 コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、貴商店街にどのような影響がありましたか。(あてはまるもの全てに○)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	来街者の増加	68	28.2%
2	店舗の開店	23	9.5%
3	店舗の営業時間の延長	46	19.1%
4	中止していた事業(イベント等)の開催	146	60.6%
5	地域住民の在宅率増加などによる来街者増加	18	7.5%
6	テイクアウト・デリバリー事業等、各店舗の販売形態の変化	47	19.5%
7	会員店舗の増加	12	5.0%
8	会員店舗の減少	36	14.9%
9	その他	18	7.5%

問22 コロナ禍で取り組んでいたことで現在も継続して行っていることは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	衛生用品の配布（マスクやアルコール等）	61	25.3%
2	衛生設備の設置（アクリル板等）	38	15.8%
3	店舗や商店街の消毒活動	65	27.0%
4	テイクアウト、デリバリーの推進	33	13.7%
5	キャッシュレス決済導入の推進	54	22.4%
6	セール等による商店街の活性化	44	18.3%
7	オンラインでのイベントの実施や集客	14	5.8%
8	個店への新型コロナウイルス感染症対策指導	17	7.1%
9	所属店舗の店員へのマスクや手袋等の着用の徹底	24	10.0%
10	ソーシャルディスタンスの推進	22	9.1%
11	会員への会費の免除、減免	17	7.1%
12	融資制度、助成制度などを会員に案内	29	12.0%
13	その他	1	0.4%
14	特に何も実施していない	61	25.3%

問23 デジタル化の推進のために、商店会で現在取り組んでいることは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

n=241

No.	選択肢	回答数	回答率
1	ホームページ制作・運用	105	43.6%
2	キャッシュレス決済の導入	50	20.7%
3	SNS（X：旧TwitterやInstagram等）の活用	61	25.3%
4	会員間の連絡手段のデジタル化（メール・LINE等）	70	29.0%
5	スマートフォン等アプリの利用・開発	13	5.4%
6	来街者データの取得・分析及びデータ活用	8	3.3%
7	デジタルクーポン・電子商品券の活用	20	8.3%
8	イベントのオンライン開催（一部又は全部）	5	2.1%
9	ECサイトの構築	4	1.7%
10	デジタルサイネージの運用・活用	10	4.1%
11	その他	1	0.4%
12	特に取り組んでいない/取り組む予定はない	80	33.2%